

長崎県美術館 研究紀要 No.9

Bulletin of Nagasaki Prefectural Art Museum



目次

小企画展「城谷耕生のプロダクトデザイン」「清水久和のデザイン」についての報告

川口佳子／7

須磨彌吉郎収集資料研究

展示パンフレット類資料集成…

スペインにおけるコレクション形成の過程と実相を探るための手掛かり

稲葉友汰／19



口絵1.「城谷耕生のプロダクトデザイン」チラシ



口絵2.「城谷耕生のプロダクトデザイン」展示室風景



口絵3.「清水久和のデザイン」チラシ



口絵4.「清水久和のデザイン」展示室風景

小企画展「城谷耕生のプロダクトデザイン」「清水久和のデザイン」についての報告

川口佳子

はじめに

長崎県美術館では二〇二〇年と二〇二一年、地域ゆかりのデザイナーに関する小企画展を開催した。二〇二〇年は城谷耕生（一九六八―二〇二〇）、二〇二一年は清水久和（一九六四―）についてである。両者はともに、二〇〇七年に当館で開催された小企画展「デザイン喜望峰」¹⁾に出品した経歴があり、そのときの作品の一部がすでに当館には収蔵されていた。今回はそうした収蔵品を活用するとともに、収蔵品でカバーできない作品（主に近作）を借用の上、併せて展示した。いずれも常設展示室のうちの一部屋のみを使い、規模は小さいが、現役作家の代表作を厳選して紹介する、充実した内容の展覧会となった。以下展覧会別に、(1)展示とその背景(2)関連イベント(3)開催の意義について、それぞれ報告する。

一、「城谷耕生のプロダクトデザイナー人と人のつながりから生まれる形」²⁾

(1)展示とその背景

城谷耕生は、長崎県雲仙市小浜町出身のプロダクトデザイナーである。国内の美術学校で学んだ後イタリアに渡り、現地で約十年間にわたりプロダクトデザインやアートディレクションの仕事を手掛けた。二〇〇二年に帰国し、拠点を故郷・小浜町に定める。そして長崎や九州各地（波佐見、小石原、別府など）において、デザインを通して伝統的な工芸技術や地域文化を活性化する仕事に従事してきた。イタリアで共に仕事をしたエンツォ・マリーリやアキッレ・カステイリオーニなどから大きな影響を受け、作家性よりも無名性を、商業性よりも倫理性を重んじるというタイプのデザイナーである。³⁾

本展は当初、当館の普段の常設展のあり方と同じく、所蔵品のみで構成する予定であった。城谷の仕事

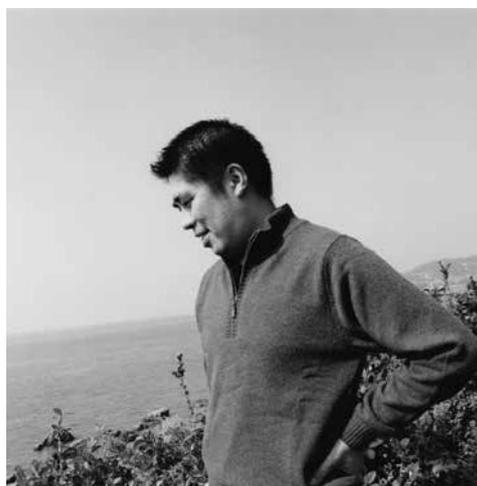


図1. 城谷耕生

は今や多岐にわたるが、当館所蔵のプロダクトデザインの初期作品を展示することで、彼の活動の「原点」を詳しく伝える機会にしたいと考えていた。そのことを作家に伝えると、初期作品も大切だがぜひ近作を加えて展示できないか、自分が所蔵するものを貸し出し出せる、もしケースが足りなければ露出展示となってもかまわないと提案があった。これを受けて展示計画を再検討したところ、出品点数は当初予定の倍の十九件(八十九点)に増え、作家のプロダクトデザインの業績をより通観できる展覧会となった³⁾。

展覧会名には、作家と相談した上で「人と人のつながりから生まれる形」という副題をつけた。城谷は、プロダクトデザインが生まれるまでのプロセスやそこに関わる人々との関係性など、作品のいわば「背景」となる部分の厚みに特徴を持つ作家であり、それを適切な言葉で補う必要があると思われるためである。伝統工芸産地と協働する、彼のようなデザイナーは今や日本に多くいるが、中でも城谷は、そうした産地の人々と持つかかわり／つながりの深さや多様性の面で際立っている。

作家から聞いた話をもとにしつつ、補足的に説明すればこうだ。伝統工芸産地の職人に対して、城谷のようなデザイナーが形や図面だけを提供するのは、彼らはデザインの感性を学べないし、自分たちで新しいデザインを展開する力も身につかない。ひいては長期的に見て、ものづくりの背後にある後継者不足や地域の過疎化などの諸問題も解決しない。そこで城谷は、彼らとともに産地の先輩技術者たちに学んだり、必要な本を貸したり、研究機関と組んで徹底的なリサーチの上議論したり、海外の産地の視察等に出かけたりする。そのようにして人と人の「つながり」を構築する中で、新たなプロダクトの形がおのずから決まっていくというのだ。例えばプラケットランプ《APTENIA》(二〇〇六年)⁴⁾は、BAICAと称する別府竹細工の職人集団との協働の中から生まれたが、温泉の蒸気による調理方法「地獄蒸し」を立体成形の方法として取り入れることで最終的にこの形となった。この形は美しいだけでなく、ふちを編むことについてかかる職人の労働の手間を省いているという。

つまり「あるプロダクトをデザインする」という課題の解決において、即効性の高い解答を示すのではなく、より根本的・本質的な次元の解答を人々とともにあぶりだしていくことを何より重視するのが城谷の態度だ。それを伝えるために本展では上述の副題を採用し、さらにそうした意味での制作背景のわかる写真を加えた解説キャプションを、展示室に施した⁵⁾。展示室には、空間の中央に正方形の木製の台をならべて約1m×4mの大きなテーブルとし、その上に作家から借用した近作のプロダクトを配置。天井からはペンダントランプ《GYOKU》(二〇〇三年)を高さを変えてランダムに吊るした。日用食器や玩具などの小さなプロダクトがランプのあかりの下に一齐にリズムカルに並ぶ様子が、多くの人が集う幸福な食卓を想起させ、「人と人のつながり」というキーワードにふさわしい展示方法でもあったと言える。展示室の壁を覆うガラスケースには借用品の一部と所蔵品を展示し、上述の写真入りキャプション等をガラス面に貼付した。(口絵2および図4・5)

展示構成は、三章立てとした。一章から三章に向けて流れがあるというわけではなく「城谷耕生のプロ

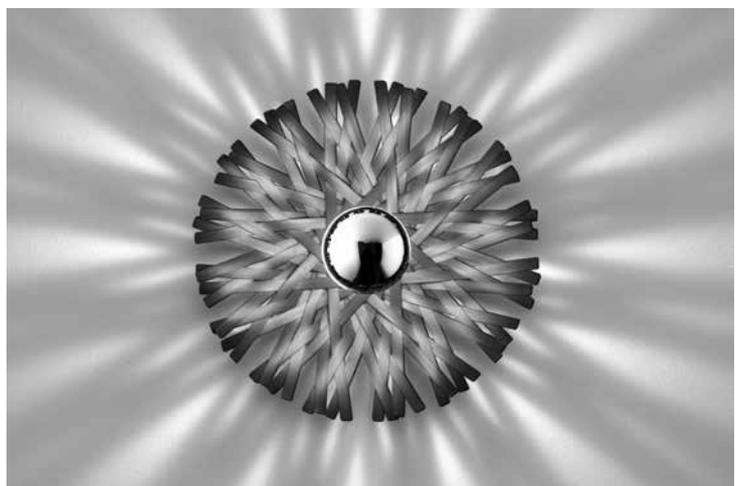


図2. 《APTENIA》2006年



図4. 展示室風景



図5. 展示室風景



図6. 《TIPOガラスボウル》2003年



COCCIOの活動、
展示会などの様子

福岡県の小石原流は、赤土を用いた素朴な味わいの自用陶器です。2005年、城谷はJAPANブランド育成支援事業の一環で小石原に招かれます。しかし「職人自身が考える力を鍛える」ことをめざす城谷の提案は、主催者側との合意に至らず白紙に戻されました。その後、城谷の考えに共感した職人4人が自主的に集まり、あらためて彼に協力を依頼。これが「COCCIO」のはじまりです。プロジェクトにはさらに九州大学・池田美奈子研究室が、調査研究の立場で加わるようになりました。「何事にも根本/本質から考えること」をコンセプトに、「何のために器をつくるのか」「どんな形が使いやすいのか」「パスタ料理の歴史とは」「食事を共にすることの意味とは」といった様々なテーマを学生が調べ、職人に向けて発表。形をデザインする前の、「考える」プロセスを、職人と学生が約4年をかけて体験する中で、本作品は少しずつ形づいていきました。小石原にある土や釉薬を使い、ろくろにより少量ではあってもこの先長く作ることができ、家族や友人が互いを自然に気遣いながら食事をシェアできるような食器。城谷というデザイナーの引いた線がそのまま形になったのではなく、デザイナー・職人・学生などの人々の思考や体験の結集が形を決定した、と言えるプロダクトです。

城谷耕生(1968-)

COCCIO

(九州大学・池田美奈子准教授の研究室との共同研究による)

Quartetto / デザートプレート / カップ&ソーサー

パスタプレート / サラダボウル / COCCIOボウル

2010年

陶器

生産者：COCCIO(熊谷祐介)

生産地：小石原(福岡)

作家蔵

Kosei Shirota(1968-)

COCCIO

(Joint Research: Associate Professor Minako Ikeda and her Students, Kyushu University)

Quartetto / dessert plate / cup & saucer

/ pasta plate / salad bowl / COCCIO bowl

2010

Ceramics (stoneware)

Manufacturer: COCCIO (Yusuke Kumagae)

Production area: Koishiwara (Fukuoka)

Collection of the Artist

図3. 作品解説キャプションの一例

ダクトデザインを理解するための三つのキーワード」として、それぞれに独立した位置づけとした。各章のタイトルとその解説文(要約)を、以下に掲載する。

①「原型」としてのプロダクト

城谷の初期の代表作と言える、『TIPO』と名付けられたプロダクトのシリーズ。彼はここで、人間がこの数千年間に生み出してきた無数の器の集合の中いわば「原型」として見え隠れするような、本質的で均整のとれた形を捉えようとした。このようなデザインの姿勢は、その後の彼のプロダクトデザインの作品にも貫かれている。(図6・7)

②人と人をつなぐ

デザインに取り掛かる際、城谷はまず絵や図面を描くのではなく、言葉を使う。これからデザインするプロダクトの目的や意義などを徹底的にリサーチし、人々と語り合う。そんな彼の周りには、生産者や地域の人々、研究機関などとの「つながり」が自然と広がっており、それらがプロダクトの形をも規定するのだという。『APTENIA』や『COCCIO』など、伝統工芸産地でのプロジェクトをもとにした作品はその代表格だ。「自分のデザインした作品や、自分の名前を残すことが目的ではない」とさえ語る彼は、やや珍しいタイプのデザイナーと言えるかもしれない。(図2・8)

③新しい伝統をつくる

伝統とは一般に「受け継ぐもの」と思われがちだが、城谷は「創造するもの」とも捉えている。言い換えると「不変であること」でなく、「変化を組み込みつつ文化的な営みとして継続していくこと」を伝統と呼ぶ。例えば韓国・扶余で生まれた『BUYEO』がそうであるように、城谷は足元の文化資源を根本から見直し、今の感覚で解釈し、残すべき形として提案してきた。その活動は、伝統文化継承の課題に関心が高まる現代において、私たちに新鮮な気づきを与えてくれる。(図9)

(2) 関連企画

今回、プロダクトデザインの展示という方法ではどうしても紹介することができなかった、作家のきわめて重要な仕事がある。二〇一二年より城谷がキーパーソンとなり、故郷・小浜町で進めてきた地域活性化プロジェクト「刈水エコヴィレッジ構想」だ。この構想を実現しようとする動きの中で、小浜には刈水庵¹ができ、新しい交流の形が生まれ、県内外から注目を集めるようになった。プロジェクトの所産としての「小浜の活性化」のシンボルともいえる恒例のデザインマーケットを、当館を会場として開催するというイベント「出張デザインマーケット」⁶を企画した。

本イベントは、小浜を含む島原半島で活動する多くの出店者(デザイナー、陶芸家、染織家、画家、食品の生産者、飲食店経営者など)、およびスタジオシロタニの協力のもとで開催に至った。また、新型コロナウイルスの影響下にあり、来場者への検温消毒や連絡先記入のお願い、周囲の公園からのアクセスを



図9. 『BUYEO』2013年



図8. 『COCCIO』2010年



図7. 『CALDERA』2005年

封鎖する導線計画、食券による待機者の列の整理など、さまざまな感染拡大防止対策を講じての実施となった。展示室とマーケットを行き来する来場者が多く、会場は終日穏やかな賑わいに包まれた。そうした賑わいは、プロダクト作品のスタイリッシュな展示と表裏一体の形で本展が伝えることのできた、城谷のデザインの仕事の醍醐味であったと振り返ることができる。(図10)

(3)開催の意義

城谷はイタリアから帰国後、長崎・小浜に拠点を定めた。それから二十年が経ったいま、過疎化の進む温泉地であった小浜は、城谷の次の世代のデザイナー等が集い、地域の人々との有機的な関わりの中で活躍する町となっている。これは本展「出張デザインマーケット」により、来場者に体験的に認識していただいたことでもあるはずだ。城谷はゆかりのあるイタリアや日本の他都市ではなく、自分のホームである小浜の地をあえて拠点を選び、人や地域を育ててきた。そんな「ホーム」にある公立美術館が、城谷の業績を評価し紹介する意義は大きい。長崎県の小浜や波佐見などで彼が取り組んだデザインプロジェクトは、まぎれもなく我々県民が共有できる財産であり、本県や九州で同様の活性化課題に取り組む多くの人にとり一つの大きな指標ともなり得るためである。日本では地方移住や地域についての学びがブームとなっており、そうした活動の根幹に「デザイン」を積極的に位置づけて顕著な人的交流や変革を生んだ成功例として、城谷の仕事は特筆に値する。⁷⁾

もう一つ、別の観点からの本展の意義を述べる。本展では、城谷のプロダクトデザインの代表作を紹介した。プロダクトデザインはその特徴をやや集合的に論じられることも多いが、本展では作品一つ一つにふさわしいゆとりをもって配置し、すべてに解説を付し光を当てた。「もの」から引き出される情報や鑑賞体験に重きを置く美術館ならではの展示方法として、有意義だったと思う。本展会期中に作家が他界して以降は、追悼の意思を持って展示室を訪れる方が多かった。そうした方々に対して、作品一点一点と向き合っただけの背景を知り、鑑賞することのできる場を提供できたことには意味があった。何よりも作家の尽力により、初期から最近までの代表作がそろったことで、こうした側面での本展の意義は高まった。

城谷氏は、会期中の二〇二〇年十二月十三日に急病で他界した。当たり前に訪れると思っていた、展示室で作家とともに開幕を喜ぶ時間が実現することはない、関連企画への作家登壇も叶わず残念であった。一方で閉幕後に展示を振り返り、本展に作家自身の言葉が反映されたことは何と貴重でありがたいことであつたかを、あらためて実感することにもなった。本展を二過性のものとして片付けてしまうのではなく、その成果を本稿のような形で記録し、展覧会準備で得た情報や作家の言葉などを整理し残していくことには大きな意義があるだろう。



図10.「出張デザインマーケット」開催の様子

2. 「清水久和のデザイン」⁽⁸⁾

(1) 展示とその背景

清水久和は、長崎県諫早市に生まれ、東京を拠点とするプロダクトデザイナーである。キャノン株式会社のカメラデザイナーとしてKYY DIGITALシリーズの世界的躍進に貢献する傍ら、一九九八年から個人のアトリエSABO STUDIOから少量生産のプロダクトを発表してきた。その後キャノンを退社し、二〇一二年にデザインディレクターの岡田栄造とともにS&O DESIGN株式会社を設立。以後、家具、家電、日用品などのプロダクトデザインを世に送り出している。一見斬新な、あるいはスマートなデザインの中に、私たちが生活の中である程度共通して持つ「記憶」に強く訴えかける要素が隠されている。そんな不思議な世界観により、清水のプロダクトデザインは多くの人々を引きつけてきた。⁽⁹⁾

今回の展覧会も、常設展の一環として計画をはじめたものだった。前年の城谷展に続き、当館のデザイナー関係の郷土美術研究をアップデートすることを考え、同じく「デザイン喜望峰」展の出品作をすでに当館で所蔵していた清水を取り上げることにした。当館の所蔵する清水作品は、ほぼ一九九〇年代のものに限られている。所蔵品のみを展示するとしても、それはそれで他所にない貴重な初期作品に特化して詳しく紹介できる機会とはなるのだが、作家との相談も踏まえ近作を借用し併せて展示することとした。当館の所蔵品が属する初期作品とはアプローチの異なるもの——特に、二〇一二年頃から「コンティニウアスデザイン」という用語で語られるようになった3Dデザイン手法をよく表す作品を中心に、借用作品の候補をリストアップしていった。ありふれた(よくできた)工業デザインに備わる実用性や普遍性に学ぼうとしてきた清水の態度を表す、「愛のバッドデザイン」という言葉。これに関連して彼がよく用いる、「記憶」という言葉。そして上述した、近作等のスタイリッシュな造形を説明する「コンティニウアスデザイン」という言葉。これら三つのキーワードによって、清水のデザインの展開を総合的に語ることを試みた。

最終的に、国内外の十一の企業(メーカー)から十二件の作品を、さらに前半期のSABO STUDIO時代の作品を中心に作家からも借用し、所蔵品をあわせて二十七件(七十点)を展示することとした。展示室は、常設展示室第四室を用いた。初期の代表作《チューチューシャンデリア》(一九九四年)を天井からつるし、その下に最新作《TOE FURNITURE》シリーズ(二〇二一年)をはじめとする家具作品を配置。清水の代表作が集まる、リビングルームのような空間を実現した。当館常設展示室のちょうど中央部分にあたる小さな展示室に、にぎやかなリビングルームが唐突に姿を現すという意外性も狙った。同室は常設展示室のほかの特集展示をすることが多かった。今回はそうした部屋の特性と、シャンデリアが放つ暖色の光を生かして、一種の親密さのある空間を作った。展示室の壁裏にあたるパティオ横通路には、大型作品《鬚貯金箱》

(二〇〇八年)を展示した。(口絵4および図12・13)



図11. 清水久和

展示構成は三章立てとした。作品の並びはほぼ制作年代順としつつ、章と作品の対応関係はゆるやかなものとした(すべての章／キーワードがすべての作品にある程度関連するものであった)。以下のような章解説を記したパネルを設置するとともに、作品全点に解説キャプションを設置した。

① 愛のバッドデザイン

私たちの日常生活に不可欠なはずなのに、特別に意識されないもの。それらに敬意を表し、「愛のバッドデザイン」と呼んで顕彰する活動を、清水は一九九〇年代より行ってきた。集めたものの数は数百に及ぶ。例えば、浮き輪などの表面についていて用がないときは引っ込んでしまう空気栓。機能と形態がびたりと一致した、究極のモダンデザインであるはずなのに、控えめで話題に上ることもない。そんなリサーチ活動を土台として生まれた初期作品を、まずはご紹介する。(図14)

② 共通の記憶への問い

「愛のバッドデザイン」の考え方は、清水の中で「記憶」という次のキーワードへと結びついていった。清水は「人々に共通の記憶」というものは必ずあり、それを形にすることがプロダクトデザインだと述べる。一見特徴のない「無難」なデザインにたどり着きそうな理論だが、清水の作品はどれも無難さとはほど遠い。人々に共通する記憶の内容について、はたから見るとちよつと過剰なほどに自問し、愛をもつてリサーチし、形に表そうとする彼の強い姿勢が、結果的に無難さを遠ざけているのだろう。(図15・16)

③ コンティニユアスデザイン

コンティニユアスデザインとは、清水独自のデザイン手法の呼び名。あたかもコンピューター上で粘土をこねるかのように円球などの形を自在に変形させて3Dデータを作り、そのデータ上で無数の検討を重ねつつ製品の完成までをコントロールする。スケッチ上のアイデアがそのまま形になったかのような新鮮さと、立体物としての精巧さが不思議と同居する清水作品のベースとなる手法だ。この手法はまた、粘土による自在な造形の楽しさを心のどこかに記憶する私たちの感覚にも、コンティニユアスな(切れ目のない、連続した)刺激を与え、プロダクトデザインの新しい楽しみ方を教えてくれる。(図17・18)

(2) 関連企画

① レクチャー「清水久和のデザイン」¹⁰⁾

展覧会関連企画として、二つのイベントを開催した。まず、作家を招いてのトークイベントである。新型コロナウイルスの影響下、対面でのトークイベント開催の是非が直前まで読めない状況の打開策として、かつ清水の拠点である首都圏を含む広い範囲の方にご覧いただくことを期待して、当館公式YouTube上でのオンライン開催とした。内容は、展示室の紹介と、清水と筆者の対談などを組み合わせたもの。会期中の休館日に約四時間をかけて展示室でレクチャー動画を収録し、後日編集の上約五十分の動画とした。動画制作においては、館内スタッフで企画・撮影・編集作業を分担した。本レクチャーは、展覧会終了後も



図13. 展示室風景



図12. 展示室風景

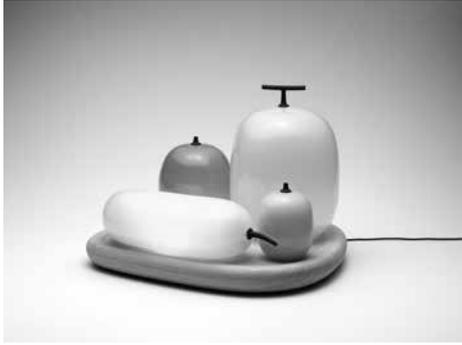


図16. 《フルーツ・テーブル・ランプ》2011年



図14. 《アイスクリームカップ》2001年



図17. 清水久和×象印マホービン《魔法瓶》2014年



図15. 《鏡の髪型(井伊直弼)》2008年



図18. 清水久和×天童木工《ラケットチェア》2015年



図19. レクチャー「清水久和のデザイン」YouTube配信画面

アーカイブ動画として継続的に公開中である。(図19)

② みんなのアトリエ「あの人の髪型をつくろう！」

代表作の一つ『鏡の髪型』シリーズ(二〇〇八―〇九年)にちなんだワークショップを開催した。「記憶」を頼りに、家族・親戚・友人など、よく知っている「あの人」の髪型をデザインしてみようというコンセプトのイベントで、清水が講師を務めた。材料は、楕円形のアクリルミラー、画用紙、毛糸、モールなど。小学生とその保護者の二名一組で参加し、良く知る「あの人」についての会話を楽しみつつ、毛髪とみなした材料を鏡に張り付けていく。身近な人の人柄やその一つのシンボルともいえる髪型について、会話を通してペアで共通のイメージをねん出していく過程、そして表現としては二人全く別々のものが出来ることなどに面白さがあり、「記憶」を重要視する清水のデザイン観を体験的に知る機会となった。(図20)

(3)開催の意義

本展は、現在は東京を拠点に活動する清水の「里帰り」展とも言える。長崎県出身者でこのようにたぐいまれな活動をしてきデザイナーがいることを、本県の人知っていたく機会として有意義であった。量産型のプロダクトについて、普段身近にある「これ(化粧品のパッケージ、カメラ、ドライヤーなど)」をデザインしたのが、長崎にゆかりのある清水なのだと認識できて面白かった、身近に感じたといった声が来場者より寄せられた。長崎にゆかりを持ち県内外で活躍する人々や、次世代のデザイナーなどにとり展覧会が大きな刺激となり、本県の新たな文化・芸術活動の礎の一つをなし得ることを期待する。

本展では、清水のこれまでの代表作を一堂に展示できた。清水の作品には、数百万点も製造される工業製品から、一点もののデザイン作品に至るまでじつに幅広いものがある。しかもそれらは、既製品のチューベットを利用したシャンデリア、大手メーカーが生産するデジカメ、髪型のついた鏡、フルーツの形をしたランプ、スタイリッシュな除湿器など、スタイルも性格も様々でやや謎めいており、私たちが一見しただけで簡単に作家の意図や傾向をつかむことは難しいとも言える。そんな清水の代表作について、本展では三つのキーワード／章をもとにゆるやかに整理し、全作品に解説文を付して紹介した。このことにより、これらが一人のプロダクトデザイナーの一貫した世界観を体現した作品群であることを、わかりやすく示すことができたのではないかと思う。こうした成果の一部は展覧会の閉幕後も、レクチャー「清水久和のデザイン」によりオンライン上で公開中である。本展が多くの方にとってできるだけ理解しやすい／親しみやすい清水像を結ぶ機会となることを願っていたが、それを少しでも実現できていれば幸いである。

本展には後日談がある。閉幕後に東京の21.21 DESIGN SIGHTで開催された作家の個展「REMOTE WORKS @ 21.21 01: 清水久和(S&O DESIGN)」に、当館所蔵品を除く本展出品作の多くが展示され、その余波は少なからず当館にも及んだ。長崎まで足を伸ばすことが難しかった方々より東京展を見たというメッセージが寄せられたり、東京展会期中はレクチャー「清水久和のデザイン」の視聴回数が伸びたりした。



図20.「あの人の髪型をつくろう！」開催の様子



東京展の作品解説キャプションの中には、本展の作品解説の一部が引用／転載されたものもあった。もちろん本展と東京展は主催者もアプローチもまったく別の展覧会であるが、当館における郷土美術研究の成果の少なくとも「一部」が、地域の枠を超えてより多くの人に共有されたことは事実と言え、このことは担当者の私にとり大きな励みとなった。今後とも、長崎という地域に着実に根差しながらも、より広い範囲において重要性を持ち得るような活動に努めたい。

おわりに

以上に報告した二つの展覧会は、現役の、とりわけキャリアの中で非常に充実した時期を迎えた郷土作家の仕事の顕彰や、地域の文化・芸術活動の振興に貢献できた小企画展であったと思う。それぞれの展覧会の開催意義は、個別に記した通りである。

ここでさらに、二つの展覧会に共通した開催意義を挙げるとすれば、まず、コロナ禍特有の閉塞感に包まれた美術館活動に、ある種の突破口をもたらしにくれたことではないかと思う。この時期の展覧会において、これまで当たり前だった長距離の移動を伴う調査活動を重ねることや、規模の大きな輸送を想定することはとても困難であった。そんな中で二つの展覧会については、すでに当館とつながりのあった二作家との緊密なコミュニケーションと、作家とその関係者からの大きな協力のもと、有意義に準備を進めることができた。コロナ禍ならではの「制約」に立ち向かったり、隙をついてかいくぐったり、何かをあきらめたりするような無理や犠牲の少ない形で、充実した展示を組み立てられたことは大変ありがたかった。

このことは転じて、完成した両展覧会がほどよくリラックスした雰囲気をもたらしたこともつながったと思う。そして図らずも、そうしたリラックス感や余裕のある美術鑑賞の場こそが、非常事態下にあつて美術館が来場者に提案できる最良のものの一つであつたとも言えるのではないだろうか。

また両展覧会は、生活に用いられるプロダクトデザインを特集するものだった。飛躍を恐れずに言えば、遠くはどこかではなく、私たちがいまここで営む生活の中に、誰かの思考や情熱によつて作られた、キラキラとしたかけがえのない「もの(プロダクト)」があふれているのだという純粋なメッセージを、来場者に受け取っていただくことができたのではないかと思う。パンデミックとそれに伴う日常感覚の転覆や変化を個々人が目の当たりにしながら、今後とも連綿と続いていくであろう私たちの「生活」という営みを見据えるとき、後退ではなく前進の感覚を、不安ではなく希望の兆しをもたらすような、そんな力強い展覧会となることを期待していた。城谷耕生と清水久和という、それぞれに比類のない活躍を続けてきた二人の作家の存在とそれぞれの作品には、こうしたメッセージを伝える上で余りある力強さがあつた。あらためて両作家の仕事に敬意を表し、展覧会への協力を深く感謝申し上げます。二つの展覧会を踏まえながら、今後

も当館の郷土美術研究や展示活動の充実に寄与していきたい。

フォトクレジット・

・撮影・久高良治／口絵2・4・図2・4・6・8・12・13

・白根美恵／図15・16

・青木倫紀／図17・18

註

(1) 展覧会の概要は以下の通り。展覧会名：「デザイン喜望峰 清水久和／竹下洋子／城谷耕生の活動」。会期：二〇〇七年四月一日～六月十日。会場：常設展示室第一室。企画構成：伊藤晴子（長崎県美術館）。展覧会図録：『デザイン喜望峰 清水久和／竹下洋子／城谷耕生の活動』長崎県美術館、二〇〇七年。この展覧会は国内外で活動中の長崎出身のデザイナーの活動を紹介するものであり、本稿で言及する城谷と清水の他に、ニットを表現手段とする竹下洋子についても取り上げた。開催当時、三十代後半から四十代前半と比較的若手であった三名のデザイナーの活動に注目し、美術館における展覧会という形ではじめて光を当てた展覧会である。

(2) 概要は以下の通り。会期：二〇一〇年十一月二十七日（金）～二〇一一年一月十一日（月祝）。会場：常設展示室第二室。主催：長崎県、長崎県美術館。広報物デザイン：諸山朗（スタジオシロタニ）。来場者数：二、八七四人。

(3) 作品点数の中には、会期中中に追加展示された作品『MICADO CHAIR』（二〇一〇年）（二点）が含まれる。

(4) 小浜町の刈水地区に位置する、築八十一年の家屋をリノベーションしたショップ・喫茶施設。二〇一三年にオープンし、翌年より城谷の事務所「スタジオシロタニ」を併設する。

(5) 当初は「刈水デザインマーケット」と称し、二〇一三年五月から二〇一八年四月までの間に計十五回の開催を数えた。その後は規模を拡大し「小浜デザインマーケット」と改称。これまでに二回が開催されている（第三回は新型コロナウイルスの影響で中止）。

(6) 概要は以下の通り。日時：十二月六日（日）十一時～十五時。会場：当館運河劇場周辺。出店者：以下の十五組。nomi、villa del nido、かんぼ、カレライフ、小浜温泉珈琲焙煎所、オクウンヒセラミックススタジオ、景色デザイン室、刈水庵、森商店、Pine Tail Farm、アイアカネ商店、田中たねの農園、桑迫賢太郎、沖田製菓舗、Yathina。来場者数：九一四人。

(7) 都市部でなくあえて地域に拠点を置き、地域に根差した制作活動を行うデザイナーは近年増えている。城谷をそうした人々の「先駆け」の一人と位置付ける見方もある。（新山直広他編「おもしろい地域には、おもしろいデザイナーがいる」地域×デザインの実践』学芸出版社、二〇二二年、一八五～一八六頁。）

(8) 概要は以下の通り。会期：二〇二二年九月十五日（水）～十一月二十一日（日）。会場：常設展示室第四室。主催：長崎県、長崎県美術館。特別協力：S&O DESIGN株式会社。協力：株式会社いさみや、株式会社イービーエム、キヤノン株式会社、コクヨ株式会社、株式会社資生堂、株式会社天童木工、象印マホービン株式会社、株式会社中善、株式会社日本ベネックス、株式会社ノリタケカンパニーリミテド、日立グローバルライフソリューションズ株式会社、株式会社日立ドキュメントソリューションズ、富士フイルム

株式会社、リヤドロジャパン株式会社。アートディレクション(広報物、会場内配布リーフレット)・井上広一(OKEYE)。来場者数：五、七〇四人。

(9) この概念／言葉は、清水と岡田栄造の対話をもとに生まれたという。(土田貴宏「S&O DESIGNのコンティニユアスデザイン」『AXIS』No.一五九、二〇二二年十月。)また、デザイン雑誌『AXIS』において、日本の工業デザインの各分野を代表する企業とS&O DESIGNが協働し、コンティニユアスデザインの手法を生かしながら既存の枠組みにとられないデザイン開発に挑戦するという連載企画が組まれた。(土田貴宏「愛のコンティニユアスデザイン」『AXIS』二〇一四年十二月〜二〇一六年二月。連載回数計七回。)本展では、このプロジェクトで生まれた七点のコンセプトモデルのうち六点を各企業から借用して展示した。

(10) 概要は以下の通り。日時：十月十七日(日)十一時〜十一時五十分。開催形態：長崎県美術館公式YouTube上でのオンライン配信(上記日時以降もアーカイブ動画として配信)。ゲスト：清水久和、聞き手：川口佳子。視聴回数：八五三回(二〇二三年一月二十六日現在)。URL：youtube.com/user/NPAMVideos

(11) 概要は以下の通り。日時：十一月七日(日)①十時二十分〜十二時十分 ②十三時二十分〜十五時十分。会場：アトリエ・常設第四室。講師：清水久和。受付：事前申込制。対象：小学生とその保護者二名一組。定員：各回五組 定員十名。料金：一組二千元。参加者数：計八組十六名。

須磨彌吉郎収集資料研究

展示パンフレット類資料集成…スペインにおけるコレクション形成の過程と実相を探るための手掛かり

稲葉友汰

■目的

一九四一年から一九四六年、スペインに特命全権公使として赴任していた外交官・須磨彌吉郎（一八九二—一九七〇）は公使館の所在するマドリッドを活動の中心地としつつ、多数のスペイン美術作品を収集した^①。現在、長崎県美術館は須磨が当時収集した美術作品のうち約五〇〇点を所蔵^②、その発端は当館の前身である長崎県立美術博物館（開館：一九六五年、閉館：二〇〇二年）にて一九七〇年、須磨の所有するスペイン美術コレクションを展覧する「長崎開港四〇〇年記念スペイン美術巨匠展」が開催されたことに遡る^③。同展が閉幕を迎えるにあたり、出品作の大部分が本人から長崎県へと寄贈され、その約一〇日後の須磨の急逝を経て、同年度内に遺族から追加寄贈がなされた^④。以後、須磨家からの複数回の寄贈と購入があり、所謂「須磨コレクション」が形成されることとなる^⑤。これらの作品群は長崎県の所有するスペイン美術コレクションの中核として継続的な展示及び調査研究の対象となってきた。須磨コレクションに関するそれまでの調査研究の成果は、二〇〇五年に当館が開館した際の記念展「よみがえる須磨コレクション—スペイン美術の五〇〇年」に結実している^⑥。以降も日本とスペインの両国内で須磨コレクションに係る研究は進められてきており、須磨の収集活動の実態解明^⑦、個別の作品に対する調査や分析^⑧、そして戦後に同コレクションが辿った経緯——すなわち作品の日本への移送および須磨本人への返還、スペイン政府による買い上げや分散——の解明と再構築など^⑨、多角的に検証が行われてきた。

こうした研究の文脈を踏まえ、本稿は須磨による美術作品収集の実態解明に資することを第一の目的に定める。須磨はかつてマドリッドに駐在した折に書籍やパンフレットなど紙媒体の資料を多数入手し、帰国後も長らく手元に保管していたが、二〇一〇年度から当館は須磨家のご厚意により当該資料一式を借用する機会を得た。ここでは膨大な数に及ぶ預かり資料のなかから須磨がスペインにおいて実際に見ることのできた展覧会のパンフレット類を抽出、会期に基づいて時系列順に一覧化している。須磨がマドリッド

をはじめとしてスペイン各地の画廊での展示に足しげく通い、そこで画商あるいは作家本人から作品を購入してきたことは本人が度々述懐するところであり、それを踏まえ従来さまざまな論考で自明の事柄として扱われてきた。いわば作品収集の典型的なパターン¹⁰⁾の一つに位置付けられてきたわけである。こうした須磨の収集活動にまつわる言説を一次資料によって補強すべく、換言すれば、彼が実際に「いつ」「どこで」「何を」観たのかを明かすための一助となるべく本リストを作成した。こうしたパンフレット類は書籍や雑誌として刊行されていないため、彼がタイムリーに手に取ったと想定することには妥当性がある。それぞれの資料は作家や画廊から展示開幕前に渡されたものであるかもしれないし、会場で直接入手されたものかもしれないが、いずれにせよ須磨は時宜にかなって展示情報を仕入れていたことになる。

さらに、資料によってそこに含まれる情報量にばらつきがあることは否めないが、その総体である本リストを通して、須磨の収集活動の一端が示されるだけでなく、人脈や交友関係といったより幅広い意味で彼の活動圏域と呼べるものも示唆される。スペイン内をあまねく歩き回り、自らの眼をもってしてコレクションを形成した須磨彌吉郎の姿が浮かび上がってくるだろう。本稿では当該リストの提示に続き、そこから読み取れる大まかな傾向や須磨の収集の在り方を雄弁に物語る幾つかの資料に関して考察することとする。

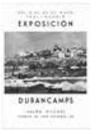
■須磨彌吉郎所有…パンフレット類資料データ一式

凡例：

- ・本リストは、長崎県美術館が二〇一〇年度より須磨家から借用している須磨彌吉郎関係資料のうち、展覧会パンフレット類一式を整理したものである。
- ・須磨が特命全権公使としてスペインに赴任していた一九四一―四六年の間に同地で入手したと考えられる資料を対象とした。
- ・各資料の情報に関して、便宜的に付与した通し番号、種別、資料のサムネイル画像、展覧会タイトル、出品作家、展示会場、展覧会期、備考の順に明記している。
- ・出品作家についてはできる限り全員を記しているが、大規模なグループ展の場合はこの限りでない。その場合は作家総数と出品点数の明記に留め、別途註にて須磨コレクションに関わりの深い作家名を列記した。
- ・本リストは資料記載の展覧会ごとに時系列順に整理。開催年のみわかる資料に関しては各年の冒頭に配した。開催月日のみ記された資料についてはリスト最後部で月日順にまとめ、会期情報が一切無いものは末尾に配してある。
- ・種別は、展示パンフレット、出品リスト、招待状の三種。同一の展覧会で複数資料が存在する場合、当該項目においては情報量の多い資料の種別のみを表記した。ただし、同一展示に係る各種資料の総数は備考欄に示してある。上記

- ・三種に該当しない資料がある場合もその旨を備考欄にて示している。
- ・展覧会名は資料記載の表記をそのまま採っているが、出品作家名に関しては可能な限り各作家の出身地における母語に倣った表記としてある。作家名のカナ表記もこれに準ずるように努めた。
- ・備考欄の翻刻中の「」については改行を示す。
- ・備考欄にて関連資料がある場合の表記について、「同封」としたものはパンフレット類の内頁に挟まるなど預入時からセットで保管されていたものを指す。「有」とのみ記したものは、預入の時点で別ファイルに含まれていたなど、資料ごとにばらばらになっていたことを示す。

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
1	展示パンフレット		Exposición: Antonio Martín Maqueda 「アントニオ・マルティン・マケダ展」	Exposición: Antonio Martín Maqueda 「アントニオ・マルティン・マケダ」	開催場所不明(ブドリード)	一九四一年	・表紙に「Madrid, 1941」のみ記載
2	展示パンフレット		Exposición de aguafuertes de Julio Prieto Nespereira「フリオ・プリエト・ネスペレイラのエッチング作品展」	Julio Prieto Nespereira「フリオ・プリエト・ネスペレイラ」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid) 「カーノ画廊(ブドリード)」	一九四一年二月一日～五日	
3	展示パンフレット		Exposición de Manuel de Azpiroz「マヌエル・デ・アスピロス展」	Manuel de Azpiroz「マヌエル・デ・アスピロス」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid) 「カーノ画廊(ブドリード)」	一九四一年二月一七日～三月一日	
4	出品リスト		Exposición nacional de estampas de la Pasión「第一回全国カトリック版画展」	コンクール形式で三六名の作家による版画作品計五九点が並んだ	Tomás y Díaz (calle de Fray Luis de León, 4, Madrid)「トマス・イ・ディアス画廊(マドリード)」	一九四一年三月～四月	・本コンクールはその後も各年で開催されているが回ごとで会場が異なる場合もあるため、さらなる確認が必要。リストにロゴの記載はあるものの、本会場を裏付ける資料は無し
5	展示パンフレット		Exposición de Acuarclasi「水彩画展」	八二名の作家による作品計一七八点が並んだ	Asociación de Escritores y Artistas Españoles (Madrid)「スペイン文筆家・芸術家協会(マドリード)」	一九四一年四月	・表紙に書き込み：「R. Madrazo / Federico / Rainundo / José」(上記画家は出品していないため記入の意図不明) ・出品リスト部分に丸と傍線の書き込み

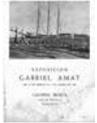
No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
6	展示パンフレット		Exposición de pintura española del siglo XIX: Adquisiciones y legados 1939-1941 [スズキインー 一九世紀絵画展：一九三九―四一年の新規購入と寄贈作品]	Antonio Maria Esquivel [アントニオ・ペリマン・エスキベル], Eduardo Rosales [エドゥアルド・ロサレス], Vicente Palmaroli [ビセンテ・パルペロリ], Federico de Madrazo [フェデリコ・デ・マドラーゾ], Eugenio Lucas [エウヘニオ・ルーカス], Leonardo Arenal [レオナルド・アレナール], Luis de Madrazo [ルイス・デ・マドラーゾ], José Morillo [ホセ・モリーリョ], Genaro Pérez Villamil [ゲナロ・ペレス・ベリヤミール], Rafael Teyol [ラファエル・テヨール], Angel Lizcano [アンヘル・リスカーン], Francisco Domingo Marqués [フランシスコ・ドミンゴ・マルケス]	Museo nacional de arte moderno, Madrid [国立近代美術館(マドリード)]	一九四一年四月	・出品リストに須磨による書き込み多数
7	出品リスト		Exposición de pintura: Javier de Winthysen y Losada [ハビエル・デ・ウインタイセン・イ・ロサーダ 絵画展]	Javier de Winthysen y Losada [ハビエル・デ・ウインタイセン・イ・ロサーダ]	Palacio de la Virreina, Barcelona [副王妃宮殿(バルセロナ)]	一九四一年四月二日 ～ 三〇日	
8	出品リスト		Exposición de obras de los pintores: J. Monasterio Riesco y J. Fernández Segura [J. モナステリオ・リエスコとJ. フェルナンデス・セテラによる絵画展]	José Monasterio Riesco [ホセ・モナステリオ・リエスコ], José Fernández Segura [ホセ・フェルナンデス・セテラ]	San Isidro Catedral (Colegiata de san Isidro, Madrid) [サン・イシドロ教会(マドリード)]	一九四一年五月	
9	出品リスト		Exposición de arte: Pro damnificados de Santander [プロ・ダムニフィカドス・デ・サンタンデル美術展]	七五名の作家の作品計八一点が並んだ	マドリード、開催場所詳細不明(Pro damnificados de Santanderの一環として開催か)	一九四一年五月	・須磨による書き込み多数(傍線、青字のメモ)
10	展示パンフレット		Exposición: Durancamps [ドゥランカンブ展]	Rafael Durancamps [ラファエル・ドゥランカンブ]	Salón Viches (avenida de José Antonio, 22, Madrid) [ビルチェス画廊(マドリード)]	一九四一年五月五日 ～ 二〇日	・同一資料計四部

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
11	展示パンフレット		Exposición de artistas andaluces「マ ンダルシアの芸術家たち展」	A. Grosso[A. タロン], S. Martínez [S. プルティネス], J. R. Jaldón[J. R. ハルダン], F. Hoheneiter[F. オーエ ンライター], J. M. Labrador[J. M. ラ ブラドル], J. M. Sánchez[J. M. サ ンチェス], J. Arpa[J. アルパ], J. Fdez. Venegas[J. フェルナンデス・ ベネガス], R. Cantarero[R. カンタ レロ], M. González Santos[M. コンサ レス・サントス], R. Monsalve[R. モ ンスルベ]	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 38, Madrid) 「カーノ画廊(『アドリー ド』)」	一九四一年五月七日～ 二四日	・書き込みあり
12	展示パンフレット		Exposición de pintura de José Eugenio Martínez Gil「ホセ・エウ ヘニオ・マルティネス・ビル展」	José Eugenio Martínez Gil「ホセ・エ ウヘニオ・マルティネス・ビル」	Palacio de la Prensa (Plaza del Callao, 4, Madrid)「バ ラシオ・デ・ラ・プレ ンサ(『アドリード』)」	一九四一年五月一〇日 ～二四日	・同一資料計二部…うち一部に 「一九四一年五月九日」のスタンプ押 印、また招待状も一枚同封
13	出品リスト		Exposición de bellas artes organizada por la Asociación de pintores y escultores de Madrid「アドリード絵 画彫刻協会美術展」	本資料によれば総勢六九作家計九七 点の大規模な展示	開催場所明記無し、同協 会の展示スペースか	一九四一年五月一七日 ～六月一七日	
14	展示パンフレット		Exposición de retratos y paisajes de Sudamérica y de Europa del pintor uruguayo Don Carlos W. Aliseris「カ ルグアイの画家カルロス・ワシントン ・アリセリスによる肖像画並びに 南米・ヨーロッパ風景画展」	Carlos Washington Aliseris「カルロ ス・ワシントン・アリセリス」	Ministerio de Asuntos Exteriores, Madrid「スヘ イン外務省(『アドリー ド』)」	一九四一年五月二九日 ～六月一五日	
15	展示パンフレット		Exposición de pinturas: Francisco Pompey「フランシスコ・ポンハイ絵 画展」	Francisco Pompey「フランシスコ・ ポンハイ」	Confederación Nacional de Casas Regionales (carrera de San Jerónimo, 32, Madrid)「国内諸地域 会総連合館(『アドリー ド』)」	一九四一年六月三〇日 ～七月一日	・須磨コトNo. 1118の書き込み
16	展示パンフレット		Exposición de pinturas: R. Rogent「R ルジエン絵画展」	Ramon Rogent「ラモン・ルジエン」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid) 「カーノ画廊(『アドリー ド』)」	一九四一年一〇月一日 ～一五日	
17	展示パンフレット		Exposición: Aureliano Bernete (1845 —1912)「アウレリアーノ・ベルエー テ展」	Aureliano Bernete「アウレリアー ノ・ベルエーテ」, Joaquín Sorolla「ホ アキン・ソローリャ」	Palacio de Bibliotecas y Museos, Madrid「図書館 博物館宮(『アドリード』)」	一九四一年一月一 ～二月	・ペンと鉛筆(黒・青)の須磨による 書き込み多数 ・ソローリャによるA.ベルエーテの 肖像一点が出品されていた

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
18	展示パンフレット		Exposición: Cuadros de firmas notables del 1900〔一九〇〇年頃に著名作家が描いた絵画展〕	二三名の作家による作品計三〇点が並んだ	Sala Vilches (avenida de José Antonio, 22, Madrid) [ビルチェス画廊(マドリード)]	一九四一年一月一日～三〇日	・同一資料計三部：うち一部の出品リストには須磨による書き込みが多数。もう一部にも書き込み有。
19	展示パンフレット		Exposición: Julio Vicens〔プリオ・ビセント展〕	Julio Vicens〔プリオ・ビセント〕	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid) [カーノ画廊(マドリード)]	一九四一年一月二七日～二九日	・厚紙で図版付きのパンフレット一部と薄紙の出品リスト(おそらく会場配布)一部
20	展示パンフレット		Exposición: Pinazo〔ピナソ展〕	Ignacio Pinazo Camarlench〔イグナシオ・ピナソ・カマルレンチ〕	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 38, Madrid) [カーノ画廊(マドリード)]	一九四一年二月一日	・同一資料計二部 ・開幕日のみ記載
21	展示パンフレット		Exposición de pinturas: José Nogue Massó〔ホセ・ノゲ・マセン展〕	José Nogue Massó〔ホセ・ノゲ・マセン〕	Sala Vilches (avenida de José Antonio, 22, Madrid) [ビルチェス画廊(マドリード)]	一九四一年二月一日～一五日	・同一資料計二部
22	展示パンフレット		Exposición: Marceliano Santa María〔マルセリアーノ・サンタ・マリア展〕	Marceliano Santa María〔マルセリアーノ・サンタ・マリア〕	Círculo de Bellas Artes (CBA), Madrid (calle de Alcalá, 42) [ブドリア美術協会]	一九四一年二月四日～三三日	・同一資料計二部：うち一部の表紙には須磨コレ「No. 1482」を記され、他方の出品リストには赤鉛筆で傍線
23	展示パンフレット		Exposición: Manolo Hugué〔マノロ・ウゲ展〕	Manolo Hugué〔マノロ・ウゲ〕	Galerías Biosca (calle de Génova, 11, Madrid) [サオスカ・キヤラリー(マドリード)]	一九四一年二月一日～三二日	・同一資料計二部：うち一部の表紙には須磨コレ「No. 1482」を記され、他方の出品リストには赤鉛筆で傍線
24	展示パンフレット		Exposición: Pedro Casas Abarca〔ペドロ・カサス・アバルカ展〕	Pedro Casas Abarca〔ペドロ・カサス・アバルカ〕	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid) [カーノ画廊(マドリード)]	一九四一年二月一日～六日	・テキスト部分に傍線多数 ・出品リスト一部に加え、一九四一年一月二五日のスタンプが押印された作家の名刺(作家手書きのコメント付)が一枚残されており、本展示を機にもらったと考えられる
25	展示パンフレット		Exposición de Lucio Rivas〔ルシオ・リバス展〕	Lucio Rivas〔ルシオ・リバス〕	Círculo de Bellas Artes (CBA), Madrid (calle de Alcalá, 42) [ブドリア美術協会]	一九四一年二月二九日～一九四二年一月二二日	・招待状も一部同封 ・表紙の紙質を落とした別バージョンのパンフレットも一部有(招待状も一部同封)
26	展示パンフレット		Exposición: Manuel de Azpiroz〔マヌエル・デ・アスピロズ展〕	Manuel de Azpiroz〔マヌエル・デ・アスピロズ〕	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid) [カーノ画廊(マドリード)]	一九四二年(会期詳細不明)	・一九四二年一月二五日のスタンプ押印

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
27	出品リスト		Exposición: Valentín de Zubiaurre「バレンティン・デ・スビアウレ展」	Valentín de Zubiaurre「バレンティン・デ・スビアウレ」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 38, Madrid)「カーノ画廊(プラドリーナ)」	一九四二年一月二日～ 一六日	・一月二日開催の開幕式典への招待状も有り(一九四一年一月三十一日のスタンプ押印、受け取った日付か)
28	招待状		Exposición: Enrique Pérez Comendador「エンリケ・ペレス・コマエンダドル展」	Enrique Pérez Comendador「エンリケ・ペレス・コマエンダドル」	Palacio de Biblioteca y Museos (avenida de Calvo Sotelo, 20, Madrid)「図書館博物館宮(プラドリーナ)」	一九四二年一月五日～ 一日	・表面に「一九四二年一月五日」のスタンプ押印
29	展示パンフレット		La España Artística: Exposición "Los primeros clientes de la casa" 1895 para inaugurar sus "Salones Macarrón" en su antiguo local「芸術のスペイン：マカロン画廊草創期の作家たち」	総勢四二名計四二作品 ^(注)	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2 al lado de la Zarzuela, Madrid)「マカロン画廊(プラドリーナ)」	一九四二年一月一〇日～ 二五日	・約五〇年にわたる同画廊(Hendataller)の活動を振り返る企画 ・同一資料計三部：うち一部に「一九四二年一月九日」のスタンプ押印、並びに開幕式典招待状同封
30	展示パンフレット		Exposición: Magdalena Leroux de Pérez Comendador「マグダレナ・ルロー展」	Magdalena Leroux de Pérez Comendador「マグダレナ・ルロー」	Palacio de Biblioteca y Museos (avenida de Calvo Sotelo, 20, Madrid)「図書館博物館宮(プラドリーナ)」	一九四二年一月一六日～ 三一日	・同一資料計二部：うち一部に作家名刺一枚と開幕式典への招待状一部(表紙に「一九四二年一月一四日」のスタンプ押印)同封
31	展示パンフレット		Exposición: Tarrasó「タラソ絵画展」	Casimir Martínez Tarrasó「カシミル・プルティネス・タラン」	Circulo de Bellas Artes (CBA), Madrid (calle de Alcalá, 42)「プレトリア美術協会」	一九四二年一月一六日～ 三一日	
32	出品リスト		Exposición: Agustín Segura「アグスティン・セグラ展」	Agustín Segura「アグスティン・セグラ」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 38, Madrid)「カーノ画廊(プラドリーナ)」	一九四二年一月一七日～ 三一日	・開幕式典への招待状も同封(表面に「一九四二年一月一六日」のスタンプ押印)
33	展示パンフレット		Exposición inaugural: Daniel Vázquez Díaz Oleos - Acuarelas - Dibujos「キャラリアーオープン記念展：ダニエル・バスケス・ディアス 油彩・水彩・素描」	Daniel Vázquez Díaz「ダニエル・バスケス・ディヤス」	Salas de Exposiciones ARTE (calle de Archs, 7 pral., Barcelona)「ARTE キャラリアー(バルセロナ)」	一九四二年一月三三日～ 二月二日	・当館所蔵須磨彌吉郎の肖像(出品・同一資料計一〇部：うち一部に招待チケット(完品)、来場を催促する手紙(書き手は画廊主人)が同封：うち一部に招待チケット二枚(完品)同封

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
34	展示パンフレット		Exposición del grabado francés moderno: Desde Manet hasta nuestros días「近現代フランス版画展：マネから今日まで」	本資料によれば総勢七〇作家一〇五点の大規模な展示	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)「バカロン画廊(ブドリーマ)」	一九四二年二月～三月	・ Instituto Francés en España「アンステイチュ・フランセ・スペイン」の主催 ・ 出品リスト部分に須磨によるチェック有
35	展示パンフレット		Exposición de paisajes y marinas: Augusto Comas「アウグスト・コマスの風景・海景画展」	Augusto Comas「アウグスト・コマス」	Hotel Palace (carrera de San Jerónimo)「パレス・ホテル(ブドリーマ)」	一九四二年二月一日～五日	・ 同一資料計二部：うち一部の表紙に「一九四二年二月三日」のスタンプ押印かつ手書きで時刻等の修正有、「一九四二年一月三〇日」のスタンプが押印された開幕式典への招待状も同封
36	出品リスト		Exposición: Las obras de Julio García Gutiérrez「フリオ・ガルシア・グティエレス」	Julio García Gutiérrez「フリオ・ガルシア・グティエレス」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 38, Madrid)「カーノ画廊(ブドリーマ)」	一九四二年二月二日～四日	・ 裏表紙に「一九四二年一月三〇日」のスタンプ押印
37	展示パンフレット		Exposición: José Gutiérrez Solana「ホセ・グティエレス・ソラーナ展」	José Gutiérrez Solana「ホセ・グティエレス・ソラーナ」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid)「カーノ画廊(ブドリーマ)」	一九四二年二月二日～四日	・ 表紙に青字で丸の書き込み ・ 出品リストのうち、二点に須磨による傍線と価格の書き込み(青字)
38	展示パンフレット		Exposición: Solís Avila「ソリス・アビラ展」	Antonio Solís Avila「アントニオ・ソリス・アビラ」	Salones de la Asociación de la Prensa (plaza del Callao, 4, Madrid)「新聞協会サロン(ブドリーマ)」	一九四二年二月二日～九日	・ リスト部分、気になった作品に青鉛筆で傍線
39	出品リスト		Exposición: Ángeles López-Roberts「アンヘレス・ロペス＝ロバート展」	Maria de los Ángeles López-Roberts「ペリア・デ・ロス・アンヘレス・ロペス＝ロバート」	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)「バカロン画廊(ブドリーマ)」	一九四二年二月一日～二日	・ 同一資料計四部 ・ 須磨コレノ. 591の作品が出品されており、リストに価格(2000 pes)が記されていることから、当展にて購入したと推察される。 ・ 開幕式典への招待状も二枚有
40	展示パンフレット		Exposición: Cecilio Pla「セシリオ・プラ展」	Cecilio Pla「セシリオ・プラ」	Salón Viches (avenida de José Antonio, 22, Madrid)「ビルチェス画廊(ブドリーマ)」	一九四二年二月二日～二六日	・ 同一資料計四部 ・ 須磨コレノ. 591の作品が出品されており、リストに価格(2000 pes)が記されていることから、当展にて購入したと推察される。 ・ 開幕式典への招待状も二枚有
41	展示パンフレット		Exposición: Luis Mosquera「ルイス・モスケラ展」	Luis Mosquera「ルイス・モスケラ」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid)「カーノ画廊(ブドリーマ)」	一九四二年二月一六日～	・ 開幕日のみ記載

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
42	出品リスト		Exposición de paisajes: Jerónimo Junquera Ibran〔クロニモ・フンケラ・イブラン風景画展〕	Jerónimo Junquera Ibran〔クロニモ・フンケラ・イブラン〕	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)〔プラロン画廊(プラドリーナ)〕	一九四二年二月一七日 ～三月三日	・表紙に「一九四三年二月一六日」とスタンプ押印されているが、リスト本文には「一九四二年」と印刷されているため、スタンプの日付を間違えている可能性が高い
43	展示パンフレット		Exposición: Gabriel Amat〔ガブリエル・アマット絵画展〕	Gabriel Amat〔ガブリエル・アマット〕	Galerías Biosca (calle de Genova, 11, Madrid)〔リオスカ・ギャラリー(プラドリーナ)〕	一九四二年二月二三日 ～三月七日	
44	展示パンフレット		Exposición de pintores alemanes en el frente〔前線のドイツ人画家たち展〕	三四名の作家による作品計七八点が並んだ	Palacio de la Prensa (plaza del Callao, 4, Madrid)〔パライオ・デ・ラ・プレンスア(プラドリーナ)〕	一九四二年三月二日 ～二日	・開幕式典への招待状も一部同封(表紙に「一九四二年二月二七日」のスタンプ押印)
45	展示パンフレット		Exposición: Las obras de Eugenio Hernoso〔エウヘニオ・エルモソ作品展〕	Eugenio Hernoso〔エウヘニオ・エルモソ〕	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid)〔カーノ画廊(プラドリーナ)〕	一九四二年三月二日 ～四日	・出品リストも計二部有
46	出品リスト		Exposición: Eduardo Rosales〔エドゥアルド・ロサレス展〕	Eduardo Rosales〔エドゥアルド・ロサレス〕	Sala Viches (avenida de José Antonio, 22, Madrid)〔ビルチェス画廊(プラドリーナ)〕	一九四二年三月六日 ～五日	・リスト部分に鉛筆で値段の書き込み有
47	展示パンフレット		Exposición: Alexis Macedonski〔アレクシス・マセドンスキー展〕	Alexis Macedonski〔アレクシス・マセドンスキー〕	Galerías Augusta (avenida Generalísimo Franco, 487, Barcelona)〔アウグスタ・ギャラリー(バルセロナ)〕	一九四二年三月七日 ～二〇日	・同ギャラリーが位置したバルセロナの avenida Generalísimo Franco〔フランコ將軍通り〕は現在の avenida Diagonal〔ディアゴナル通り〕
48	展示パンフレット		Exposición de pinturas: Luis Berdejo〔ルイス・ベルデーホ展〕	Luis Berdejo〔ルイス・ベルデーホ〕	Galerías Españolas (calle del Rosellón, 236-238, Barcelona)〔スペイン・ギャラリー(バルセロナ)〕	一九四二年三月七日 ～二一日	・表紙に「一九四二年三月九日」のスタンプ押印
49	招待状		Exposición: Rosa Ruiz Martínez〔ロサ・ルイス・マルティネス展〕	Rosa Ruiz Martínez〔ロサ・ルイス・マルティネス〕	Sala Viches (avenida de José Antonio, 22, Madrid)〔ビルチェス画廊(プラドリーナ)〕	一九四二年三月一六日	・表紙に「一九四二年三月一六日」のスタンプ押印 ・開幕日のみ記載

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
50	展示パンフレット		Exposición de dibujos de Lagarde「ラガルデ素描展」	Eduardo Lagarde「エドゥアルド・ラガルデ」	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2; al lado de la Zarzuela, Madrid)「マカロン画廊(プラドリーナ)」	一九四二年三月一六日 ～ 二八日	・同一資料計三部
51	出品リスト		Exposición: Las obras de Enrique Martínez Cubells「エンリケ・マルティネス・クベルス作品展」	Enrique Martínez Cubells「エンリケ・マルティネス・クベルス」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid)「カーノ画廊(プラドリーナ)」	一九四二年三月三三日 ～ 四月一日	・開幕式典への招待状も同封 ・「一九四二年三月二二日」のスタンプ押印
52	展示パンフレット		Exposición de la Condesa de Melgar「メルガー伯爵夫人展」	Helena de Melgar「エレナ・デ・メルガー」	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2; al lado de la Zarzuela, Madrid)「マカロン画廊(プラドリーナ)」	一九四二年三月三〇日 ～ 四月一五日	
53	展示パンフレット		Exposición: Antonio Luis「アントニオ・ルイス展」	Antonio Luis「アントニオ・ルイス」	Hotel Palace (carrera de San Jerónimo)「パレス・ホテル(プラドリーナ)」	一九四二年四月六日 ～ 二〇日	・出品リストが四部同封
54	展示パンフレット		Ismael Blat「イスマエル・ブラット展」	Ismael Blat「イスマエル・ブラット」	Museo nacional de arte moderno, Madrid「国立近代美術館(プラドリーナ)」	一九四二年四月一〇日 ～ 五月一〇日	・出品リストも一部同封
55	展示パンフレット		Exposición: Las obras de Félix Herráez「フェリクス・エラエス作品展」	Félix Herráez「フェリクス・エラエス」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid)「カーノ画廊(プラドリーナ)」	一九四二年四月一三日 ～ 二五日	・同一資料計二部 ・出品リストも一部有
56	展示パンフレット		Exposición Francisco Domingo「フランシスコ・ドミンゴ展」	Francisco Domingo「フランシスコ・ドミンゴ」	Galerías Biosca (calle de Génova, 11, Madrid)「サオスカ・ギヤララー(プラドリーナ)」	一九四二年四月一三日 ～ 二七日	・同一資料計二部：うち一部に須磨 コレNo. 1657の書名のみ
57	展示パンフレット		Exposición: J. Mestres Cabanes「Josep Mestres Cabanes」メストラス・カバナス展」	Josep Mestres Cabanes「ジュゼップ・メストラス・カバナス」	Sala Vilches (avenida de José Antonio, 22, Madrid)「ビルチェス画廊(プラドリーナ)」	一九四二年四月一六日 ～ 三〇日	

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
58	展示パンフレット		Exposición: José de Lapyese「ホセ・デ・ラバイエゼ展」	José de Lapyese「ホセ・デ・ラバイエゼ」	Galerías Laitanans (avenida de José Antonio, 613, Barcelona)「レイアタナス・キヤララー(バルセロナ)」	一九四二年四月一八日 ～五月一日	
59	展示パンフレット		Exposición: Joaquín Vaquero「ホアキン・バケロー展」	Joaquín Vaquero「ホアキン・バケロー」	Salones Macarrón (Calle de Jovellanos, 2 al lado de la Zarzuela, Madrid)「マカロン画廊(マドリード)」	一九四二年四月二〇日 ～五月八日	・同一資料計四部
60	出品リスト		Exposición: Herreros「エネーロス展」	Enrique Herreros「エンリケ・エネーロス」	Salones de la Asociación de la Prensa (plaza del Callao, 4, Madrid)「新聞協会サロン(マドリード)」	一九四二年四月二五日 ～五月七日	
61	出品リスト		Exposición: Las obras de Humbert - Mompuou - Pruna「ウンベル・モンポウ・プルーナ作品展」	Manuel Humbert「マヌエル・ウンベル」 Josep Mompuou「ジュゼップ・モンポウ」 Pere Pruna「ペラ・プルーナ」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 38, Madrid)「カーノ画廊(マドリード)」	一九四二年四月二七日 ～五月九日	・表紙に「一九四二年四月二四日」のスタンプ押印 ・出品リストも一枚有
62	展示パンフレット		Exposición homenaje en memoria de Miguel Blay「ミゲル・ブライ回顧表彰展」	Miguel Blay「ミゲル・ブライ」	Real Academia de Bellas Artes de San Fernando (calle de Alcalá, 13)「王立サン・フェルナンド美術アカデミー(マドリード)」	一九四二年五月	
63	展示パンフレット		Exposición del círculo artístico de Barcelona「バルセロナの芸術家たち展」	四四名の作家による作品計五三点が並んだ	Círculo de Bellas Artes (CBA), Madrid (calle de Alcalá, 42)「マドリード美術協会」	一九四二年五月	・内頁に鉛筆で書き込み「四四人五三点」
64	展示パンフレット		Exposición de obras de profesores fallecidos de la Escuela de artes y oficios de Madrid「マドリード商業・美術学校で教壇に立った物故作家による展覧会」	一七名の作家の作品計三三二点が並んだ	開催場所の明記は無いが文面に「nuestro salón」とあるので同校敷地内の展示スペースと思われる	一九四二年五月	・出品作家のうち「Lino Casimiro Borrall」・「カシミロ・イボラ」並びに「Ignacio Pihazo Camarlench」「イグナシオ・ピナソ・カマルレンク」の部分に須磨によるチェック有り
65	展示パンフレット		Exposición: Durancamps「デュランカンブ展」	Rafael Durancamps「ラファエル・デュランカンブ」	Salón Viches (avenida de José Antonio, 22, Madrid)「ビルチェス画廊(マドリード)」	一九四二年五月二日～五日	・同一資料計二部：いずれもの出品リストに書き込み有り ・主催は恐らく「Organización Establecimientos Maragall, S. A.

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
66	展示パンフレット		Exposición del pintor gallego: Abellada [ガリシアの画家マヌエル・アベレンダ展]	Manuel Abellada [マヌエル・アベレンダ]	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) [マカロン画廊(マドリード)]	一九四二年五月四日～ 一八日	・同一資料計二部
67	招待状		Exposición de Pintura: Fernando Escrivá y Cantos [フェルナンド・エスクリバ・イ・カントス展]	Fernando Escrivá y Cantos [フェルナンド・エスクリバ・イ・カントス]	Hotel Palace (carrera de San Jerónimo) [パレス・ホテル(マドリード)]	一九四二年五月九日～ 一六日	・表紙に「一九四二年五月一六日」のスタンプ押印 ・出品リストも二枚有るうち一枚は招待状に同封
68	展示パンフレット		Exposición: Las obras de Francisco Hoheneiter [フランシスコ・オーエンライター展]	Francisco Hoheneiter [フランシスコ・オーエンライター]	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid) [カーノ画廊(マドリード)]	一九四二年五月一日～ 三〇日	・表紙に「一九四二年五月八日」のスタンプ押印 ・出品リストも一部同封(赤鉛筆でチェックマーク)
69	展示パンフレット		Exposición: Rincónes y costumbres de Madrid [マドリードの片隅と慣習展]	六九名の作家による作品計一一八点が油彩・彫刻・版画・素描の部門づつに並んだ	Salones de la Asociación de la Prensa (plaza del Callao, 4, Madrid) [新聞協会サロン(マドリード)]	一九四二年五月一三日～	・同一資料計二部のうち一部にアナスタシオ・デ・パラモ(Anastasio de Parano)宛ての招待状一枚(一九四二年五月一日付)が同封 ・右記招待状が同封されたパンフレットには須磨自筆の書き込み有る ・開幕日のみ記載
70	展示パンフレット		Exposición: Gussinyé [グシニエ展]	Pere Gussinyé [ペラ・グシニエ]	Sala Prat (calle de Pascual y Genís, 28, Valencia) [プラット画廊(バレンシア)]	一九四二年五月一六日～ 三一日	
71	出品リスト		Exposición de cuadros: Jesús Apellaniz [クスス・アペリャニス絵画展]	Jesús Apellaniz [クスス・アペリャニス]	Salón Viches (avenida de José Antonio, 22, Madrid) [ビルチエス画廊(マドリード)]	一九四二年五月一日～ 三〇日	
72	展示パンフレット		Exposición de caricaturas del artista filipino Luis Lasca [フィリピン出身の芸術家ルイス・ラーサのカリカチュア展]	Luis León Lasca [ルイス・レオン・ラーサ]	Hotel Palace (carrera de San Jerónimo) [パレス・ホテル(マドリード)]	一九四二年五月一日～ 二日	・出品リスト真に書き込み多数(気になる作品のキャプションにチェックを入れたか) ・同一資料計二部
73	展示パンフレット		Exposición: Pantorba [バントルバ展]	Bernardino de Pantorba [ベルナルディノ・デ・バントルバ]	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) [マカロン画廊(マドリード)]	一九四二年五月二〇日～ 六月三日	・表紙に「一九四二年五月二〇日」のスタンプ押印
74	展示パンフレット		Exposición de obras del pintor E. Santos [E. サントス絵画展]	E. Santos [E. サントス]	Casa "UMA" (calle de Génova, 21, Madrid) [カサ・フムア(マドリード)]	一九四二年五月二〇日～ 六月五日	・表紙に「一九四二年五月一九日」のスタンプ押印

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
75	出品リスト		Exposición de acuarelas de Javier Gómez Acebo「ハビエル・ゴメス＝アセボ水彩画展」	Javier Gómez-Acebo「ハビエル・ゴメス＝アセボ」	Museo nacional de arte moderno, Madrid「国立近代美術館(マドリード)」	一九四二年五月二五日 ～六月一〇日	・表紙に「一九四二年五月二六日」のスタンプ押印
76	招待状		Exposición: Ignacio Pinazo Martínez「イグナシオ・ピナゾン・マルティネス展」	Ignacio Pinazo Martínez「イグナシオ・ピナゾン・マルティネス」	Salones de la Sociedad de amigos del arte, Biblioteca Nacional (avenida de Calvo Sotelo, 20, Madrid) 「国立図書館美術の友協会展示室(マドリード)」	一九四二年五月二七日	・同作家の絶筆が展示された展覧会の開幕式典への招待状 ・表紙に「一九四二年五月二六日」のスタンプおよび開催日時に赤鉛筆で傍線 ・開幕日のみ記載
77	展示パンフレット		Exposición: Guido Caprotti da Monza「ガイド・カプロッティ展」	Guido Caprotti「ガイド・カプロッティ展」	Museo nacional de arte moderno, Madrid「国立近代美術館(マドリード)」	一九四二年六月	
78	展示パンフレット		Obras de Gustavo de Maeztu「グスタボ・デ・マエストゥ絵画展」	Gustavo de Maeztu「グスタボ・デ・マエストゥ」	Círculo de Bellas Artes (CBA), Madrid (calle de Alcalá, 42)「マドリード美術協会」	一九四二年六月	
79	展示パンフレット		Exposición: Luis Pastour「ルイス・パストゥール展」	Louis Pasteur「ルイ・パストゥール」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid) 「カーノ画廊(マドリード)」	一九四二年六月一日～三日	・出品リストも一枚同封 ・表紙に「一九四二年五月二九日」のスタンプが押印された作家解説のパンフレット一部も有(展覧会に先立って送られたものか)
80	展示パンフレット		Exposición: Los Madrazo「マドラーソン家絵画展」	José de Madrazo「ホセ・デ・マドラーソン」, Federico de Madrazo「フェデリコ・デ・マドラーソン」, Luis de Madrazo「ルイス・デ・マドラーソン」, Raimundo de Madrazo「レイムン・デ・マドラーソン」	Asociación de pintores y escultores de Madrid, Salón de exposiciones (calle de las infantas, 30, Madrid)「マドリード絵画彫刻協会展示室(マドリード)」	一九四二年六月一日～五日	・表紙に「一九四二年六月一日」のスタンプ押印、同封の出品リストにも書き込み多数

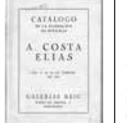
No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
81	展示パンフレット		Exposición: Primeras Medallas「一等メダル受賞作家展」	二三名の作家の作品計二十六点が並んだ	Sala Vilches (avenida de José Antonio, 22, Madrid) [ビルチェス画廊(マドリド)]	一九四二年六月二十五日	・同一資料計二部：うち一部の出品リスト部分に「一九四二年六月三日」のスタンプ押印、以下作家部分に須磨が傍線と価格表記を付している：José Gutiérrez Solana[ホセ・グティエレス・ソラーナ]、Ignacio Pinazo[イグナシオ・ピナソ]、Joaquín Sorolla[ホアキン・ソローリャ]、Daniel Vázquez Díaz[タニエル・バスケス・ディアス] ・出品作家の顔ぶれをみるに全国美術展での第一等(Primera Medalla)獲得作家の展示を企図したか
82	出品リスト		Pinturas de José Caballero, Luis Calzada, Víctor María Cortezo y Juan Antonio Morales[ホセ・カバリエロ、ルイス・カルサダ、ビクトル・マリア・コルテゾン、フアン・アントニオ・モラーレスによる絵画展]	José Caballero[ホセ・カバリエロ]、Luis Calzada[ルイス・カルサダ]、Víctor María Cortezo[ビクトル・マリア・コルテゾン]、Juan Antonio Morales[フアン・アントニオ・モラーレス]	Galería «JUMA» (calle de Génova, 21, bajo, Madrid) [「フマ」ギャラリー(マドリド)]	一九四二年六月二七日 ～七月二日	・表紙に「一九四二年七月一日」のスタンプ押印
83	招待状		Cecilio Sanchez-Robles: Exposición de su cuadro titulado «Franco, Caudillo de la Victoria y de la Paz»[フランシオ・サンチェス・ロブレス：《フランコ將軍：勝利と平和の指導者》の展示]	Cecilio Sánchez-Robles[セシリオ・サンチェス・ロブレス]	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) [「マカロン画廊」(マドリド)]	一九四二年七月六日	・開幕日のみ記載
84	展示パンフレット		Academia Breve de Crítica de Arte: Primera Exposición: Isidro Nonell[美術批評短期アカデミー第一回展：イシドドラ・ヌネイ]	Isidre Nonell[イシドドラ・ヌネイ]	Galerías Biosca (calle de Génova, 11, Madrid) [「オスカ・ギヤラリー」(マドリド)]	一九四二年七月一六日 ～三一日	・表紙に「一九四二年七月一五日」のスタンプ押印、須磨による傍線多数、裏面には同アカデミーの設立趣旨記載
85	展示パンフレット		II Exposición nacional de arte de «Educación y Descanso»[第二回「教育と余暇」の労働組合による全国美術展]	スペイン各地で選ばれた上記労働組に属する人物たちの作品が一堂に会した	Circulo de Bellas Artes (CBA), Madrid (calle de Alcalá, 42) [「マドリド美術協会」]	一九四二年一〇月	・出品者は作家活動で生計を立てていない、いわゆるアマチュアの作家
86	展示パンフレット		Exposición: Rafael Cantarero[ラファエル・カンタレロ展]	Rafael Cantarero[ラファエル・カンタレロ]	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid) [「カーノ画廊」(マドリド)]	一九四二年一〇月二日 ～一七日	・出品リストも一部有

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
87	展示パンフレット		Exposición de Documentos pertenecientes a la Casa de Vergara y de obras del pintor Vázquez Díaz 「カサ・デ・ベラガス所蔵資料並びにバスケス・ディアス絵画展」	Daniel Vázquez Díaz「ダニエル・バスケス・ディアス」	Museo Naval, Madrid「マドリード海事博物館」	一九四二年一月三日～	・同一資料計二部 ・当館所蔵作品《イスパニター記念聖堂》出品 ・開幕日のみ記載
88	展示パンフレット		Exposición de pinturas: Ramon Reig 「ラモン・レッチ絵画展」	Ramon Reig「ラモン・レッチ」	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)「マカロン画廊(マドリード)」	一九四二年一月五日～三〇日	・表紙に「一九四二年一月二〇日」のスタンプ押印、青鉛筆でチェックマーク有 ・開幕式典への招待状兼出品リスト二枚同封・うち一枚に青鉛筆でチェックマーク有
89	展示パンフレット		Exposición: Aliseris—Retratos y Paisajes「マリセリスによる肖像・風景画展」	Carlos Washington Aliseris「カルロス・ワシントン・マリセリス」	Palacio de Bibliotecas y Museos, Madrid「図書館博物館宮(マドリード)」	一九四二年一月一日～三一日	
90	展示パンフレット		Exposición: Carlos Dal-Re「カルロス・ダルレ展」	Carlos Dal-Re「カルロス・ダルレ」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid)「カーノ画廊(マドリード)」	一九四二年一月九日～三一日	・表紙に「一九四二年一月一六日」のスタンプ押印、青鉛筆でチェックマーク有 ・出品リストも一部有
91	展示パンフレット		Exposición: V. Solé Jorba「V. ソレ・ソレ展」	Vicente Solé Jorba「ロセンテ・ソレ・ソレ」	Sala Vilches (avenida de José Antonio, 22, Madrid)「ビルチェス画廊(マドリード)」	一九四二年一月二四日～一月二〇日	・同一資料計二部・うち一部の表紙に「一九四二年一月二六日」のスタンプ押印、赤鉛筆でチェックマーク
92	展示パンフレット		Exposición: J. Gómez Abad「J. ゴメス・アバド展」	Jose Gómez Abad「ホセ・ゴメス・アバド」	Salas de Exposiciones ARTE (calle de Arqs, 7 pral., Barcelona)「ARTE キャラリー(バルセロナ)」	一九四二年一月三日～一月二二日	・表紙上部に須磨以外の人物の手で「Calle pa' no 3 Casa Agutier」の文字・キャラリーの「友の会」に関する案内一枚が同封
93	出品リスト		Exposición del pintor filipino: Garcia Llamas「フィリピン画家ガルシア・リヤマス展」	Garcia Llamas「ガルシア・リヤマス」	Circulo de Bellas Artes (CBA), Madrid (calle de Alcalá, 42)「マドリード美術協会」	一九四二年一月	
94	展示パンフレット		Exposición: Ramon de Capmany「ラモン・デ・カプmany展」	Ramon de Capmany「ラモン・デ・カプmany」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid)「カーノ画廊(マドリード)」	一九四二年一月二日～一六日	・表紙に「一九四二年一月三〇日」のスタンプ押印、赤鉛筆でチェックマーク有
95	展示パンフレット		Exposición: Jose de Togores「ホセ・デ・トゴレス展」	Jose de Togores「ホセ・デ・トゴレス」	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)「マカロン画廊(マドリード)」	一九四二年一月二日～一六日	・表紙に「一九四二年一月四日」のスタンプ押印、赤鉛筆で丸印

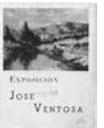
No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
96	展示パンフレット		Exposición 《Maestros contemporáneos》【現代美術巨匠展】	José Aguiar【ホセ・アギアル】、Eugenio Herreros【エウヘニオ・ヘルベロ】、Gustavo de Maeztu【グスタボ・デ・マエストゥ】、Enrique Martínez Cubells【エンリケ・マルティネス・クベルス】、Eduardo Martínez Vázquez【エドゥアルド・マルティネス・バスケス】、Julio Moisés【フリオ・モイセス】、Victor Moya【ビクトル・モヤ】、Francisco Nuñez Losada【フランシスコ・ヌニェス・ロサダ】、Francisco Pons Arnau【フランシスコ・ポンス・アルナウ】、Elias Salavertia【エリヤス・サラベリヤ】、Marceliano Santa Maria【マルセリアーノ・サンタ・マリア】、Francisco Soria Aedo【フランシスコ・ソリア・アエド】、Daniel Vázquez Díaz【ダニエル・バスケス・デイヤス】、José Ramón Zaragoza【ホセ・ラモン・サラツァ】	Salón Aecolan (avenda de José Antonio, 1, Madrid) 【アエオリヤン画廊(マドリード)】	一九四二年一月二日～三〇日	・同一資料計二部：いずれも招待状同封(片方には「一九四二年一月一日」のスタンプ押印、他方には「一九四二年一月十八日」のスタンプ押印)
97	展示パンフレット		Exposición de pintura: Castro-Cires 【カストロ・シレス絵画展】	Castro-Cires【カストロ・シレス】	Salón del Palacio de la Asociación de la Prensa (Avenida de José Antonio, Madrid) 【新聞協会サロン(マドリード)】	一九四二年一月一日～三〇日	・同一資料計二部：うち一部の表紙に「一九四二年一月一日」のスタンプ押印かつ赤鉛筆でチェックマーク、開幕式典への招待状一部同封(青鉛筆でチェックマーク)
98	展示パンフレット		Exposición: Jose Nogue【ホセ・ノゲ展】	José Nogue【ホセ・ノゲ】	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid) 【カーノ画廊(マドリード)】	一九四二年一月二六日～二八日	・表紙に「一九四二年一月四日」のスタンプ押印 ・出品リスト一枚有
99	出品リスト		Exposición: Rafael Pellicer【ラファエル・ペリセル・スリゼール展】	Rafael Pellicer【ラファエル・ペリセル】	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) 【マカロン画廊(マドリード)】	一九四二年一月二七日～	・表紙に「一九四二年一月十七日」のスタンプ押印 ・開幕式典への招待状一枚同封 ・リストと招待状に赤鉛筆で丸の記入有 ・開幕日のみ記載

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
100	出品リスト		Exposición: Juan Giraldez[「フアン・ヒラルデス展」]	Juan Giraldez[「フアン・ヒラルデス」]	Salones de la Sociedad Española de Amigos del Arte (Estudio Alcala, 102, Madrid)[「スペイン美術友の会サロン(マドリッド)」]	一九四二年一月一七日～二月一日	・表紙に「一九四二年一月一六日」のスタンプが押印された開幕式典への招待状一部有
101	出品リスト		Exposición: G. Gómez Gil[「G. ゴメス・ギル展」]	G. Gómez Gil[「G. ゴメス・ビル」]	Sala Viches (avenida de José Antonio, 22, Madrid)[「ビルチェス画廊(マドリッド)」]	一九四二年一月二一日～二月五日	
102	展示パンフレット		Rafael Zabaleta expone por primera vez sus obras en las Galerías Biosca [「ラファエル・サバレタ展(ビオスカ・ギャラリーでの初個展)」]	Rafael Zabaleta[「ラファエル・サバレタ」]	Galerías Biosca (calle de Genova, 11, Madrid)[「サオスカ・ギャラリー(マドリッド)」]	一九四二年一月二三日～二月七日	・表紙に「一九四二年一月二一日」のスタンプ押印 ・同一資料計二部
103	展示パンフレット		Exposición: E. Martínez Vázquez [「E. マルティネス・バスケス展」]	Eduardo Martínez Vázquez [「エドゥアルド・マルティネス・バスケス」] オ・リバス]	Salón Acolian (avenida de José Antonio, 1, Madrid)[「アエオリアン画廊(マドリッド)」]	一九四二年二月一日～五日	・表紙に「一九四二年二月九日」のスタンプ押印 ・別途、開幕式典への招待状も兼ねたパンフレット(表紙に青字でチェックマーク)が一部有
104	展示パンフレット		Pedro Mozos[「ペドロ・モンス展」]	Pedro Mozos[「ペドロ・モンス」]	Círculo de Bellas Artes (CBA), Madrid(calle de Alcalá, 42)[「ペドリット美術協会」]	一九四二年二月二日～六日	・表紙に「一九四二年二月二日」のスタンプ押印、青字のチェックマーク
105	展示パンフレット		Exposición de cuadros regionales de Rafael Penuelas[「ラファエル・ペニエラスによる地方風景画展」]	Rafael Penuelas[「ラファエル・ペニエラス」]	Mercado de la Artesanía Española (calle de Floridablanca, 1, Madrid)[「スペイン手工業市(マドリッド)」]	一九四二年二月三日(Repertorio-記載)	・表紙に「一九四二年二月一日」のスタンプ押印 ・招待状一枚(赤鉛筆のチェックマーク及び開場時刻を手書きで記入)も同封
106	展示パンフレット		Exposición: Mariano Yzquierdo y Vivas[「マリアノ・イスキエルド・イ・ビバス展」]	Mariano Yzquierdo y Vivas[「マリアノ・イスキエルド・イ・ビバス」]	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 38, Madrid)[「カーノ画廊(マドリッド)」]	一九四二年二月一六日～二一日	・表紙に「一九四二年二月一五日」のスタンプ押印
107	展示パンフレット		Exposición: A. Ziegler[「A. ツィーグラー展」]	Alberto Ziegler[「アルバート・ツィーグラー」]	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)[「マカロンの画廊(マドリッド)」]	一九四二年二月一六日～二一日	・裏表紙の作家解説部分に赤鉛筆で書き込み有 ・開幕式典への招待状一枚同封(「一九四二年二月二日」のスタンプ押印)

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
108	展示パンフレット		Primera exposición de pintura y escultura【第一回絵画彫刻展】	Mariano Benlliure【マリャノ・ベリンリウー】、Eugenio Hernoso【エウヘニオ・エルホソ】、R. Hidalgo de Caviedes【R.イダルゴ・デ・カビエデス】、F. Llorens【F.リョレンス】、A. Marinas【A.マリナス】、Martinez Cubells【マルティネス・クベルス】、M. Santamaría【M.サンタマリヤ】、J. R. Zaragoza【J. R.ザラゴザ】	Asociación de Escritores y Artistas Españoles (calle de Rollo, 2)【スペイン文筆家・芸術家協会(マドリール)】	一九四二年二月一日～	・開幕日のみ記載
109	招待状		Exposición de flores y bodegones de Mariana López Cancio【マリャナ・ロペス・カンシオによるボデゴーンと花卉の絵画展】	Mariana Lopez Cancio【マリャナ・ロペス・カンシオ】	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)【マカロン画廊(マドリール)】	一九四二年二月一日～一九四三年一月二日	・表紙に「一九四三年二月十七日」のスタンプ押印
110	展示パンフレット		Academia Breve de Crítica de Arte: Salón de los Once【美術批評短期アカデミー：第一回サロン・デ・ロス・オンセ】	一名のアカデミー会員がそれぞれ作家を推薦して展示する形式【 ¹⁵ 】	Galerías Biosca (calle de Genova, 11, Madrid)【オスカ・ギヤラリー(マドリール)】	一九四三年(会期詳細不明)	・第一回「サロン・デ・ロス・オンセ」に際して発行されたカタログでアウジェニ・ドルスらに加えて、須磨らアカデミー会員の批評文も掲載されている【 ¹⁶ 】 ・五ペセタで販売 ・同一資料計二部
111	展示パンフレット		Exposición de artistas de la provincia de Tenerife【テネリフェ島出身の芸術家展】	テネリフェ島出身の作家計三四名【 ¹⁶ 】	Museo nacional de arte moderno, Madrid【国立近代美術館(マドリール)】	一九四三年(会期詳細不明)	・見返し部分に須磨による書き込み「冒頭に「昭和十八年十二月十三日瞥見」とある
112	出品リスト		Exposición: Benjamin Palencia【ベンハミン・パレンシム展】	Benjamin Palencia【ベンハミン・パレンシム】	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)【マカロン画廊(マドリール)】	一九四三年一月二日～一日	
113	出品リスト		Exposición de las obras de Vicente Renau【ビセンテ・レナウ作品展】	Vicente Renau【ビセンテ・レナウ】	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 38, Madrid)【カーノ画廊(マドリール)】	一九四三年一月二日～一日	
114	展示パンフレット		Exposición: Vicente Oliva【ビセンテ・オリバ展】	Vicente Oliva【ビセンテ・オリバ】	Salón Aeoian (avenda de José Antonio, 1, Madrid)【アエオリヤン画廊(マドリール)】	一九四三年一月一日～二日	・表紙と裏表紙に「一九四三年一月十八日」のスタンプ押印
115	展示パンフレット		Exposición G. Vargas Ruiz【G.バルガス・ルイス展】	Guillermo Vargas Ruiz【ギリエルモ・バルガス・ルイス】	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)【マカロン画廊(マドリール)】	一九四三年一月一日～二日	・表紙に須磨コレノ.1698とあるが実際は同作家の別展示(本リスト番号二八九)にて購入

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
116	展示パンフレット		Exposición: Alexis Macedonski「アレクシス・マセドンスキー展」	Alexis Macedonski「アレクシス・マセドンスキー」	Galerías Costa (calle del Conquistador, 32, Palma de Mallorca)「ロスタ・ギャラリー(バルム・デ・マジョルカ)」	一九四三年一月二七日 ～ 二月七日	
117	展示パンフレット		Exposición: Alexis Macedonski「アレクシス・マセドンスキー展」	Alexis Macedonski「アレクシス・マセドンスキー」	Círculo de Bellas Artes (CBA), Palma de Mallorca (calle del Conquistador, 29)「バルム・デ・マジョルカ美術協会」	一九四三年一月三〇日 ～ 二月二日	
118	展示パンフレット		2.ª exposición de marinas de Julio García Guterres「フリオ・ガルシア・グティエレス第二回海景画展」	Julio García Guterres「フリオ・ガルシア・グティエレス」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 38, Madrid)「カーノ画廊(マドリッド)」	一九四三年二月一日 ～ 三日	・表紙に「一九四三年一月二九日」のスタンプ押印
119	展示パンフレット		Exposición: J. Pico「ピコ展」	J. Pico「ピコ」	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)「マカロン画廊(マジョルカ)」	一九四三年二月二日 ～ 一日	・表紙に「一九四三年二月一日」のスタンプ押印
120	出品リスト		Exposición de paisajes y marinas: Augusto Comas「アウグスト・コマスの風景・海景画展」	Augusto Comas「アウグスト・コマス」	Hotel Palace (carrera de San Jerónimo)「パレス・ホテル(マジョルカ)」	一九四三年二月七日 ～ 二二日	・招待状(表面に「一九四三年二月六日」のスタンプ押印)一部有
121	招待状		Exposición: Margarita Sans Jordi「マルガリタ・サン・ジョルディ」	Margarita Sans Jordi「マルガリタ・サン・ジョルディ」	Sala Vilches (avenida de José Antonio, 22, Madrid)「ビルチエス画廊(マドリッド)」	一九四三年二月一日	・表面に「一九四三年二月一日」のスタンプ押印
122	展示図録		Exposición de pinturas: A. Costa Elias「A.ロスタ・エリアス絵画展」	A. Costa Elias「A.ロスタ・エリアス」	Galerías Reig (paseo de Gracia, 15, Barcelona)「レッチ・ギャラリー(バルセロナ)」	一九四三年二月二日 ～ 二六日	・表紙に「一九四三年二月一日」のスタンプ押印
123	展示パンフレット		Exposición de Julio García Conday「フリオ・ガルシア・コンドイ展」	Julio García Conday「フリオ・ガルシア・コンドイ」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid)「カーノ画廊(マドリッド)」	一九四三年二月一日 ～ 二七日	・表紙に「一九四三年二月三日」のスタンプ押印

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
124	展示パンフレット		Exposición de Montenegro[モンテネグロ展]	Montenegro[モンテネグロ]	Salón Acaolán (avanzada de José Antonio, 1, Madrid) [「アエオリアン」画廊(「アドリアード」)]	一九四三年二月二三日 ～三月一〇日	・表紙上部に「一九四三年二月二四日」のスタンプ押印
125	展示パンフレット		Exposición Julio Moisés[フリオ・モイセス展]	Julio Moisés[フリオ・モイセス]	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid) [「カーノ」画廊(「アドリアード」)]	一九四三年三月一日～三日	・表紙に「一九四三年二月二六日」のスタンプ押印
126	展示パンフレット		2ª exposición de Baldrich[第二回バルドリク展]	Baldrich[「バルドリク」]	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid) [「カーノ」画廊(「アドリアード」)]	一九四三年三月一五日～二三日	・表紙に「一九四三年三月一五日」のスタンプ押印
127	展示パンフレット		Exposición de pinturas: Javier Blanch Pla[「ジャビエル・ブラン」プラ絵画展]	Xavier Blanch Pla[「ジャビエル・ブラン」プラ絵画展]	Galerías Reig (paseo de Gracia, 15, Barcelona) [「レッチ・ギャラリー」(「バルセロナ」)]	一九四三年三月二三日 ～四月九日	・表紙に「一九四三年三月二九日」のスタンプ押印
128	出品リスト		Exposición femenina de pintura y escultura[女性作家による絵画彫刻展]	四一名の作家による作品計四三点が並んだ	Asociación de Escritores y Artistas Españoles (calle de Rollo, 2) [「スペイン文筆家・芸術家協会」(「マドリード」)]	一九四三年三月二五日 ～四月一〇日	
129	展示パンフレット		Exposición: Pinturas y dibujos: Emilio Vía[「エミリオ・ビャ」絵画素描展]	Emilio Vía[「エミリオ・ビャ」]	Sala Viches (avenida de José Antonio, 22, Madrid) [「ビルチエス」画廊(「アドリアード」)]	一九四三年三月二七日 ～四月一〇日	・招待状(「一九四三年三月二九日」のスタンプ押印)も同封
130	展示パンフレット		Exposición de Eugenio Lafuente[「エウヘニオ・ラフ」展]	Eugenio Lafuente[「エウヘニオ・ラフ」展]	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid) [「カーノ」画廊(「アドリアード」)]	一九四三年三月二九日 ～四月一〇日	・表紙に「一九四三年三月二七日」のスタンプ押印
131	招待状		Exposición: Joaquim Sunyer[「ジョアキム・スニャー」展]	Joaquim Sunyer[「ジョアキム・スニャー」]	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) [「パカロン」画廊(「アドリアード」)]	一九四三年四月五日～九日	・「一九四三年四月六日」のスタンプ押印

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
132	展示パンフレット		Obras de Gustavo de Maestu【タスタボ・デ・マエストゥ】 「ホセ・マエストゥの絵画展」	Gustavo Maestu【タスタボ・マエストゥ】	Salón Acolian (avenida de José Antonio, 1, Madrid)【アエオリアン画廊(マドリード)】	一九四三年四月五日～二〇日	・招待状も同封
133	展示パンフレット		Exposición de la pinturas: J. M. Prim【ジュゼップ・プリマ・プリム絵画展】	Josep Maria Prim【ジュゼップ・プリマ・プリム】	Galerías Reig (paseo de Gracia, 15, Barcelona)【レッチ・ギャラリー(バルセロナ)】	一九四三年四月一〇日～三〇日	
134	展示パンフレット		Exposición: José Ventosa【ホセ・ヴェンターサ絵画展】	José Ventosa【ホセ・ヴェンターサ】	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid)【カーノ画廊(マドリード)】	一九四三年四月一二日～二九日	・表紙に「一九四三年四月一二日」のスタンプ押印
135	招待状		Exposición: Rosario de Velasco【ロサリオ・デ・ベラスコ展】	Rosario de Velasco【ロサリオ・デ・ベラスコ】	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)【マカロン画廊(マドリード)】	一九四三年四月二四日～五月七日	
136	展示パンフレット		Exposición: J. A. de Dampierre【J. A. デ・タンピエール展】	J. A. de Dampierre【J. A. デ・タンピエール】	Galerías Biosca (calle de Génova, 11, Madrid)【シオスカ・ギャラリー(マドリード)】	一九四三年四月三〇日～五月一五日	
137	展示パンフレット		Exposición de Bodegones y Flores por Durancamps, Serra, Sisquella【ドゥランカンブ、セラ、システケリヤによるボデゴンと花弁の絵画】	Joan Serra【ジョアン・セラ】、Rafael Durancamps【ラファエル・ドゥランカンブ】、Sisquella【システケリヤ】	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid)【カーノ画廊(マドリード)】	一九四三年四月三〇日～五月一五日	・同一資料計二部のうち一部の表紙に「一九四三年四月二八日」のスタンプ押印
138	展示パンフレット		Exposición de José Benlliure Gil y de su hijo José Benlliure Ortiz【ホセ・ベンリウレ・ビルとその息子ホセ・ベンリウレ・オルティス展】	José Benlliure Gil【ホセ・ベンリウレ・ビル】、José Benlliure Ortiz【ホセ・ベンリウレ・オルティス】	Asociación de Escritores y Artistas Españoles (Madrid)【スペイン文筆家・芸術家協会(マドリード)】	一九四三年五月	

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
139	展示パンフレット		Exposición de cordobanes y gaditanes[よめし革細工展]	作者不詳	開催場所不明だが、Sociedad española de amigos del arte[スペイン美術友の会]主催のため、同団体の展示スペースか	一九四三年五月〜六月	・表紙に「一九四三年六月八日」のスタンプ押印 ・José Ferandis Torres[ホセ・フェランドイス・トーレス]なる人物の名刺同封
140	展示パンフレット		Daniel Noriega: Suburbios barceloneses[タニエル・ノリエガ：バルセロナ郊外の風景展]	Daniel Noriega[タニエル・ノリエガ]	Salon de Arte Rovira (Rambla de Catalunya, 62, Barcelona) [ルビラ画廊(ペレグロナ)]	一九四三年五月八日〜二一日	・表紙に「一九四三年五月七日」のスタンプ押印
141	展示パンフレット		Exposición de pintura: César Fernández Ardavin[セサル・フェルナンデス・アルタビーン絵画展]	César Fernández Ardavin[セサル・フェルナンデス・アルタビーン]	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) [マカロン画廊(プラドリーマ)]	一九四三年五月八日〜二三日	・同一資料計二部：うち一部の表紙に「一九四三年五月二日」のスタンプ押印
142	展示パンフレット		Exposición: José Amat[ホセ・アマット展]	Josep Amat[ジュゼップ・アマット]	Salón Vilches (avenida de José Antonio, 22, Madrid) [ビルチェス画廊(マドリド)]	一九四三年五月一四日〜三〇日	・同一資料計二部：片方の表紙に「一九四三年五月一七日」のスタンプ押印、裏表紙にはビルチェス画廊の住所を示すスタンプ押印
143	展示パンフレット		Exposición: Federico Beltrán Massés [フェデリコ・ベルトラン・マッセス展]	Federico Beltrán Massés [フェデリコ・ベルトラン・マッセス]	Hotel Palace (carrera de San Jerónimo) [パレス・ホテル(プラドリーマ)]	一九四三年五月一四日〜六月七日	・表紙に手書きの文面：「一九四三年五月一一日」のスタンプ押印 ・出品リスト一部同封
144	展示パンフレット		Exposición: E. Domènech Farré[E. ドゥメナク・フアレ展]	E. Domènech Farré[E. ドゥメナク・フアレ]	Galerías Reig (paseo de Gracia, 15, Barcelona) [レッチ・ギャラリー(バルセロナ)]	一九四三年五月一五日〜三〇日	・表紙に「一九四三年五月一七日」のスタンプ押印
145	展示パンフレット		Exposición de caricatura: USA[USAカリカチュア展]	Fernando Usabága (USA) [フェルナンド・ウサバガ]	Palacio de la Prensa (plaza del Callao, 4, Madrid) [パライシオ・デ・ラ・プレレンサ(プラドリーマ)]	一九四三年五月一七日〜三〇日	・同一資料計二部：片方の表紙に「26450」の文字、出品リスト一部に値段の書き込み。他方の出品リストにチェックマーク記入 ・須磨の肖像も出品
146	展示パンフレット		Exposición: Las obras de Capulino Jauregui[カプリノ・ジャウレギ展]	Capulino Jauregui[カプリノ・ジャウレギ]	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 38, Madrid) [カーノ画廊(プラドリーマ)]	一九四三年五月一七日〜六月五日	・表紙に「一九四三年五月七日」のスタンプ押印 ・出品リストも一部有

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
147	出品リスト		Exposición de dibujo y pintura: Teodoro Rios「テオドロ・リオス 絵画素描展」	Teodoro Rios「テオドロ・リオス」	Salón Acolian (avenida de José Antonio, 1, Madrid) 「アエオリアン画廊(マドリッド)」	一九四三年五月二日 ～ 六月四日	・同一資料計二部・それぞれ紙質は異なる。厚い方の表紙に「一九四三年五月二〇日」のスタンプ押印
148	展示パンフレット		Exposición del pintor Alexis Macedonski「画家アレクシス・マゼドンスキー展」	Alexis Macedonski「アレクシス・マゼドンスキー」	Palacio de Biblioteca y Museos (avenida de Calvo Sotelo, 20, Madrid)「図書館博物館宮(マドリッド)」	一九四三年五月二三日 ～ 六月六日	・同一資料計二部・片方の表紙に「一九四三年五月二〇日」のスタンプ押印
149	展示パンフレット		Exposición: Maria Revenga「マリア・レベンガ展」	Maria Revenga「マリア・レベンガ」	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)「マカロン画廊(マドリッド)」	一九四三年五月二七日 ～ 六月七日	・表紙に「一九四三年五月二六日」のスタンプ押印
150	展示パンフレット		ASÍ ERAN LOS ROJOS「赤はこうだった」展」	Antonio Casero「アントニオ・カセロ」, Castro Gil「カストロ・ギル」, Chausa「チャウサ」, Eduardo Lagarde「エドゥアルド・ラガルデ」, Joaquín de Alba「キン」, Juberías「ヌリアス」, Manuel Redondo Montero「マヌエル・マンゼンテ・モンテロ」, Sáenz de Tejada「サエンズ・デ・テハダ」, Teodoro Delgado「テオドロ・デルガダ」, Valverde「バルベルデ」	Circolo de Bellas Artes (CBA), Madrid (calle de Alcalá, 42)「ベネリッド美術協会」	一九四三年五月二七日 ～ 六月一日	・開幕式典への招待状一枚同封
151	展示パンフレット		Exposición: R. Lopez Morello「ロペス・モレリョ展」	R. Lopez Morello「ロペス・モレリョ」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 38, Madrid)「カーノ画廊(マドリッド)」	一九四三年六月七日 ～ 二六日	・表紙に「一九四四年六月七日」のスタンプ押印

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
152	展示パンフレット		Exposición colectiva: Pintura【グループ展：絵画】	Roberto Domingo【ロベルト・ドミンゴ】、Rafael Durancamps【ラファエル・ドゥランカンブ】、José Gutiérrez Solana【ホセ・グティエレス・ソラーナ】、Manuel Vázquez【マヌエル・バスタス】、Nuñez Losada【ヌニェス・ロサダ】、Suárez Pergrin【スアレス・ペレグリン】、Daniel Vázquez Diaz【タニエル・バスケス・ディアス】	Sala Vilches (avenida de José Antonio, 22, Madrid) 【ビルチェス画廊（プロドリード）】	一九四三年六月一九日～三〇日	
153	展示パンフレット		Obra sindical "Artesanía": Exposición de arte contemporáneo ["ARTESANIA"]組合による現代美術展	二〇名の作家による作品計三四点が並んだ スペイン各地で選ばれた上記労組に属する人物たちの作品が一堂に会した	Mercado de la Artesanía Española (calle de Floridablanca, 1, Madrid) 【スペイン手工業市（プロドリード）】	一九四三年六月二日～三〇日	
154	展示パンフレット		III Exposición nacional de arte de "Educación y Descanso"【第三回教育と余暇】の労働組合による全国美術展	Fernando Briones【フェルナンド・ブリオネス】、Pedro Bueno【ペドロ・ブエノ】、José Caballero【ホセ・カバレロ】、Antonio Gómez Cano【アントニオ・ゴメス・カーノ】、Francisco Lorente【フランシスコ・ロレンテ】、Jesus Molina【ヘスス・モリーナ】、Sofía Morales【ソフィア・モラレス】、Ramón Pichot-Soler【ラモン・ピコト＝ソラー】、José Luis Vega【ホセ・ルイス・ベガ】、Eduardo Vicente【エドゥアルド・ビセンテ】	Cireno de Bellas Artes (CBA), Madrid(calle de Alcalá, 42)【プロドリード美術協会】	一九四三年一〇月一日～三三日	・出品者は作家活動で生計を立てていない、いわゆるアマチュアの作家 ・同一資料計二部：うち一部に出品リスト同封
155	展示パンフレット		Exposición colectiva de nuevos pintores modernos【現代作家による新作絵画展】		Sala Vilches (avenida de José Antonio, 22, Madrid) 【ビルチェス画廊（プロドリード）】	一九四三年一〇月一日～三三日	・同一資料計二部：うち一部の表紙に「一九四三年一〇月二三日」のスタンプ押印
156	展示パンフレット		Exposición de pinturas: María Rosa Arsalaguet【マリア・ロサ・マルサラ絵画展】	María Rosa Arsalaguet【マリア・ロサ・マルサラ】	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) 【マカロン画廊（プロドリード）】	一九四三年一〇月二四日～二九日	・同一資料計二部：うち一部の表紙に「一九四三年一〇月一八日」のスタンプ押印

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
157	招待状		Exposición: Lola González「ローラ・ゴンザレス展」	Lola González「ローラ・ゴンザレス」	Sala "DARDO" (avenida de José Antonio, 16, Madrid) [DARDO画廊(「ドリーダ」)]	一九四三年一〇月一五日	・表面に「一九四三年一〇月一四日」のスタンプ押印 ・開幕日のみ記載
158	展示パンフレット		Exposición del artista: Maximino Peña「マキシミノ・ペーニャ展」	Maximino Peña「マキシミノ・ペーニャ」	Salón Acolan (avenida de José Antonio, 1, Madrid) [「アエオリアン」画廊(「マドリード」)]	一九四三年一〇月一五日 日～三〇日	・同一資料計二部：うち一部の表紙に「一九四三年一〇月一四日」のスタンプ押印
159	展示パンフレット		Primer Salón Partenillo: Pintura y Escultura「バルテニーリョ画廊開幕展」	展示会場全体(四部屋を二分：うち三部屋に二七名の作家による版画作品計四二点が並んだのに加え、残りの部屋でマリアノ・ベンユイレ「Mariano Benlure」の個展も開催	Sala Partenillo (calle Peligros, 9, entresuelo) [「バルテニーリョ」画廊(「マドリード」)]	一九四三年一〇月一五日 日～十一月一五日	・開幕式典への招待状一枚も同封
160	展示パンフレット		14 obras de José G. Solana「ホセ・G. ソラーナの十四作品」	José Gutiérrez Solana「ホセ・グティエレス・ソラーナ」	Estilo * Galería de Arte (calle de Jovelanos, 6, Madrid) [「エストイロ・ギャラリー」(「マドリード」)]	一九四三年一〇月二五日	・同一資料計二部：うち一部には手書きで日付に修正かつ裏面に「日本公使」宛と手書きされている ・開幕日のみ記載
161	展示パンフレット		Exposición de Enrique Segura「エンリケ・セグラ展」	Enrique Segura「エンリケ・セグラ」	Sala Viches (avenida de José Antonio, 22, Madrid) [「ビルチェス」画廊(「マドリード」)]	一九四三年一〇月二六日～十一月九日	・表紙に「一九四三年一〇月三〇日」のスタンプ押印
162	展示パンフレット		Exposición de lienzos de José María Sert「ジュゼップ・マリア・セルト 絵画展」	Josep Maria Sert「ジュゼップ・マリア・セルト」	Palacio de Santa Cruz, Madrid「聖十字架宮殿(「マドリード」)」	一九四三年一〇月二九日	・出品リストも同封
163	展示パンフレット		Exposición de la artista P. Millán Alosete「P. ミリヤン・アロセテ展」	P. Millán Alosete「P. ミリヤン・アロセテ」	Salón Acolan (avenida de José Antonio, 1, Madrid) [「アエオリアン」画廊(「マドリード」)]	一九四三年一〇月二日 日～一五日	・表紙に「一九四三年一〇月四日」のスタンプ押印

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
164	招待状		Exposición: Luis Colomina Domingo 「ルイス・コロミナ・ドミンゴ展」	Luis Colomina Domingo「ルイス・コロミナ・ドミンゴ」	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2; al lado de la Zarzuela, Madrid)「ザカロン画廊(マドリード)」	一九四三年一月二日 ～一七日	・表面に「一九四三年一月二日」のスタンプ押印
165	展示パンフレット		Exposición de pintura: Castro-Cires 「カストロ・シレス絵画展」	Castro-Cires「カストロ・シレス」	Palacio de Biblioteca y Museos (avenida de Carlos Sotelo, 20, Madrid)「図書館博物館宮(マドリード)」	一九四三年一月三日 ～一五日	
166	展示パンフレット		Exposición: Lucio Rivas「ルシオ・リバス展」	Lucio Rivas「ルシオ・リバス」	Sala "DARDO" (avenida de José Antonio, 16, Madrid)「DARDO画廊(マドリード)」	一九四三年一月一〇日 ～二四日	・須磨宛の招待状(名前部分は手書き)一九四三年一月九日」のスタンプ押印一枚同封
167	展示パンフレット		Exposición: Juan Serra「ジュアン・セラ展」	Juan Serra「ジュアン・セラ」	Sala Viches (avenida de José Antonio, 22, Madrid)「エルチエス画廊(マドリード)」	一九四三年一月二日 ～二七日	・表紙に「一九四三年一月二日」のスタンプ押印
168	展示パンフレット		Exposición: Josep Clarà「ホセ・クララ展」	Josep Clarà「ジュゼップ・クララ」	Galerías Biosca (calle de Génova, 11, Madrid)「サオスカ・ギャラリー(マドリード)」	一九四三年一月二日 ～三〇日	・同一資料計二部のうち一部の表紙に「一九四三年一月一〇日」のスタンプ押印
169	出品リスト		50 caricaturas personales de Dávila 「タバヒラによる五〇点の風刺画」	Dávila「ダビラ」	Salones de la Asociación de la Prensa (plaza del Callao, 4, Madrid)「新聞協会サロン(マドリード)」	一九四三年一月二日 ～三〇日	・表紙に「一九四三年一月一日」のスタンプ押印 ・異なるデザインで、一月三〇日開催の講演情報を記載したリストも一部有 ・須磨の肖像も一点出品されていた
170	展示パンフレット		Exposición de artistas franceses contemporáneos「フランス同時代美術展」	九三名の作家の作品が各一点ずつ展示されたほか書籍の挿画も展示された	Museo nacional de arte moderno, Madrid「国立近代美術館(マドリード)」	一九四三年一月一六日 ～	・須磨によるメモ多数 ・招待状一部あり(「一九四三年一月一七日」のスタンプ押印) ・開幕日のみ記載
171	展示パンフレット		Exposición: Marcelliano Santa María 「マルセリアーノ・サンタ・マリア展」	Marcelliano Santa María「マルセリアーノ・サンタ・マリア」	Círculo de Bellas Artes (CBA), Madrid「マドリード美術協会」	一九四三年一月一七日 ～二月四日	・同一資料計三部のうち一部に日本公使宛の開幕式典への招待状同封(「一九四四年一月一五日」のスタンプ押印)

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
172	展示パンフレット		Exposición de Valentín de Zubiaurre 「バレンティン・デ・スビアウレ展」	Valentín de Zubiaurre 「バレンティン・デ・スビアウレ」	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) [「マカロン画廊(「マドリード」)」]	一九四三年一月一八日～二月二日	・同一資料計二部：うち一部の表紙に「一九四三年一月一七日」のスタンプ押印
173	展示パンフレット		32 obras de Daniel Vázquez Díaz 「ダニエル・バスケス・ディアスの三十二作品」	Daniel Vázquez Díaz 「ダニエル・バスケス・ディアス」	Estilo * Galería de Arte (calle de Jovelanos, 6, Madrid) [「エストイロ・マドリッド」] ギャラリー(「マドリード」)	一九四三年一月二四日～	・出品リストも一部有 ・開幕日のみ記載
174	招待状		Exposición de cuadros: Rodríguez Pescador 「ロドリゲス・ペスカドール絵画展」	Rodríguez Pescador 「ロドリゲス・ペスカドール」	Sala "DARDO" (avenida de José Antonio, 16, Madrid) [「ダルド画廊(「マドリード」)」]	一九四三年一月二五日～	・表面に「一九四三年一月二四日」のスタンプ押印 ・開幕日のみ記載
175	展示パンフレット		Cerámicas: Ruiz de Luna 「ルイス・デ・ルナの陶作品展」	Ruiz de Luna 「ルイス・デ・ルナ」	Salón Aeoian (avenida de José Antonio, 1, Madrid) [「アエオリアン画廊(「マドリード」)」]	一九四三年二月三日～一月八日	・同一資料計二部：うち一部には「一九四三年二月二日」のスタンプが押印された開幕式典への招待状一部が同封、他方の表紙には「一九四三年二月三日」のスタンプ押印
176	出品リスト		Exposición: Hans O. Poppelreuter 「ハンス・O. ポップレウター展」	Hans Otto Poppelreuter 「ハンス・オッター・ポップレウター」	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) [「マカロン画廊(「マドリード」)」]	一九四三年二月四日～一月十七日	・同一資料計二部：うち一部には「一九四三年二月二日」のスタンプが押印され、タイプライターで日本公使宛へと記された、開幕式典への招待状同封。他方にも同じ招待状が同封されているが、こちらには須磨本人宛てであることが手書きで示されている。 ・同様の内容ながら、印刷紙の異なるリストが一枚有
177	展示パンフレット		Exposición de retratos: Aurora Lezcano 「アウロラ・レスカーノ肖像画展」	Aurora Lezcano 「アウロラ・レスカーノ」	Salón Cano (carretera de San Jerónimo, 34, Madrid) [「カーノ画廊(「マドリード」)」]	一九四三年二月一日～二月四日	・表紙宛名は手書き：「一九四三年二月一〇日」のスタンプ押印 ・出品リストも一部有
178	展示パンフレット		20 obras de Mateo Inurria 「マテオ・イヌリアの二十作品」	Mateo Inurria 「マテオ・イヌリア」	Estilo * Galería de Arte (calle de Jovelanos, 6, Madrid) [「エストイロ・マドリッド」] ギャラリー(「マドリード」)	一九四三年二月一六日～三月一日	・表紙に「一九四三年二月一五日」のスタンプ押印。出品リスト一枚同封

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
179	出品リスト		Exposición de caricaturas: Sebastián Mendez「セバスティアン・メンデスのカリカチュア展」	Sebastián Mendez「セバスティアン・メンデス」	Sala "DARDO" (avenida de José Antonio, 16, Madrid) [DARDO画廊(「アドリーダ」)]	一九四三年二月二三日	・表紙に「一九四四年一月三日」のスタンプが押印 ・須磨の肖像も出品(今後、作品要同定) ・開幕日のみ記載
180	出品リスト		Exposición: Helena de Melgar「エレナ・デ・メルガー展」	Helena de Melgar「エレナ・デ・メルガー」	Sala Marabini (carrera de San Jerónimo, 33, Madrid) [「アラベロ」画廊(「アドリーダ」)]	一九四三年二月二八日～一九四四年一月五日	・招待状(差出人の手書き挨拶文、「一九四三年二月三日」のスタンプ押印) ・招待状によれば二月二七日に人数を限ったレセプションが実施された
181	展示パンフレット		Exposición de artistas de la provincia de Gran Canaria「グラン・カナリア島出身の芸術家展」	グラン・カナリア島出身の作家計二四名	Museo nacional de arte moderno, Madrid [国立近代美術館(「アドリーダ」)]	一九四四年(会期詳細不明)	
182	出品リスト		Exposición de caricaturas: Sebastián Mendez「セバスティアン・メンデスのカリカチュア展」	Sebastián Mendez「セバスティアン・メンデス」	Sala "DARDO" (avenida de José Antonio, 16, Madrid) [DARDO画廊(「アドリーダ」)]	一九四四年一月	・講演会の招待状同封(一九四四年一月一日開催、講師はJosé Frances「ホセ・フランセス」) ・会期途中から六点作品が追加されたことを知らせる画廊主人(Francisco García Ruescas「フランシスコ・ガルシア・ルエスカス」)からの手紙も同封(一九四四年一月二六日)のスタンプ押印
183	展示パンフレット		Exposición: Garavilla「ガラビリーヤ展」	Ángel de Garavilla「アンヘル・デ・ガラビリーヤ」	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) [「マカロン」画廊(「アドリーダ」)]	一九四四年一月三日～一七日	・同一資料計二部:うち一部の表紙に「一九四四年一月三日」のスタンプ押印
184	展示パンフレット		20 obras de Evalisio Valle「エバリスト・バリエの二〇作品」	Evalisio Valle「エバリスト・バリエ」	Estio * Galería de Arte (calle de Jovelanos, 6, Madrid) [「エステイロ・ギャラリー(「アドリーダ」)」]	一九四四年一月三日～二二日	・表紙に「一九四四年一月四日」のスタンプ押印 ・出品リスト一部、開幕式典への招待状一部、同ギャラリーの名刺一部が同封 ・右記とは別に出品リスト一部有

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
185	展示パンフレット		Exposición de pintura y escultura contemporánea【現代絵画彫刻展】	José Luis Fernández Pasajes【ホセ・ルイス・フェルナンデス・パスヘス】、Enrique Martínez Cubells【エンリケ・マルティネス・クベルス】、José Eugenio Martínez Gil【ホセ・エウヘニオ・マルティネス・ギル】、Cecilio Pla【セシリオ・プラ】、Miguel Pradilla【ミゲル・プラディーリヤ】、Elias Salavertia【エリアス・サラベリア】、Agustín Segura【アグスティン・セグーラ】、Gabino Amaya【ガビノ・アマヤ】、Josep Pérez i Pérez【ペレス・ペレイ】、Josep Pérez i Pérez【ペレス・ペレイ】、Ignacio Pinazo【イグナシオ・ピナゾ】	Salón Acolian (avenida de José Antonio, 1, Madrid) 【アコリアン画廊(ブドリード)】	一九四四年一月一七日 ～ 三十一日	・マドリードの画廊・骨董商 ATEÑEA【アテネア】の名刺の裏にアコリアン画廊のスタンプを押したものの一部同封(一九四四年一月二十二日)のスタンプ押印)
186	展示パンフレット		Exposición de pinturas: A. Valdemí 【A.バルミの絵画展】	Ave Valdemí【A.バルミ】	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) 【マカロン画廊(ブドリード)】	一九四四年一月一八日 ～ 二月一日	
187	展示パンフレット		Exposición de Teodoro S. Laharrague y de su esposa M.ª Teresa Rodríguez Bauza【テオドロ・S.ラアラークと彼の妻マリア・テレサ・ロドリゲス・バウサ展】	Teodoro S. Laharrague【テオドロ・S.ラアラーク】、M.ª Teresa Rodríguez Bauza【マリア・テレサ・ロドリゲス・バウサ】	Sala Viches (avenida de José Antonio, 22, Madrid) 【ビルチェス画廊(ブドリード)】	一九四四年一月二〇日 ～ 二月五日	・同一資料計二部：うち一部の表紙に「一九四四年一月二〇日」のスタンプ押印
188	展示パンフレット		Primera exposición de caricaturas personales de Menéndez Chacón【メネンデス・チャコンの第一回人物風刺画展】	Menéndez Chacón【メネンデス・チャコン】	Salones de la Asociación de la Prensa (plaza del Callao, 4, Madrid) 【新聞協会サロン(ブドリード)】	一九四四年一月二〇日 ～ 二月五日	・同一資料計二部：うち一部の出品リスト部分に青鉛筆で傍線、かつ開幕式典への招待状(表面に「一九四四年一月二〇日」のスタンプ押印)一部が同封
189	出品リスト		Exposición: F. Pons Arnau【フランシスコ・ポンス・マルノウ展】	Francisco Pons Arnau【フランシスコ・ポンス・マルノウ】	Museo nacional de arte moderno, Madrid【国立近代美術館(ブドリード)】	一九四四年一月二五日 ～ 二月一〇日	・同一資料計二部：うち一部に作家直筆の文面が記載された名刺が同封・開幕式の情報に記載された招待状も計二枚有・いずれも日付は手書きで、片方に「一九四四年一月二二日」のスタンプ押印

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
190	招待状		Exposición: Teresa S. Gavito [「テレサ・S・ガビト展」]	Teresa Sánchez Gavito [「テレサ・サンチェス・ガビト」]	Sala Marabini (carretera de San Jerónimo, 33, Madrid) [「プラビーニ画廊(マドリード)」]	一九四四年一月二六日 ～ 二月一五日	・表紙に「一九四四年一月二六日」のスタンプ押印 ・開幕式典への招待状一枚及び出品リストも二枚有 ・開幕日のみ記載
191	展示パンフレット		22 obras de Benjamin Palencia [「ベンハミン・パレンシニアの22作品」]	Benjamin Palencia [「ベンハミン・パレンシニア」]	Estilo * Galería de Arte (calle de Jovelanos, 6, Madrid) [「エストイロ・ギャラリー(マドリード)」]	一九四四年一月二七日	・表紙に「一九四四年一月二六日」のスタンプ押印 ・開幕式典への招待状一枚及び出品リストも二枚有 ・開幕日のみ記載
192	招待状		Exposición de caricaturas: José María Romero Escacena [「ホセ・マリア・ロメロ・エスカセナのカリカチュア展」]	José María Romero Escacena [「ホセ・マリア・ロメロ・エスカセナ」]	Círculo de Bellas Artes (CBA), Madrid (calle de Alcalá, 42) [「ブドリード美術協会」]	一九四四年二月一日～	・表紙に「一九四四年一月三一日」のスタンプ押印 ・同一資料計二部のうち一部に招待状一部同封、また二月八日に開催された講演会(講師は記者でコラムニストの Mariano Rodríguez Rivas [「マリアノ・ロドリゲス・リバス」])の招待状も一部同封
193	展示パンフレット		Exposición: Vicente Vuides [「ビセンテ・ビサデス展」]	Vicente Vuides [「ビセンテ・ビサデス」]	Sala "DARDO" (avenida de José Antonio, 16, Madrid) [「ダドローネ」]	一九四四年二月一日～ 一五日	・表紙に「一九四四年一月三一日」のスタンプ押印 ・同一資料計二部のうち一部に招待状一部同封、また二月八日に開催された講演会(講師は記者でコラムニストの Mariano Rodríguez Rivas [「マリアノ・ロドリゲス・リバス」])の招待状も一部同封
194	展示パンフレット		Sisquella: Pintura [「シスケリヤ絵画展」]	Sisquella [「シスケリヤ」]	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) [「マカロン画廊(マドリード)」]	一九四四年二月二日～ 二六日	・表紙に「一九四四年二月一日」のスタンプ押印
195	出品リスト		Exposición del dibujante y caricaturista Teodoro Carrasco [「TEOK」] 素描家・風刺画家テオドロ・カラスコ [「TEOK」展]	Teodoro Carrasco [「テオドロ・カラスコ」] [「TEOK」]	Salón Acedian (avenda de José Antonio, 1, Madrid) [「アエオリアン画廊(マドリード)」]	一九四四年二月五日～	・同一資料計二部…両方の表紙に「一九四四年二月七日」のスタンプ押印、片方のリスト部分に青鉛筆で傍線 ・開幕日のみ記載
196	展示パンフレット		Eduardo Vicente [「エドゥアルド・ビセンテ展」]	Eduardo Vicente [「エドゥアルド・ビセンテ」]	Galerías Biosca (calle de Genova, 11, Madrid) [「オスカ・ギャラリー(マドリード)」]	一九四四年二月八日～ 二五日	・表紙に「一九四四年二月七日」のスタンプ押印

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
197	展示パンフレット		Exposición: Rosa Ruiz Martínez[ロサ・ルイス・マルティネス展]	Rosa Ruiz Martínez[ロサ・ルイス・マルティネス]	Sala Vilches (avenida de José Antonio, 22, Madrid)[ビルチェス画廊(マドリード)]	一九四四年二月一〇日 ～ 二四日	・同一資料計二部：うち一部の表紙に「一九四四年二月九日」のスタンプ押印、開幕式典への招待状二枚同封(うち一枚に「一九四四年二月九日」のスタンプ)。もう一方のパンフレットには「一九四四年二月七日」のスタンプが押印された開幕式典への招待状一枚同封
198	展示パンフレット		Exposición de paisajes y naturalezas muertas de Chicharro hijo[ナチャロ(子)による風景・静物画展]	Eduardo Chicharro hijo[エドゥアルド・ナチャロ(子)]	Sala Marabini (carrera de San Jerónimo, 33, Madrid)[マラビーニ画廊(マドリード)]	一九四四年二月一六日 ～ 三月四日	・表紙に「一九四四年二月一六日」のスタンプ押印 ・開幕式典への招待状も一部同封
199	展示パンフレット		14 obras de José Planes[ホセ・プラネスの十四作品]	José Planes[ホセ・プラネス]	Estilo * Galería de Arte (calle de Jovellanos, 6, Madrid)[エストイロ・ギャラリー(マドリード)]	一九四四年二月一七日 ～	・同一資料計二部：それぞれに出品リスト同封。うち一部の表紙に「一九四四年二月一六日」のスタンプ押印 ・右記二部とは別に同一の出品リスト一枚と開幕式典への招待状一枚が同封 ・開幕日のみ記載
200	展示パンフレット		Exposición: Paco Ribera[パコ・リベラ展]	Paco Ribera[パコ・リベラ]	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)[マカロン画廊(マドリード)]	一九四四年二月一七日 ～ 三月二日	・表紙に「一九四四年二月一六日」のスタンプ押印 ・出品リストも一枚有
201	展示パンフレット		Exposición de pintura de Fernando Cabrera Cantó[フェルナンド・カブレラ・カント絵画展]	Fernando Cabrera Cantó[フェルナンド・カブレラ・カント]	Museo nacional de arte moderno, Madrid[国立近代美術館(マドリード)]	一九四四年二月一九日 ～ 三月五日	
202	展示パンフレット		Exposición de ilustradores de "Blanco y Negro"[『ブランコ・イ・ネグロ』誌の挿絵画家たち展]	Ángel Díaz Huertas[アングル・ディアス・ウエルタス], José García Ramos[ホセ・ガルシア・ラモス], Adolfo Lozano Sordo[アドルフ・ロサン・シムロ], Inocencio Medina Vera[イノセンシオ・メディナ・ベラ], Narciso Méndez Branga[ナルシソ・メンデス・プリンガ], Santiago Regidor[サンティアゴ・レジドール]	Asociación de Escritores y Artistas Españoles (calle de Rollo, 2)[スペイン文筆家・芸術家協会(マドリード)]	一九四四年二月二四日 ～ 三月一五日	・開幕式典及び講演会(講師はCecilio Barbero[セシリオ・バルベラン])への招待状一部同封：「一九四四年二月二三日」のスタンプ押印

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
203	出品リスト		IV Exposición nacional de estampas de la Pasión「第四回全国カトリック版画展」	ロンクール形式で六一名の作家による版画作品計六七点が並んだ	Museo nacional de arte moderno, Madrid「国立近代美術館(マドリード)」	一九四四年三月	・同一資料計二部・うち一部の表紙に「一九四四年三月六日」のスタンプ押印
204	展示パンフレット		Jesus Apellaniz「ハスス・アペリヤニス展」	Jesus Apellaniz「ハスス・アペリヤニス」	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)「ゾカロン画廊(マドリード)」	一九四四年三月前半	・表紙に「一九四四年三月七日」のスタンプ押印、ホセ・フランセスの名刺(手書きのコメント付)一枚同封 ・出品リストも二部有・うち一部の表紙には「一九四四年三月一日」のスタンプ押印、リスト部分に赤鉛筆で傍線記入(ポストとブリュエゲル(子)の二作品) ・開幕日のみ記載
205	展示パンフレット		Exposición de pintura antigua: Escuelas flamenca y holandesa「フランドル・オランダ画派の古典絵画展」	Hieronymus Bosch「ビエロニムス・ボス」, Pieter Bruegel the Elder「ブリュエゲル(父)」, Pieter Bruegel the Younger「ブリュエゲル(子)」, Roelant Savery「ルーラント・サーフェリー」, Adriaen van Ostade「アドリアン・ファン・オスタターデ」, Frans Snyders「フランス・スナイデルス」, Rogier van der Weyden「ロヒール・ファン・デル・ウエイデン」らに帰属された作品に加え、作者不詳のものを含む計一七点が出品	Sala Viches (avenida de José Antonio, 22, Madrid)「ビルチェス画廊(マドリード)」	一九四四年三月一日～	・表紙に「一九四四年三月七日」のスタンプ押印、ホセ・フランセスの名刺(手書きのコメント付)一枚同封 ・出品リストも二部有・うち一部の表紙には「一九四四年三月一日」のスタンプ押印、リスト部分に赤鉛筆で傍線記入(ポストとブリュエゲル(子)の二作品) ・開幕日のみ記載
206	展示パンフレット		25 dibujos de Roberto Domínguez, Pedro Mozos, Benjamin Palencia, José G. Solana, Daniel Vázquez Díaz「ロベルト・ドミンゴ・ペドロ・モソス、ベンハミン・パレンシア、ホセ・G.ソラーナ、ダニエル・バスケス・ディアスの素描(二五点)」	Roberto Domínguez「ロベルト・ドミンゴ」, Pedro Mozos「ペドロ・モソス」, Benjamin Palencia「ベンハミン・パレンシア」, José Gutiérrez Solana「ホセ・グティエレス・ソラーナ」, Daniel Vázquez Díaz「ダニエル・バスケス・ディアス」	Estio * Galería de Arte (calle de Jovelanos, 6, Madrid)「エストイロ・ギャラリー(マドリード)」	一九四四年三月八日～	・招待状も同封・いずれも開幕日のみ記載
207	展示パンフレット		Exposición de esmaltes de arte: Miguel Sodevilla「ミゲル・ソルデビラの七宝作品展」	Miguel Sodevilla「ミゲル・ソルデビラ」	Museo nacional de arte moderno, Madrid「国立近代美術館(マドリード)」	一九四四年三月八日～ 一八日	
208	招待状		Enrique Pérez Comendador expone cuatro de sus obras de escultura religiosa「エンリケ・ペレス・コメンダドール彫刻展」	Enrique Pérez Comendador「エンリケ・ペレス・コメンダドール」	Palacio de Biblioteca y Museos (avenida de Calvo Sotelo, 20, Madrid)「図書館博物館宮(マドリード)」	一九四四年三月一日～ 一九日	

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
209	展示パンフレット		Exposición Gómez Cano〔「メネス・カーノ展」〕	Antonio Gómez Cano〔アントニオ・ゴメス・カーノ〕	Galerías Biosca (calle de Genova, 11, Madrid)〔オスカ・ギャラリー（ブドリード）〕	一九四四年三月一日 ～ 二五日	・須磨コレ「No. 1524」「1525」の書き込み ・同一資料計二部
210	展示パンフレット		Exposición: Las obras de Agustín Segura〔「アグスティン・セグラ展」〕	Agustín Segura〔アグスティン・セグラ〕	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid)〔カーノ画廊（ブドリード）〕	一九四四年三月一三日 ～ 二五日	・表紙に「一九四三年一月一五日」のスタンプ押印 ・出品リストも一部有
211	展示パンフレット		Exposición de la corrida de toros de Mariano Benlliure〔「マリアノ・ベニリュレ闘牛彫刻展」〕	Mariano Benlliure〔マリアノ・ベニリュレ〕	Sala Parrenillo (calle Peligros, 9, entresuelo)〔ペルテニリーヨ画廊（ブドリード）〕	一九四四年三月一五日	・開幕日のみ記載
212	展示パンフレット		Exposición: López Morelló〔「ロペス・モレリヨ展」〕	López Morelló〔「ロペス・モレリヨ」〕	INTERIOR (calle de Caballero de Gracia, 32, Madrid)〔インテリオル画廊（ペメリード）〕	一九四四年三月一五日 ～ 二九日	
213	展示パンフレット		Exposición: JUSTH〔「ジュスト展」〕	Andrés Justh〔「アンドレス・ジュステ」〕	Salón Aecolian (avenda de José Antonio, 1, Madrid)〔「アエオリアン画廊（マドリード）」〕	一九四四年三月一八日 ～ 三一日	
214	展示パンフレット		Exposición: Andrés F. Cuervo〔「アンドレス・F.クエルボ展」〕	Andrés F. Cuervo〔「アンドレス・F.クエルボ展」〕	Sala Marabini (carrera de San Jerónimo, 33, Madrid)〔「マラビニ画廊（マドリード）」〕	一九四四年三月二〇日 ～ 四月五日	・同一資料計三部：うち二部に開幕式典への招待状が一部ずつ同封 ・右記招待状のうち一部に「一九四四年三月二〇日」のスタンプ押印
215	出品リスト		Exposición de pintura de la época romántica〔「ロマン主義絵画展」〕	Eugenio Lucas〔「エウヘニオ・ルーカス」〕, Valeriano Bécquer〔「バレリアノ・ベッケル」〕, José María Esquivel〔「ホセ・マリア・エスキベル」〕, Vicente López〔「ビセンテ・ロペス」〕, José Gutiérrez de la Vega〔「ホセ・ゲティエレス・デ・ラ・ベガ」〕, Leonardo Alenza〔「レオナルド・アレメンサ」〕に 加え作者不詳の作品多数	Galerías Ferreres (calle de Echegaray, 25, Madrid)〔「フェレーレス・ギャラリー（マドリード）」〕	一九四四年三月二二日	・招待状（表面に「一九四四年三月二二日」のスタンプ押印）一部同封：いずれも開幕日のみ記載

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
216	展示パンフレット		Exposición Solis Avila【ソリス・アビラ展】	Antonio Solis Avila【アントニオ・ソリス・アビラ】	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)【マカロンの画廊(マドリード)】	一九四四年三月二三日 ～ 四月五日	・同一資料計三部：うち一部(須磨本人の記入有)の表紙に「一九四四年三月二一日」のスタンプ押印、作家本人の直筆で開幕式典に招待する旨が書かれた名刺一枚、さらに関連企画(ホセ・フランセスによる講演)の案内状一部が同封(案内状には「一九四四年三月一〇日」のスタンプ押印)。また別のパンフレット表紙に「一九四四年三月二三日」のスタンプ押印
217	展示パンフレット		Exposición J. A. de Dampierre【J. A. ド・タンピエール展】	J. A. de Dampierre【J. A. ド・タンピエール】	Sala Vilches (avenida de José Antonio, 22, Madrid)【ビルチェス画廊(マドリード)】	一九四四年三月二三日 ～ 四月八日	・同一資料計二部：うち一部の表紙に「一九四四年三月二三日」のスタンプ押印
218	招待状		Exposición de esculturas de Ignacio Pinazo【イグナシオ・ピナゾ彫刻展】	Ignacio Pinazo Camarlench【イグナシオ・ピナゾ・カマルレンチ】	Asociación de Escritores y Artistas Españoles (calle de Rollo, 2)【スペイン文筆家・芸術家協会(マドリード)】	一九四四年三月二三日 ～	・開幕式典の日程部分に赤鉛筆による傍線 ・開幕日のみ記載
219	招待状		IV Exposición nacional de estampas de la Pasión【第四回全国「受難」の宗教版画展：「受難」のイメージ】	出品者不明	Palacio de Biblioteca y Museos (avenida de Calvo Sotelo, 20, Madrid)【図書館博物館宮(マドリード)】	一九四四年三月二五日 ～	・開幕日のみ記載
220	展示パンフレット		Exposición Peresejo【ペラセホ展】	Josep Pérez i Pérez【「Peresejo」(ジュゼップ・ペレス・イ・ペレス(ペラセホ))】	Sala "DARDO" (avenida de José Antonio, 16, Madrid)【DARDO画廊(マドリード)】	一九四四年四月八日 ～ 三〇日	・作家の名刺一枚同封(「一九四四年四月一〇日」のスタンプ押印)：日本公使宛で、展覧会に来るようお願いする文面が手書きで記されている

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
221	展示パンフレット		Francisco Cossío「ロシオの二一作品」	Francisco Cossío「フランシスコ・ロシオ」	Edificio * Galería de Arte (calle de Jovelanos, 6, Madrid)「エスティロ・ギャラリー(マドリッド)」	一九四四年四月一〇日	・同一資料計二部…いずれもの表紙に「一九四四年四月八日」のスタンプ押印、うち一部に出品リスト二部と開幕式典への招待状一部が同封。他方に出品リスト一部同封 ・右記とは別に開幕式典への招待状一部有 ・いずれの資料も開幕日のみ記載
222	招待状		José Morales Díaz expone retratos al lápiz y acuarela「ホセ・モラーレス・デミアス肖像画展」	José Morales Díaz「ホセ・モラーレス・デミアス」	Palacio de Biblioteca y Museos (avenida de Calvo Sotelo, 10, Madrid)「図書館博物館(マドリッド)」	一九四四年四月一〇日	・招待状一部有(差出人は「カサ・デル・メデイコ」誌編集長の「Jose Vidaurrea Aparicio」ホセ・ビダウレタ・アパルシオ)、表面に「一九四四年四月一〇日」のスタンプ押印 ・開幕日のみ記載
223	展示パンフレット		Exposición: A. González Marcos「A. コンサレス・ペルコス展」	A. González Marcos「A. コンサレス・ペルコス」	Salón Acolian (avenida de José Antonio, 1, Madrid)「アエオリアン画廊(マドリッド)」	一九四四年四月一日 ～ 二五日	・同一資料計三部…うち一部の表紙に「一九四四年四月一八日」のスタンプ押印、また別の表紙に「一九四四年四月二二日」のスタンプ押印 ・表紙に「一九四四年四月一四日」のスタンプ押印
224	展示パンフレット		Exposición: Durancamps: Pintura「デュランカンパ絵画展」	Rafael Durancamps「ラファエル・デュランカンパ」	Sala Viches (avenida de José Antonio, 22, Madrid)「ビルチェス画廊(マドリッド)」	一九四四年四月一五日 ～ 三〇日	
225	出品リスト		Exposición: Las obras de artistas varios「様々な芸術家による作品展」	Martínez Cubells「マルティネス・クベルス」, Lorens「リョレンス」, Moisés「モイセス」, Martínez Vázquez「マルティネス・バスケス」, Nuñez Losada「ヌニェス・ロサダ」, Zubizarre「ズビザルレ」, Bernéjol「ベルヌーホ」, Mosquera「モスケラ」, Juan Luis López「フアン・ルイス・ロペス」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid)「カーノ画廊(マドリッド)」	一九四四年四月一七日 ～ 二九日	
226	招待状		1ª exposición de arte del Grupo de Empresa de Educación y Descanso「第一回「教育と余暇」事業グループによる美術展」	出品者不明	開催場所不明。同団体の展示スペースか	一九四四年四月二二日頃	・須磨による青字の書き込み、並びに「一九四四年四月二二日」のスタンプ押印 ・会期初日はスタンプより推測

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
227	展示パンフレット		Exposición de los expensionados españoles de la Casa de Velázquez: Sans Jordi, Esteve, Igual Ruiz, Rocay Ros 「カサ・デ・ベラスケス奨学生 サン・ジョルディ、アステバ、イグアル・ルイス、ロカ、ロスによる作品展」	Margarita Sans Jordi「マルガリタ・サン・ジョルディ」、Gabriel Esteve 「ガブリエル・アステバ」、Enrique Igual Ruiz「エンリケ・イグアル・ルイス」、Amadeo Roca「アマデオ・ロカ」、José Ros「ホセ・ロス」	Sala "DARDO" (avenida de José Antonio, 16, Madrid) [DARDO画廊(ブドリーダ)]	一九四四年四月二三日 ～五月六日	・講演会講師はJosé Franco「ホセ・フランセス」への招待状(一九四四年五月三日)のスタンプ押印も同封
228	展示パンフレット		Exposición de arte「第一回美術展」	二七名の作家の作品計一〇〇点が並んだ	Palacio de la Prensa (plaza del Callo, 4, Madrid)「パラスィオ・デ・ラ・プレンス(プラマリーダ)」	一九四四年四月二三日 ～五月五日	・同一資料計二部・片方の出品リストにおいて「Enrique Iglesias Segura」の作品に書き込みでチェックが入っている ・開幕式典への招待状も一部有
229	展示パンフレット		Exposición de pinturas del actor cinematográfico Tony D'Algy「映画俳優 トニー・ダルジー展」	「Tony D'Algy」[「トニー・ダルジー」]	Sala Marabini (carrera de San Jerónimo, 33, Madrid) 「マラヨニー画廊(ブドリーダ)」	一九四四年四月二五日 ～五月一日	・表紙に「一九四四年四月二四日」のスタンプ押印
230	展示パンフレット		Exposición de pintura flamenca moderna del paisajista belga Karel Holmans「近代ベルギーの絵画：風景画家カレル・ホルスマン展」	Karel Holmans「カレル・ホルスマン」	Hotel Palace (carrera de San Jerónimo)「パラス・ホテル(ブドリーダ)」	一九四四年四月二六日 ～五月一日	・書き込み：表紙に須磨コレNoとは別の番号、内頁のリスト部分には購入した作品に対してそれぞれ須磨コレ「No. 1516」「1517」「1518」「1519」「1520」と記してある ・同一資料計四部：うち書き込みのある一部には会場配布と思しき出品リストが同封 ・開幕式典への招待状一部有(表面に「一九四四年四月二六日」のスタンプ押印)
231	展示パンフレット		21 obras de Enrique Herreros「エンリケ・エレーロスの二一作品」	Enrique Herreros「エンリケ・エレーロス」	Estilo * Galería de Arte (calle de Jovelanos, 6, Madrid)「エストイロ・ギャラリー(ブドリーダ)」	一九四四年四月二六日 ～五月一日	・同一資料計二部：うち一部の表紙に「一九四四年四月二四日」のスタンプ押印かつ招待状も一部同封、他方の表紙には「一九四四年四月二六日」のスタンプ押印
232	展示パンフレット		Exposición. Maria del Carmen A. de Sotomayor「マリア・デル・カルメン・A. デ・ソトマヨール展」	Maria del Carmen Alvarez de Sotomayor「マリア・デル・カルメン・アルバレス・デ・ソトマヨール」	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)「マカロン画廊(ブドリーダ)」	一九四四年四月二六日 ～五月一日	・同一資料計二部：うち一部の表紙に「一九四四年四月二四日」のスタンプ押印かつ招待状も一部同封、他方の表紙には「一九四四年四月二六日」のスタンプ押印

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
233	展示パンフレット		Exposición de acuarelas, dibujos y grabados alemanes de los siglos XIX y XX [一九二〇世紀ドイツの水彩画・素描・版画展]	一五一名の作家による作品計三二三点が並んだ	Museo nacional de arte moderno, Madrid [国立近代美術館(マドリード)]	一九四四年五月	・表紙返しに須磨による展覧会所感が記入されている
234	出品リスト		Exposición: Las obras de artistas catalanes [カタルーニャの芸術家たち展]	Ramon de Capmany [ラモン・デ・カプマン], Josep Mompou [ジュゼップ・モンポウ], Josep Amat [ジュゼップ・アマト], Joan Serra [ジョアン・セラ], Vicente Solé Jorbal [ビセンテ・ソレ・ジョルバル], Josep Maria Pàm [ジュゼップ・ペリャ・マリヤ]	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 38, Madrid) [カーノ画廊(マドリード)]	一九四四年五月一日～三日	・同一資料計四部
235	展示パンフレット		Exposición Pedro Buenol [ペドロ・ブエノ展]	Pedro Buenol [ペドロ・ブエノ]	Galerías Biosca (calle de Genova, 11, Madrid) [オスカ・ギョラルリー(マドリード)]	一九四四年五月一日～三日	・同一資料計四部
236	展示パンフレット		Exposición: D. Carles [D. カルラス展]	Domènec Carles [ドゥメナク・カルラス]	Sala Vilches (avenida de José Antonio, 22, Madrid) [ビルチェス画廊(マドリード)]	一九四四年五月一日～五日	・表紙に「一九四四年五月三日」のスタンプ押印
237	展示パンフレット		Exposición de retratos y paisajes de A. Vera-Fajardo coronel de intendencia [A. ヴェラファアルド大佐の肖像・風景画展]	A. Vera-Fajardo [A. ヴェラファアルド]	Sala Parrenillo (calle Peligros, 9, entresuelo) [ペルテニーリョ画廊(マドリード)]	一九四四年五月五日～二〇日	・開幕式典への招待状一枚 (「一九四四年五月九日」のスタンプ押印)、関連企画である連続講演会(講師・ホセ・フランセス、エンリケ・ラフエンテ・フェラーリ、マルケス・デ・ロンヤらの招待状一枚、ワイン会の招待状一枚が同封)
238	展示パンフレット		Exposición: Eduardo Chicharro [エドゥアルド・チチャロ展]	Eduardo Chicharro [エドゥアルド・チチャロ]	Museo nacional de arte moderno, Madrid [国立近代美術館(マドリード)]	一九四四年五月六日～	・出品リスト部分に書き込みあり ・同一資料計四部 ・関連資料有り(註:「J. L. ガリードの代理人からの手紙で、須磨が出品作購入の意志を示していることへのお礼と売り渡しに関する前向きなコメントが記されている」)
239	展示パンフレット		Exposición: Pintura Contemporánea [現代絵画展]	V. Albarranoh [V. アルバラント], J. L. Garrido [J. L. ガリード], Carlos Haes [カルロス・テ・アエス], Lupiáñez [ルシアニエス], E. Nage [E. ナゲ], Morela [モレラ], Muñoz Degraín [ムニョス・デグライン], Fernández de Pasajes [フェルナンデス・デ・パスアヘス]	Salón Aeoian (avenda de José Antonio, 1, Madrid) [アエオリアン画廊(マドリード)]	一九四四年五月六日～	・同一資料計四部 ・関連資料有り(註:「J. L. ガリードの代理人からの手紙で、須磨が出品作購入の意志を示していることへのお礼と売り渡しに関する前向きなコメントが記されている」)

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
240	招待状		Exposición de pinturas: Margarita de Frau [「ベルガリタ・デ・フラウの絵画展」]	Margarita de Frau (Margarita González Giraud) [「ベルガリタ・ゴンサレス・シロー」]	Sala Marabini (carrera de San Jerónimo, 33, Madrid) [「アラビニーニ画廊(マドリッド)」]	一九四四年五月一日	・同一資料計二部：うち一部に書き込みと「一九四四年五月一日」のスタンプ押印 ・開幕日のみ記載
241	展示パンフレット		Exposición de retratos y paisajes de A. Vera-Fajardo [「A. ヴェラフャンドル 肖像画・風景画展」]	Aurelio Vera-Fajardo [「アウレリオ・ヴェラフャンドル」]	Sala Partenillo (calle Peligros, 9, entresuelo) [「ペルテニーリョ画廊(マドリッド)」]	一九四四年五月二日 ～ 三日	・表紙の会期に手書きで修正
242	展示パンフレット		Exposición de carbonos fotográficos de José Ortiz Echagüe [「ホセ・オルティス・エチャグエ写真展」]	José Ortiz Echagüe [「ホセ・オルティス・エチャグエ」]	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) [「マカロン画廊(マドリッド)」]	一九四四年五月一日 ～ 二五日	
243	招待状		Exposición del pintor: Fernando Moreno Márquez [「画家フェルナンデ・モレノ・マルケス展」]	Fernando Moreno Márquez [「フェルナンデ・モレノ・マルケス」]	Sala "DARDO" (avenida de José Antonio, 16, Madrid) [「DARDO画廊(マドリッド)」]	一九四四年五月一日 ～ 二二日	
244	展示パンフレット		Exposición: Las obras de Francisco Hohenleiter [「フランシスコ・ホーエンライター展」]	Francisco Hohenleiter [「フランシスコ・ホーエンライター」]	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid) [「カーノ画廊(マドリッド)」]	一九四四年五月一日 ～ 六月三日	・表紙に「一九四四年五月一日」のスタンプ押印 ・出品リストも一部有
245	展示パンフレット		Exposición de cuadros: Manuel Benedito [「マヌエル・ベネデイトー 絵画展」]	Manuel Benedito [「マヌエル・ベネデイトー」]	Casino de Madrid (calle de Alcalá, 15, Madrid) [「カシーノ・デ・マドリッド (マネリッド)」]	一九四四年五月二〇日 ～ 六月五日	・同一資料計二部：うち一部に開幕式典への招待状一枚が同封(表面に「一九四四年五月一日」のスタンプ押印、式典の時刻部分に青鉛筆で傍線記入)
246	出品リスト		Exposición de croquis de arquitectura: del arquitecto Eduardo Lagarde [「ラガルデによる建築クロッキー展」]	Eduardo Lagarde [「エドゥアルド・ラガルデ」]	Círculo de Bellas Artes (CBA), Madrid (calle de Alcalá, 42) [「マドリッド美術協会」]	一九四四年五月二二日 ～ 三二日	・表紙に「一九四四年五月二二日」のスタンプ押印

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
247	招待状		Exposición: Dibujos y Pinturas de Juan Barba Penas【フアン・バルバ・ペナスによる絵画・素描展】	Juan Barba Penas【フアン・バルバ・ペナス】	Salón Viches (avenida de José Antonio, 22, Madrid) 【ビルチェス画廊(マドリード)】	一九四四年五月二三日 ～ 六月七日	・表面に「一九四四年五月二三日」のスタンブ押印
248	出品リスト		Exposición: Maria Luisa Arias【マリア・ルイサ・アリアス展】	Maria Luisa Arias【マリア・ルイサ・アリアス】	Salón Aecolan (avenda de José Antonio, 1, Madrid) 【アエオリアン画廊(マドリード)】	一九四四年五月二三日 ～ 六月六日	・表紙に「一九四四年五月二三日」のスタンブ押印
249	展示パンフレット		8 artistes catalanes de su proxima temporada: Enrique Casanovas, Monserrat Fargas, Grau Sala, Llorens Artigas, Olivé Busquets, Roig, Olga Sacharoff, Miguel Villá【カタロニアの次代の作家八人展: アンリク・カサノバス、ムンサラット・フアルガス、グラウ・サラ、リョレンス・アルティガス、ウリベ・ブスケツ、ロッチ、オルガ・サチャロフ、ミゲル・ビリヤ】	Enric Casanovas【アンリク・カサノバス】、Monserrat Fargas【ムンサラット・フアルガス】、Grau Sala【グラウ・サラ】、Josep Llorens Artigas【ジュゼップ・リョレンス・アルティガス】、Olivé Busquets【オリベ・ブスケツ】、Roig【ロッチ】、Olga Sacharoff【オルガ・サチャロフ】、Miguel Villá【ミゲル・ビリヤ】	Estilo * Galería de Arte (calle de Jovellanos, 6, Madrid) 【ホステイロ・ギャラリー(マドリード)】	一九四四年五月二五日 ～	・同一資料計二部 ・開幕日のみ記載
250	展示パンフレット		Exposición de fotografías de la Real Sociedad Fotográfica【王立写真協会写真展】	J. Arguero【J. アルゲロ】、F. Andrada【F. アンドラーダ】、D. Gálvez【D. ガルベス】、González de Aguiar【ゴンサレス・デ・アギアル】、J. Jiménez【J. ジメネス】、E. Laporta【E. ラポルタ】、Marqués de Lorianá【ロリアナ侯爵】、C. Mahou【C. マウ】、José Ortiz-Echagüe【ホセ・オルティス＝エチャグエ】、J. Platero【J. プラテロ】、A. Prast【A. プラスト】、F. Sierra【F. シエラ】、E. Susana【E. スサナ】、J. Tinoco【J. テノコ】、F. Torrecilla del Puerto【F. トルセリャ・デル・プエルト】	Centro de Instrucción Comercial (calle de Pontejos, 2) 【商業教育センター(マドリード)】	一九四四年五月二五日 ～ 六月三日	・「一九四四年五月二五日」のスタンブ押印

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
256	招待状		Exposición: Manuel Amat〔マヌエル・アマト展〕	Manuel Amat〔マヌエル・アマト〕	Sala "DARDO" (avenida de José Antonio, 16, Madrid) [DARDO画廊(マヌエル・アマト展)]	一九四四年六月七日	・表面に「一九四四年六月二日」のスタンプ押印 ・開幕日のみ記載
255	展示パンフレット		Exposición de Agnauerte〔エッチング作品展〕	Brañez〔ブラニェス〕, Casero〔カセロ〕, Castro Gil〔カストロ・ビル〕, Esteve Botey〔エステバ・ボテイ〕, Julio Prieto Nesperera〔フリオ・プリエト・ネスペレイラ〕, Santos Sainz〔サントス・サンズ〕	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 38, Madrid) [カーノ画廊(ブドリド展)]	一九四四年六月五日 ～ 一七日	・表紙上部に「一九四四年六月五日」のスタンプ押印
254	展示パンフレット		Exposición fotográfica de la provincia de Guadalupe〔グアダラハラ地方写真展〕	撮影者不明(出品作は Tomas Canario〔トマス・カマリリオ〕のコレクション)	Circulo de Bellas Artes (CBA), Madrid (calle de Alcalá, 42) [ブドリド美術協会]	一九四四年六月二日 ～ 五日	・薄紙と厚紙の招待状各一部ずつ同封。前者には「一九四四年五月三十一日」のスタンプ押印
253	展示パンフレット		Exposición de repujados en cuero de los hermanos Carmen y Manuel Torres〔カルメン・トーレスとマヌエル・トーレス姉弟の打ち出し革細工展〕	Carmen Torres〔カルメン・トーレス〕, Manuel Torres〔マヌエル・トーレス〕	Asociación de Escritores y Artistas Españoles (calle de Rollo, 2) [スペイン文筆家・芸術家協会(マドリド)]	一九四四年五月末頃 ～ 六月一日	・作家による書き込みあり(会場住所など) ・カルメン・トーレスから須磨宛の手紙同封(来場を催促する内容) ・開幕日の記載が無い(同箇所)で開催された他展の会期をもとに推測
252	展示パンフレット		Exposición: Geneviève d'Andréis de Colladant, Alexandre Colladant, André Lys〔ジュヌヴィエーヴ・ダンドレイ・ドゥ・コラタン, アレクサンドル・コラタン, アンドレ・リス作品展〕	Geneviève d'Andréis de Colladant〔ジュヌヴィエーヴ・ダンドレイ・ドゥ・コラタン〕, Alexandre Colladant〔アレクサンドル・コラタン〕, André Lys〔アンドレ・リス〕	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2 al lado de la Zarzuela, Madrid) [マカロン画廊(ブドリド展)]	一九四四年五月二七日 ～ 六月一日	
251	招待状		Palma Burgos〔バルマ・ブルゴス展〕	Palma Burgos〔バルマ・ブルゴス〕	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid) [カーノ画廊(ブドリド展)]	一九四四年五月二七日	・表面に「一九四四年五月二七日」のスタンプ押印

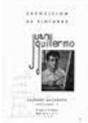
No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
257	展示パンフレット		Exposición de retratos de S. E. El Generalísimo Franco ofrecida como homenaje a Jefe del Estado [国家元首への敬意を表して開催されるフランコ総統閣下の肖像展]	Jalón Angel [ハロン・アンヘル], Ciriaco Párraga [シリアコ・パラガ]	Palacio de Santa Cruz, Madrid [聖十字架宮殿(マドリード)]	一九四四年六月一〇日	・招待状と出品リストも同封 ・いずれの資料も開幕日のみ記載
258	展示パンフレット		Maria Blanchard [マリア・ブランチャール展]	Maria Blanchard [マリア・ブランチャール]	Colegio Mayor Santa Teresa de Jesús de la Universidad de Madrid [「アビラの聖テレサ」寄宿制大学(マドリード)]	一九四四年六月一四日 ～二八日	・開催年月の記載が無いが、表紙に「一九四四年六月一三日」のスタンプが押印されている ・同一資料計二部：うち一部に上記のスタンプ有り
259	招待状		Academia Breve de Critica de Arte: Salón de los Once [美術批評短期アカデミー：第二回] サロン・デ・ロス・オンセ [のカクテルパーティー招待状]	前回と同様に、一一名のアカデミー会員がそれぞれ作家を推挙して展示する形式で開催	Galerías Biosca (calle de Genova, 11, Madrid) [ビオスカ・ギャラリー(マドリード)]	一九四四年六月一六日	・開幕日のみ記載
260	展示パンフレット		Exposición: Federico Handusch [フェデリコ・ハンドタッシュ展]	Federico Handusch [フェデリコ・ハンドタッシュ]	Salón Acolian (avenida de José Antonio, 1, Madrid) [「アエオリアン」画廊(マドリード)]	一九四四年六月一六日 ～三〇日	・同一資料計二部：うち一部の表紙に「一九四四年六月二〇日」のスタンプ押印、他方表紙に「一九四四年六月二二日」のスタンプ押印
261	招待状		Exhibición de la colección particular de Objetos de Arte Oriental [「東洋美術展」]	出品作家不明	Sala "DARDO" (avenida de José Antonio, 16, Madrid) [「DARDO」画廊(マドリード)]	一九四四年六月二四日	・同一資料計二部：片方には「一九四四年七月三日」のスタンプ押印かつ手書きで「東洋美術招待状」サロントルド」、他方には「一九四四年六月二七日」のスタンプ押印かつ手書きで「東洋美術展招待状」サロントルド」にて
262	展示パンフレット		Exposición de grabados en linoleum de la revista "SPES" de Pontevedra [ポントベドラスの「SPES」誌のレリノリウム版画展]	José Luis [ホセ・ルイス], Liste Naveira [リス・テ・ナエイバ], Paisa Gil [パイサ・ギル], Pintos Fonseca [ピントス・フォンセカ], Portela Paz [ポルテラ・パス], Sesto [セスト], Carlos Sobrino [カルロス・ソブリーノ], Torres Martínez [トレス・マルティネス], Turas [トゥラス]	Asociación de Escritores y Artistas Españoles (calle de Rollo, 2) [スペイン文筆家・芸術家協会(マドリード)]	一九四四年秋	

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
263	展示パンフレット		IV Exposición nacional de arte de «Educación y Descanso» [「第四回」教育と余暇]の労働組合による全国美術展]	スペイン各地で選ばれた上記労組に属する人物たちの作品が一堂に会した	Círculo de Bellas Artes (CBA), Madrid (calle de Alcalá, 42) [「プロレタリア美術協会」]	一九四四年一〇月	・出品者は作家活動で生計を立てていない。いわゆるアマチュアの作家
264	出品リスト		Exposición de acuarelas: La obra de Teodoro Ríos [「テオドロ・リオス水彩画展」]	「Teodoro Ríos」[「テオドロ・リオス」]	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 38, Madrid) [「カーノ画廊(「プロドリーネ」)」]	一九四四年一〇月一日～二八日	
265	展示パンフレット		Exposición de pinturas: Isaac Diaz Pardo [「イサーク・ディアス・バルド絵画展」]	Isaac Diaz Pardo [「イサーク・ディアス・バルド」]	Sala Viches (avenida de José Antonio, 22, Madrid) [「ビルチェス画廊(「プロドリーネ」)」]	一九四四年一〇月一日～	・同一資料計三部：うち一部に「十四日土曜開会セル 個人画展招待状」との須磨の書き込みがあるため、同年一〇月に開催されたことが分かる ・開幕日のみ記載
266	展示パンフレット		17 obras de Ángel Ferrant [「アングル・フェランテの十七作品」]	Ángel Ferrant [「アングル・フェランテ」]	Estilo * Galería de Arte (calle de Jovelanos, 6, Madrid) [「ホステイロ・キャラリー(「プロドリーネ」)」]	一九四四年一〇月二五日～	・出品リストも一部有 ・いずれの資料も開幕日のみ記載
267	展示パンフレット		Exposición Las obras de Solé Jorba [「スレ・ジョルバ展」]	Vicente Solé Jorba [「ビセンテ・スレ・ジョルバ」]	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid) [「カーノ画廊(「プロドリーネ」)」]	一九四四年一〇月三日～一二月二日	・出品リストは計四部有
268	出品リスト		Exposición de Bonifacio Lázaro Lozano [「ボニファチオ・ラザロ・ロザノ展」]	Bonifacio Lázaro Lozano [「ボニファチオ・ラザロ・ロザノ」]	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) [「マカロン画廊(「プロドリーネ」)」]	一九四四年一月二日～一六日	・裏表紙に出品作以外の作品タイトルらしきものが記入されている。同じ機会に同画廊で別作品を見た可能性が指摘できる
269	展示パンフレット		Julio y Pedro Borrell [「フリオ・ボレルとペドロ・ボレル展」]	Julio Borrell [「フリオ・ボレル」], Pedro Borrell [「ペドロ・ボレル」]	Sala "DARDO" (avenida de José Antonio, 16, Madrid) [「DARDO画廊(「プロドリーネ」)」]	一九四四年一月四日～一七日	・招待状一枚と展示案内カード一枚も有(会期部分に鉛筆で「1944」と追記)
270	展示パンフレット		Exposición de pinturas: USA [「USA総画展」]	Fernando Usabiaga (Usa) [「フェルナンド・ウサビエガ」]	Sala Marabini (carrera de San Jerónimo, 33, Madrid) [「マラビーニ画廊(「プロドリーネ」)」]	一九四四年一月六日～二二日	・同一資料計三部：うち一部の表紙に会期変更の書き込みに加え開幕式典招待状も同封

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
271	招待状		Exposition du Livre et des Arts graphiques de Suisse [スイスの書籍及びグラフィックアート展]	不詳	Palacio de Biblioteca y Museos (avenida de Calvo Sotelo, 20, Madrid) [図書館博物館宮(マドリード)]	一九四四年一月二日～二六日	・同一資料計二部：うち一部には手書きで日本公使宛であると書かれている
272	展示パンフレット		Exposition de cuadros de Santiago Rusiñol: Retratos - Paisajes - Jardines [サンティアゴ・ルシニョール絵画展]	Santiago Rusiñol [サンティアゴ・ルシニョール]	Salón Viches (avenida de José Antonio, 22, Madrid) [ビルチェス画廊(マドリード)]	一九四四年一月一四日～三〇日	・同一資料計二部
273	出品リスト		15 obras de Olga Sacharoff [オルガ・サチャロフの十五作品]	Olga Sacharoff [オルガ・サチャロフ]	Estilo * Galeria de Arte (calle de Jovelanos, 6, Madrid) [エステイロ・ギャラリー(マドリード)]	一九四四年一月一六日～二二日	・開幕式典への招待状も一部有
274	出品リスト		Exposición: Santiago Pelegrin [サンティアゴ・ペレグリン展]	Santiago Pelegrin [サンティアゴ・ペレグリン]	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) [マカロン画廊(マドリード)]	一九四四年一月一七日～二二日	・同一資料計三部：うち一部に須磨が所属していた美術批評短期アカデミーの会員エンリケ・アスコアガからの手紙が同封(アスコアガの友人でもあるペレグリンの展示を見ることを勧める内容)
275	展示パンフレット		Exposición de miniaturas: Alberto de Larrañbide [アルベルト・デ・ラルンバイデによる細密画展]	Alberto de Larrañbide [アルベルト・デ・ラルンバイデ]	Museo nacional de arte moderno, Madrid [国立近代美術館(マドリード)]	一九四四年一月二二日～二二日	・同一資料計二部：うち一部の会期に手書きで修正 ・招待状も二部有：うち一部は手書きで日時を修正、他方は手書きと赤色のスタンプで修正有
276	出品リスト		Exposición: José Nogué [ホセ・ノゲ展]	José Nogué [ホセ・ノゲ]	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid) [カーノ画廊(マドリード)]	一九四四年一月二七日～二九日	・開幕式典への招待状も一部有
277	出品リスト		Exposición: Helena de Melgar [エレナ・デ・メルガー展]	Helena de Melgar [エレナ・デ・メルガー]	Sala Marañón (carrera de San Jerónimo, 33, Madrid) [マラヨーン画廊(マドリード)]	一九四四年一月二七日～二二日	

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
278	展示パンフレット		Exposición de pinturas murales del siglo XVI: La victoria del emperador Carlos V en Sajonia【一六世紀壁画展・サクセンでのカルロス五世の勝利】	展示作品の作者不詳	開催場所明記無し、以下の組織の展示スペース：Sociedad Española de Amigos del Arte【スペイン美術友の会】	一九四四年二月	
279	出品リスト		Exposición del pintor Juan Cabanas【ファン・カバナス展】	Juan Cabanas【ファン・カバナス】	Museo nacional de arte moderno, Madrid【国立近代美術館（マドリード）】	一九四四年二月	
280	展示パンフレット		Caricaturas del artista filipino Luis Lasal【フィリピン出身の芸術家ルイス・ラーサのカリカチュア展】	Luis León Lasa【ルイス・レオン・ラーサ】	Círculo de Bellas Artes (CBA), Madrid【 calle de Alcalá, 42】【マドリード美術協会】	一九四四年二月一日 ～ 一日	・出品リストにある《Ministro del Japon》《La Cripa del Pombo》S.二点 はそれぞれ須磨口No. 1746, 1747を 考えられる（いずれも当館所蔵） ・同一資料計二部
281	展示パンフレット		Exposición de pintura de Serny, Morales y Tauler【セルニ・モラレス・タウレル絵画展】	Serny【セルニ】、Morales【モラレス】、Tauler【タウレル】	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)【マカロン画廊（マドリード）】	一九四四年二月二日 ～ 一日	・本資料では作家名はすべて苗時のみ
282	展示パンフレット		Exposición: Pepe Sala【ペペ・サラ肖像素描展】	Pepe Sala【ペペ・サラ】	INTERIOR (calle de Caballero de Gracia, 32, Madrid)【インテリオル画廊（マドリード）】	一九四四年二月九日 ～ 二三日	・同一資料計二部：うち一部に日本 公使宛の開幕式典への招待状一部が 同封
283	展示パンフレット		Exposición de Rafael Cantarero【ラファエル・カンタレロ絵画展】	Rafael Cantarero【ラファエル・カンタレロ】	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid)【カーノ画廊（マドリード）】	一九四四年二月一日 ～ 二三日	
284	招待状		Exposición de pinturas y dibujos de Rafael Zabaleta【ラファエル・サバレタ絵画素描展】	Rafael Zabaleta【ラファエル・サバレタ】	Casa de Escorial (calle de Alfonso XII, 26, Madrid)【アルフォンソ一二世通り二六番地（マドリード）】	一九四四年二月一日 ～ 一九四五年一月八日	・須磨が所属していた美術批評短期アカデミー主催の展覧会であるため、須磨に招待状が送られたと推定できる ・会場の通称は「Casa de ESCORIAL」
285	招待状		Exposición de Pinturas y Dibujos: Amando Suárez Conto【アマンド・スアレス・ロント絵画素描展】	Amando Suárez Conto【アマンド・スアレス・ロント】	Sala Marabini (carrera de San Jerónimo, 33, Madrid)【マラビーニ画廊（マドリード）】	一九四四年二月一六日 ～	・日時の箇所に青鉛筆で傍線 ・開幕日のみ記載

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
286	出品リスト		Exposición: A. Suárez Couto「A. スアレス・コウト展」	Amando Suárez Couto「マルベンド・スアレス・コウト」	Sala Marabini (carrera de San Jerónimo, 33, Madrid)「アラヨニー画廊(マドリード)」	一九四四年二月一六日～三一日	
287	展示パンフレット		Exposición de Rafael Penuelas「ラファエル・ペニエラス展」	Rafael Penuelas「ラファエル・ペニエラス」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 38, Madrid)「カーノ画廊(マドリード)」	一九四四年二月二六日～一九四五年一月一〇日	・同一資料計七部 ・出品リスト一枚、開幕式典への招待状一枚も有 ・須磨の肖像が出品、須磨本人が作成した総目録における作品番号1481に該当する可能性が高い(作品は現存)
288	展示パンフレット		Exposición: Marcelliano Santa Maria「マルセリアーノ・サンタ・マリア展」	Marcelliano Santa Maria「マルセリアーノ・サンタ・プリア」	Galerías Pallares (345, passeig de Gràcia i Rambla de Catalunya, Barcelona)「パリアレス・ギャラリー(バルセロナ)」	一九四四年二月三〇日～一九四五年一月二二日	・開幕式典への招待状一部有
289	出品リスト		Exposición: Guillermo Vargas Ruiz「ギリエルモ・バルガス・ルイス展」	Guillermo Vargas Ruiz「ギリエルモ・バルガス・ルイス」	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)「マカロン画廊(マドリード)」	一九四五年一月二日～三日	・須磨コレノ. 1698の購入.. やり取りの詳細がわかる資料一式付随
290	展示パンフレット		Exposición de José María Labrador「ホセ・マリア・ラブラドール展」	José María Labrador「ホセ・マリア・ラブラドール」	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 38, Madrid)「カーノ画廊(マドリード)」	一九四五年一月一日～二四日	
291	展示パンフレット		19 obras de Montserrat Fargas「モンサerrat・ファルガスの一九作品」	Montserrat Fargas「モンサerrat・ファルガス」	Estilo * Galeria de Arte (calle de Jovelanos, 6, Madrid)「エステイロ・ギャラリー(マドリード)」	一九四五年一月二日	・同一資料計二部.. それぞれ出品リストも同封、片方のみ開幕式典への招待状同封(開幕日記載、「一九四五年一月一〇日」のスタンプ押印) ・右記とは別に開幕式典への招待状一部有 ・開幕日のみ記載
292	展示パンフレット		Exposición de Luciano「ルシアーノ展」	Luciano「ルシアーノ」	Sala Viches (avenida de José Antonio, 22, Madrid)「ビルチェス画廊(マドリード)」	一九四五年一月一五日	・須磨コレノ. 1692の書込み ・同一資料計三部 ・開幕日のみ記載

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
293	展示パンフレット		Exposición: Angel de Larroque: Pinturas[アンヘル・デ・ラロック絵画展]	Angel de Larroque[アンヘル・デ・ラロック]	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2 al lado de la Zarzuela, Madrid)[マカロン画廊(プラドリーゼン)]	一九四五年一月一日〜三〇日	・同一資料計二部：うち一部に須磨コレ[No.169]の書き込み
294	展示パンフレット		Exposición de pintura de José Bernabejo Sobera[ホセ・ソベルメーホ・ソニスラ絵画展]	José Bernabejo Sobera[ホセ・ソベルメーホ・ソニスラ]	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 38, Madrid)[カーノ画廊(プラドリーゼン)]	一九四五年一月二五日〜二月七日	・出品リストも一部有
295	展示パンフレット		20 obras de Miguel Villá[ミゲル・ビリヤの二〇作品展]	Miguel Villá[ミゲル・ビリヤ]	Estio * Galeria de Arte (calle de Jovelanos, 6, Madrid)[エステイロ・ギャラリー(プラドリーゼン)]	一九四五年一月二七日〜二月二日	・同一資料計二部：うち一部に出品リスト一部同封(裏面に須磨による書き込み) ・招待状も一部有
296	出品リスト		Exposición de pinturas: Juan Guillermo[フアン・ギリヘルモ絵画展]	Juan Guillermo[フアン・ギリヘルモ]	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)[マカロン画廊(プラドリーゼン)]	一九四五年一月三二日〜二月一三日	・同一資料計二部：うち一部の表紙及び裏表紙に鉛筆でメモ書き多数(展示とは直接関係ない事柄か)
297	展示パンフレット		Expositor: Rafael Figuera[ラファエル・フィゲラ展]	Rafael Figuera[ラファエル・フィゲラ]	Sala "DARDO" (avenida de José Antonio, 16, Madrid)[DARDO画廊(プラドリーゼン)]	一九四五年二月五日〜九日	・同一資料計二部：片方は会期に修正、他方は作家から須磨宛の名刺(文面付き)同封
298	展示パンフレット		Exposición: Vilarroig[ビラロイグ展]	Pedro Vilarroig[ペドロ・ビラロイグ]	Salón Viches (avenida de José Antonio, 22, Madrid)[ビルチェス画廊(プラドリーゼン)]	一九四五年二月五日〜九日	・須磨コレ[No.1734][1735]の書き込み ・招待状二部(一部は封筒付)、画家名刺(文面付)も有り ・同一資料計二部
299	展示パンフレット		Exposición de Fotografías: Joaquín del Palacio[ホマキン・デル・パラスミオ]	Joaquín del Palacio[ホマキン・デル・パラスミオ]	Palacio de Bibliotecas y Museos, Madrid[図書館博物館(プラドリーゼン)]	一九四五年二月七日〜二二日	
300	展示パンフレット		4.ª exposición de pintura de Julio García Gutiérrez[フリオ・ガルシア・グティエレス第四回絵画展]	Julio García Gutiérrez[フリオ・ガルシア・グティエレス]	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid)[カーノ画廊(プラドリーゼン)]	一九四五年二月八日〜二二日	

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
301	展示パンフレット		Exposición de grabado en cerámica: Francisco Creo Rodríguez [フランシスコ・クレオ・ロドリゲスのタイル絵展]	Francisco Creo Rodríguez [フランシスコ・ロドリゲス]	Sala Marabini (carrera de San Jerónimo, 33, Madrid) [「アラボニー画廊(マドリード)」]	一九四五年二月八日～二八日	・同一資料計二部
302	展示パンフレット		15 obras de Olive Busquets [ウリベ・ブスケツの二五作品]	Olive Busquets [ウリベ・ブスケツ]	Eftio * Galeria de Arte (calle de Jovelanos, 6, Madrid) [「エストイロ・ギャラリー(マドリード)」]	一九四五年二月一四日～二八日	・招待状一枚も同封
303	展示パンフレット		Exposición: Sisquella, Rafael Limona, Juan Serra: Pintura [シスケリヤ、ラファエル・リモーナ、ジュエマン・セラ絵画展]	Sisquella [シスケリヤ], Rafael Limona [ラファエル・リモーナ], Joan Serra [ジュエマン・セラ]	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) [「マカロン画廊(マドリード)」]	一九四五年二月一四日～二八日	・同一資料計二部：うち一部に招待状一部同封
304	展示パンフレット		Exposición: Julia Minguilón [ジュリア・ミンギリオン展]	Julia Minguilón [ジュリア・ミンギリオン]	Circulo de Bellas Artes (CBA), Madrid (calle de Alcalá, 42) [「ブドリート美術協会」]	一九四五年二月一九日～三月五日	・内容は同じだが、薄紙に印刷した紙質の異なるパンフレットも有り ・開幕式典への招待状一部同封
305	展示パンフレット		Exposición: Luis Masfiera [リュエイス・マスリエラ展]	Luis Masfiera [リュエイス・マスリエラ]	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 34, Madrid) [「カーノ画廊(ブドリート)」]	一九四五年二月二三日～三月七日	・同一資料計二部
306	出品リスト		Exposición: Sebastián Méndez [セバスティアン・メンデス肖像画展]	Sebastián Méndez [セバスティアン・メンデス]	Sala "DARDO" (avenida de José Antonio, 16, Madrid) [「DARDO画廊(ブドリート)」]	一九四五年二月二三日	・出品作の中に《Krupi [Suchiya]》と題された作品がある。土屋は須磨のスペインでの通訳として活躍した秘書官 ・開幕日のみ記載
307	展示パンフレット		Exposición de pinturas: A. Valdemí [A.バルデミ絵画展]	Alve Valdemí [A.バルデミ]	Salones Macarrón (calle de Jovelanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) [「マカロン画廊(ブドリート)」]	一九四五年三月一日～四日	・同一資料計二部
308	展示パンフレット		Exposición de pintura de Aurora Lezcano [アウロラ・レスカーノ絵画展]	Aurora Lezcano [アウロラ・レスカーノ]	Sala Marabini (carrera de San Jerónimo, 33, Madrid) [「アラボニー画廊(ブドリート)」]	一九四五年三月一日～五日	・表紙に手書きで須磨の名前(宛名)記入 ・出品リストも一部同封 ・作家本人の名刺一枚も同封(作家が手書きで開幕式典に来るように須磨に催促している)

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
309	出品リスト		12 obras de Angeles Santos[アンジェラス・サントスの十二作品]	Angeles Santos[アンジェラス・サントス]	Estilo * Galeria de Arte (calle de Jovelanos, 6, Madrid)[エストイロ・ギャラリー(マドリール街)]	一九四五年三月一日～五日	・開幕式典への招待状一部も同封
310	展示パンフレット		Exposición Povo[ポボ展]	Francisco Povo[フランシスコ・ポボ]	INTERIOR (calle de Caballero de Gracia, 32, Madrid)[インテリオル画廊(ブドリーダ)]	一九四五年三月二日～七日	・作家の名刺一枚が同封
311	展示パンフレット		Primera exposición colectiva de jóvenes pintores españoles[マヨラン書店画廊第一回グループ展:スペインの若手画家たち]	Alvaro Delgado Ramos[アルバロ・デルガド・ラモス], J. Fin [J. フィン], Luis Medina Castellanos[ルイス・メディナ・カステリャノス], Eduardo Vicente[エドゥアルド・ビセンテ], Javier Vilato Ruiz[ハビエル・ビラト・ルイス], Rafael Zabaleta[ラファエル・サバレタ], Cristino Mallo[クリスティノ・マロ]	Librería CLAN (Arenal 18, Madrid)[クラン書店画廊(ブドリーダ)]	一九四五年三月三日～	・三月三日のオーブニングへの招待状も同封、須磨による書き込み(展示場住所)有り ・出品リストに画廊側で手書きの訂正 ・開幕日のみ記載
312	展示パンフレット		Exposición de pintura: Ramon Estalella[ラモン・エスタレリャ絵画展]	Ramon Estalella[ラモン・エスタレリャ]	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 38, Madrid)[カーノ画廊(ブドリーダ)]	一九四五年三月八日～二一日	・出品リストも一部有
313	展示パンフレット		Exposición: Gabriel Amat[ガブリエル・アマット展]	Gabriel Amat[ガブリエル・アマット]	Galerías Biosca (calle de Génova, 11, Madrid)[リオスカ・ギャラリー(ブドリーダ)]	一九四五年三月八日～二三日	・同一資料計三部
314	展示パンフレット		IIa Exposición de pintura antigua: Escuela española[第二回スペイン古典絵画展]	Juan Carreño de Miranda[フアン・カレリーヨ・デ・ミランダ], Francisco de Goya[フランシスコ・デ・ゴヤ], Antonio Palomino[アントニオ・パロミノ], Luis Tristán[ルイス・トリスタン], Pedro Nuñez de Villavicencio[ペドロ・ヌñez・デ・ビリャビセンシオ], Francisco de Zurbarán[フランシスコ・デ・ズルバラン]	Sala Vilches (avenida de José Antonio, 22, Madrid)[ビルチェス画廊(ブドリーダ)]	一九四五年三月一〇日～	・別紙の招待状も一部有 ・開幕日のみ記載

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
315	出品リスト		Exposición: G. Olivares[「G.オリバーレス展」]	G. Olivares[「G.オリバーレス」]	Sala "DARDO" (avenida de José Antonio, 16, Madrid)[DARDO画廊(「アドリーダ」)]	一九四五年三月一〇日 ～ 二四日	
316	展示パンフレット		Exposición: Pantorba[「パントルバ展」]	Bernardino de Pantorba[「ベルナルデイノー・デ・パントルバ」]	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid)[「マカロン画廊(「アドリーダ」)」]	一九四五年三月一五日 ～ 二八日	・同一資料計二部
317	展示パンフレット		14 obras de Caneja[「カネハの十四作品」]	Juan Manuel Diaz-Caneja[「フアン・ブヌエル・デアス・カネハ」]	Estilo * Galería de Arte (calle de Jovellanos, 6, Madrid)[「エストイロ・ギャラリー(「アドリーダ」)」]	一九四五年三月一六日 ～	・同一資料計二部：うち一部に須磨コレ[No.1742][1743]の書き込み ・開幕式典への招待状(須磨コレ[No.1742][1743]の書き込み)も一部有 ・開幕日のみ記載
318	展示パンフレット		Exposición: F. Nuñez de Celis[「フ.ヌエス・デ・セリス展」]	F. Nuñez de Celis[「フ.ヌエス・デ・セリス」]	Sala Marabini (carrera de San Jerónimo, 33, Madrid)[「アラビーニ画廊(「アドリーダ」)」]	一九四五年三月一六日 ～ 四月四日	・招待状も一部有
319	招待状		Exposición de cerámica de arte[「陶の芸術展」]	Alonso Blat[「アルフォンソ・ブラ」]	Museo nacional de arte moderno, Madrid[国立近代美術館(「アドリーダ」)]	一九四五年三月二四日 ～ 四月一五日	・作家から須磨に宛てた手紙も同封。 来場をお願いする目的で書かれた文面だが、実際に須磨を訪れたかは不明
320	出品リスト		Exposición: Alberto Duce[「アルベルト・ドゥッセ展」]	Alberto Duce[「アルベルト・ドゥッセ」]	Sala Vilches (avenida de José Antonio, 22, Madrid)[「ビルチェス画廊(「アドリーダ」)」]	一九四五年四月二日 ～ 一八日	・展示への招待状一部、開幕式典への招待状一部も同封
321	展示パンフレット		Exposición de pintura y escultura de Daniel Vázquez Díaz y Eva Aggerholm de Vázquez Díaz[「タニエル・バスケス・ディアス・エヴァ・アゲルホルム・バスケス・ディアスの絵画並びにエヴァ・アゲルホルムによる彫刻展」]	Daniel Vázquez Díaz[「タニエル・バスケス・ディアス」], Eva Aggerholm[「エヴァ・アゲルホルム」]	Galerías ASPA (calle de Menéndez Pelayo, 8, Valladolid)[「ASPAギャラリー(「バリキアドリット」)」]	一九四五年四月六日 ～ 二三日	・当館所蔵『須磨彌吉郎の肖像』出品 ・同一資料計二部(片方に書き込みあり)
322	展示パンフレット		19 obras de Pedro Mozos[「ペドロ・モンスの十九作品」]	Pedro Mozos[「ペドロ・モンス」]	Estilo * Galería de Arte (calle de Jovellanos, 6, Madrid)[「エストイロ・ギャラリー(「アドリーダ」)」]	一九四五年四月九日 ～ 二一日	・開幕式典への招待状一部も同封

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
323	展示パンフレット		Exposición de pinturas de Gómez Cano [ゴメス・カーノ絵画展]	Antonio Gómez Cano [アントニオ・ゴメス・カーノ]	Libería CLAN (Arenal 18, Madrid) [タラン書店画廊 (マドリード)]	一九四五年六月四日～ 二二日	・開催年の記載は無いが、本リスト番号三一(同画廊のオープン展)並びに須磨の滞在期間に鑑み、一九四五年の開催とみて相違ない
324	展示パンフレット		Exposición: Enrique Segura [エンリケ・セテラ展]	Enrique Segura [エンリケ・セテラ]	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) [マカロン画廊 (マドリード)]	一九四五年 二月二日～ 三二日	・裏表紙に数字のような書き込み
325	出品リスト		Exposición: Las obras de artistas varios [様々な芸術家による作品展]	一一名の作家による作品計一九点が 並んだ	Salón Cano (carrera de San Jerónimo, 38, Madrid) [カーノ画廊 (マドリード)]	六月一五日～三〇日 (一九四一年か一九四二年のいずれか)	・リスト中、作品タイトルあるいは作者名の横に「1」「2」「3」の数字が書き込まれている
326	作品リスト		Exposición: Carmen R. de Legislina [カルメン・R. デ・レグシム展]	Carmen R. de Legislina [カルメン・R. デ・レグシム]	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) [マカロン画廊 (マドリード)]	三月四日～一八日 (一九四三年か一九四四年のいずれか)	
327	展示パンフレット		Consagración del pintor aragonés: Mariano Barbasan Lagueruela [マリアンの画家: マリアノ・バルバサン・ラゲルエラ展]	Mariano Barbasan Lagueruela [マリアノ・バルバサン・ラゲルエラ]	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) [マカロン画廊 (マドリード)]	一月二六日～二月九日 (開催年不明)	・同一資料計二部
328	招待状		Exposición: José María Torres García [ホセ・マリア・トーレス・ガルシア展]	José María Torres García [ホセ・マリア・トーレス・ガルシア]	Estudios Augustus Films (calle de la Libertad, 24, Madrid) [アウグストゥス・フィルム・スタジオ (マドリード)]	二月二二日～三月五日 (開催年不明)	
329	招待状		Exposición de las obras pictóricas de Jesús Olasagasti [ハスス・オラサガステイ絵画展]	Jesús Olasagasti [ハスス・オラサガステイ]	Salones de la revista Alfonso XII, 26, Madrid [アルフォンソ十二世通り二六番地 (マドリード)]	三月一日～(開催年不明)	・同一資料計二部 ・会場の通称は「Casa de ESCORIAL」
330	展示パンフレット		II.ª Exposición de caricaturas por Córdoba [コルドバによる第二回風刺画展]	Córdoba [コルドバ]	Salones de la Asociación de la Prensa (plaza del Callao, 4, Madrid) [新聞協会サロン (マドリード)]	三月一七日～四月一日 (開催年不明)	・出品リスト部分を見ると須磨の肖像も出品されていたことが分かる

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
331	出品リスト		Exposición: 12 pintores aguafortistas [「二人の画家・エッチング作家展」]	Manuel Benedito [「マヌエル・ベネディート」], Enrique Brañer [「エンリケ・ブラニェル」], Manuel Castro Gil [「マヌエル・カストロ・ギル」], Francisco Esteve Botey [「フランシスコ・アステバ・ボテイ」], José Gutiérrez Solana [「ホセ・タティエラス・ソラーナ」], José Pedro Gil Moreno de Moral [「ホセ・ペドロ・ビル・モレン・テ・モラ」], Francisco Itiguez [「フランシスコ・イニゲス」], Fernando Labrada [「フェルナンド・ラブラダ」], Eduardo Navarro [「エドゥアルド・ナバロ」], Julio Prieto [「ジュリオ・プリエト」], Rafael Pellicer [「ラファエル・ペリセル」], Vicente Santos [「ビセンテ・サントス」]	Asociación de Escritores y Artistas Españoles (calle de Rollo, 2) [「スペイン文筆家・芸術家協会(マドリド)」]	三月一七日～四月五日 (開催年不明)	
332	出品リスト		Exposición de pintura de Ismael Blat [「イスマエル・ブラット絵画展」]	Ismael Blat [「イスマエル・ブラット」]	画家アトリエ(「ブドリード」) (calle de San Marcos, 37, Madrid)	四月一〇日～五月一〇日 (開催年不明)	
333	出品リスト		Exposición: Ricardo Baroja y Carmen Monné [「リカルド・バローハとカールメン・モンネ展」]	Ricardo Baroja [「リカルド・バローハ」], Carmen Monné [「カールメン・モンネ」]	Salones Macarrón (calle de Jovellanos, 2, al lado de la Zarzuela, Madrid) [「マカロン画廊(「ブドリード」)」]	四月一日～二十五日 (開催年不明)	
334	展示パンフレット		Ciudades y paisajes de Alemania por Santiago Escudero [「サンティアゴ・エスクデロが描くドイツの都市景観と風景」]	Santiago Escudero [「サンティアゴ・エスクデロ」]	Salones de exposición: Ediciones Inchausti (calle de Alcalá, 61, Madrid) [「インチャウステイ出版展示スペース(「ブドリード」)」]	四月二四日～五月一五日 (開催年不明)	・同一資料計二部・片方の会期に手書きで修正
335	招待状		Exposición de Pintura: Amparo Palacios Escrivá [「アンパロ・パラシオス・エスクリバ展」]	Amparo Palacios Escrivá [「アンパロ・パラシオス・エスクリバ」]	Hotel Palace (carrera de San Jerónimo) [「パレス・ホテル(「ブドリード」)」]	五月九日～一六日 (開催年不明)	・同一資料計二部 ・出品リスト二枚も有
336	展示パンフレット		Exposición: Miguel Pradilla [「ミゲル・プラダディーリャ展」]	Miguel Pradilla [「ミゲル・プラダディーリャ」]	Salón Acolian (avenida de José Antonio, 1, Madrid) [「アエオリアン画廊(「ブドリード」)」]	二月四日～一八日 (開催年不明)	・同一資料計二部

No.	種別	イメージ	展覧会名	出品作家	開催場所	会期	備考
337	招待状		Exposición de Honor: Masson [「ペーソットにちなむユーモアある展」]	Emili Massot, Fernández [「ヘンリー・マートン・フェルナンデス」]	Sala "DARDO" (avenida de José Antonio, 16, Madrid) [「DARDO画廊(マドリッド)」]	一二月二〇日(開催年不明)	
338	出品リスト		Exposición: Andrés Conejo [「アンドレス・コネホ展」]	Andrés Conejo [「アンドレス・コネホ」]	Estilo * Galeria de Arte (calle de Jovellanos, 6, Madrid) [「ホステイロ・ギャラリー(マドリッド)」]	会期不明	
339	出品リスト		Exposición de pintura del artista eslovaco Vladimír Vestecký [「ウラジーミル・ヴェステニツキー展」]	Vladimír Vestecký [「ウラジーミル・ヴェステニツキー」]	開催場所不明記無し、以下の組織の展示スペースか：Sindicato español universitario [「スペイン大学労働組合」]	会期不明	
340	出品リスト		Exposición de pintura: Lola González [「ローラ・ゴンサレス絵画展」]	Lola González [「ローラ・ゴンサレス」]	Sala "DARDO" (avenida de José Antonio, 16, Madrid) [「DARDO画廊(マドリッド)」]	会期不明	
341	出品リスト		Exposición: Josep Llorens Artigas [「ジュゼップ・リョレンス・アルティガス展」]	Josep Llorens Artigas [「ジュゼップ・リョレンス・アルティガス」]	Estilo * Galeria de Arte (calle de Jovellanos, 6, Madrid) [「ホステイロ・ギャラリー(マドリッド)」]	会期不明	

■パンフレット類の収集期間

本リスト中、開催年月日がわかる展覧会は、最も会期の早いものでマドリードのカーノ画廊にて開催された「プリオ・プリエト・ネスベレイラ(Julio Prieto Nesperera)のエッチング作品展」(会期：一九四一年二月一日～一五日、リスト番号二)、最も遅いものは同市のマカロン画廊で開かれたエンリケ・セグラ(Enrique Segura)展(会期：一九四五年二月二日～三日、リスト番号三二四)となる。実は須磨の記した著作を複数繙くと、彼のマドリード到着日に関しては二通りの記述がみられる。というのも、スペイン滞在の終盤にあたる一九四五年一月から翌年一月にかけて記された随筆「馬德里夜話」ではマドリード着任は一九四一年一月三日となっている一方、その後刊行された『スペイン藝術精神史』及び『夢』では一九四一年三月一日となっている。この日付の差異に対して当館では従来、スペインにて執筆が開始されたことが確実な「馬德里夜話」に基づき、須磨のマドリード駐在期間を一九四一年一月末からの五年間と定めてきた²⁸⁾。前出の二つの展覧会期は須磨の滞在期間に関する当館従来の見解を補強するものとなろう。

リストに列挙された展覧会に関して、開幕日を基準とした開催年ごとの合計は次の通りである。一九四一年は二五件、一九四二年は八四件、一九四三年は七一一件、一九四四年は一〇八件、一九四五年は三六件。須磨は着任当初から美術通としてマドリード内外で広く知られるようになり、かつ自らの判断で作品収集を積極的に行うという人物像がアーティストや画商たちに浸透すればするほど、芸術関連の情報が様々などころから寄せられるようになったことは想像に難くない。あくまで残された資料からのみの算出にはなるが、着任初年と比べて二年目に入手したパンフレット類の総数は三倍以上になっている。かつ数のピークが一九四四年に来ることは、前述の推測に一定程度の妥当性を付与する。

ではなぜその翌年になると数が激減するのか。この事象に対しては明確に一つの答えを見出せる。月別の数を見ると、一九四五年の一月が八件、二月が一〇件、三月が三件、四月が三件、六月と二月がそれぞれ一件となっている。一方で前年は一月が一〇件、二月が一件、三月が七件であるため、年始の三か月間で比べれば目立った差は無い。つまり、一九四五年の四月以降に何が起きたかが焦点となる。事実、この背景には同年四月に日西両国間で生じた重大な外交状況の変化が存在した。そもそも一九四一年の須磨のマドリード着任以降、スペインは第二次大戦における中立国として日本と概ね良好な関係を維持していたが、その一方で開戦直後から日本が占領・統治したフィリピンを巡っては様々な問題が生じていた²⁹⁾。フィリピンは一九世紀末までスペインの植民地だったことから、当時もおスペイン国籍者が多数居住し、同国に経済的な利益をもたらしていた。またスペイン統治時代の文化的遺産も受け継がれていたことから、フィリピン・スペイン間の関係性には特別なものがあつたといえよう。ゆえにフィリピンにおける日本軍の動向は遠く離れたスペインでも日々注視されていた。そのなかで一九四五年二月から翌月初めにかけて起こった「マニラ市街戦」は日西両国間において決定的な出来事となる。スペイン国籍者だけで数え

ても、この戦闘によって約二〇〇人が犠牲になり、市街地にも甚大な被害がもたらされた⁽³²⁾。とりわけスペイン領事館への日本兵による襲撃は日西両国間の当時の関係性を根本から揺るがす重大事件であった⁽³³⁾。これらの帰結として、四月一二日付で日本とスペインの国交は断ち切られることとなる。当時の週刊誌が報じているように、須磨の邸宅でもあった公使館の電話線は全て切られ、彼らの活動にはスペイン側から厳しい監視の目が向けられた⁽³⁴⁾。戦時下における政治的・外交的な状況の変化によって須磨は表立った行動を控えねばならず、社交の場である展覧会への訪問もその例外では無かったはずだ。上記した数の変化は須磨が当時置かれた厳しい状況を物語っている⁽³⁵⁾。彼はまずもって大戦という極めて複雑な状況下に生きた外交官であり、日西両国間の関わりを代表する特命全権公使であった。都度の情勢変化がその行動や生活に大きな影響を及ぼしていたことは言うまでもない。

また、本リストの備考欄には日付を示すスタンプの有無が記されている場合があるが、これについても付言する必要がある。これらのスタンプは全て同じ青紫色で、月を示す言葉としては「JANV」「FEV」「MAR」などフランス語が用いられている。であれば、須磨本人か公使館職員の誰かが既存のスタンプを押印したと考えるのが妥当であろう。押印された日付に関しても、パンフレットが案内している展覧会の開幕前あるいは開幕式典前のものが散見されることから、これらのスタンプが開幕時期や鑑賞日を示すために打たれていないことは明白だ。一方でスタンプの押印は遅くとも一九四一年五月九日に始まっており、須磨が作品収集を始めてからは時間的なラグが認められる。これらの事柄を総合すれば、次のような仮説を立てることができよう。すなわち、これらスタンプが打たれた資料は公使館への郵送か、あるいは何らかの手段で須磨のもとへ届けられ、それを受け取った後に本人か彼の部下が記録用として日付を打ったというものである。ともあれ、このスタンプが各資料の入手日を示すものであるかどうか結論付けるためには更なる調査が求められる。

■パンフレット類記載の展示会場

前出の随筆「馬德里夜話」で須磨は「馬德里には、マカロン、ヴェルチエス、カノ、マラビニ、ピオスカ、エステル、クラン、アエオイアン、ダルド、エスコトアルといったやうなものがありその他公の建物で近代美術館、外務省階下陳列室、美術館(Circo de Bellas Artes)、新聞協會陳列室といったやうな所も展覧會に利用される」と記している⁽³⁶⁾。本稿リストを一瞥すれば、この記述内で紹介される場所は、パンフレット類が示す展示会場の多くに該当することがわかる。以下、須磨による表記に対応させる形で主な会場を列記する。

・「マカロン」⇓マカロン画廊(マドリッド、ホベリャーノス通り二番)

- ・「ヴェルチエス」↓ビルチエス画廊(マドリード、ホセ・アントニオ通り二二番)
- ・「カノ」↓カーノ画廊(マドリード、サン・ヘロニモ通り三四番と三八番)
- ・「マラビニ」↓マラビニ画廊(マドリード、サン・ヘロニモ通り三三番)
- ・「ピオスカ」↓ピオスカ・ギャラリー(マドリード、ヘノバ通り一一番)
- ・「エステル」↓エステイロ・ギャラリー(マドリード、ホベリヤノス通り六番)
- ・「アエオイアン」↓アエオリアン画廊(マドリード、ホセ・アントニオ通り一番)
- ・「近代美術館」↓国立近代美術館(マドリード、カルポ・ソテロ通り二〇番)
- ・「美術會館」↓マドリード美術協會(マドリード、アルカラ通り四二番)
- ・「新聞協會陳列室」↓新聞協會サロン(マドリード、カリヤオ広場四番)

既に明らかのように、現存するパンフレット類のほとんどがマドリードの展示施設で開催された展覧会に即して印刷されたものである。バルセロナの重要な画廊の一つであるライアタナス・ギャラリー(Galeríes Laietanes)で開催されたホセ・デ・ラバイエセ(José de Lapayese)展のパンフレット(リスト番号五八)など、他都市で開催された展覧会の資料も複数残ってはいるが、やはり日本公使館が所在したマドリード中心部に位置する展示施設に係るものが大部分を占めている。当時の公使館はミゲル・アンヘル通り二五番にあり、いずれの展示会場も須磨が公務の傍らで赴くのに大きな負担のない立地だったと考えられる。また彼は毎朝、公使館から4km以上離れたカサ・デ・カンポの緑地まで散歩に出ていると述懐するなど、その健脚ぶりを伺える逸話は数多い。そうした記述に照らしても各施設との距離感に心理的な負荷を感じてはいなかったであろう。

ただし、展覧会場に関して本リストが持つ上記の傾向を、単に距離的な近さのみ起因すると捉えるのはいささか早計かもしれない。というのも、当時のマドリードの芸術シーンとりわけ絵画・彫刻分野の形成に大きく貢献をしていた画廊の名がちんとおさえられているのである。当時既に老舗であったマカロン画廊に加え、カーノ画廊やピオスカ・ギャラリーなどは個人経営でありながら意欲的に展覧会を打ち出していた⁽³⁸⁾。なおかつ、パンフレットに記載される挨拶文や批評の多くが、ホセ・フランセスやセシリオ・バルベランをはじめとしてその頃のマドリードで批評家として活躍した人物によって著されており、なかには展示の関連企画として彼らによる講演が開かれたケースもある。こうした展示の場で須磨は造形芸術と文芸の第一線に触れることができた。彼の行動圏域は紛れもなく当時のマドリードにおけるアートシーンの中核に重なっていたといえよう。

■ 収集過程再構築のための事例

本稿リストの作成にあたっては作家本人の手書きコメントを含んだ招待状や名刺など、展示パンフレットに付属する様々な関連資料も確認することができた。ここでは須磨の収集過程を辿るために有効な二つの事例を紹介する。

① 展覧会に際した作家からの購入

須磨が親交を深めた作家から作品を購入したケースに関しては、複数の具体的な事例が先行研究で指摘されてきた³⁹⁾。須磨自筆の作品台帳および作品アルバムには⁴⁰⁾、作者から購入した旨が記されている場合が少なくなく、いかなる作品がそれに当たるかは当該文書を細くことでおおよそ知ることができる。ただし、実際に作家と取り交わした書簡や領収書など複数資料を横断して購入過程を再考できるケースは、資料が残されているかどうかとその成否に関わるため、稀有な事例に位置付けられる。

この文脈で、一九四五年一月二日～三日にマカロン画廊で開催されたギリエルモ・バルガス・ルイス展(Exposición: Guillermo Vargas Ruiz)に係る資料一式(リスト番号二八九)は貴重な情報源となった。まず招待状⁴¹⁾を参照したい。ここで踏まえるべきは本状が一月二日午後六時から始まる展覧会の開幕式典への参加を促すもので、ゆえにその日より前に須磨に手渡された可能性が高いこと、そして会期情報が明記されているということである。次いで、展覧会場で配布されたと思しき出品リスト⁴²⁾を見ると、同リスト一五番の作品タイトルに須磨の手書きで修正が付け加えられていることがわかる。おそらく会場内で作家や関係者あるいはキャプションから知り得たであろう情報をもとに、「Mercado Madrileño」から「Vista Madrileño」に改められている。何らかの理由で出品作の入替があったのかもしれない。この二点の資料から、須磨が少なくとも会期中に会場へ赴いて作品を見ることが指摘できるわけだが、この見方の妥当性をより高めるのが領収書⁴³⁾の存在である。マカロン画廊のレターヘッドが印刷された封筒上部には「200ペセタ(Plus 200'000)」の下には「日本公使閣下宛」とある。中には一通の文書が納められ、そこには同画廊で最近催された展示に並んだ「マドリード眺望(Vista de Madrid)」というタイトルの絵画の代金として須磨から200ペセタを受け取ったということが、一九四五年一月十七日の日付とともに記されている。「G. Vargas」という署名があることから、受け取ったのは作家とみて相違ない⁴⁴⁾。仮に画廊側の仲介があったとしても領収書の内容に鑑み、作家からの直接購入の事例と捉えてよいかと史料する⁴⁵⁾。

また、いずれの資料にも手書きで「No. 1698」の文字が記されたが、この番号は須磨自作の目録と台帳に対応している。当目録あるいは台帳の作成にあたって、作品の関連資料にも同じ番号が振られたようだ⁴⁶⁾。この台帳には作品の基礎情報がまとめられており、当然ながらそこにも購入記録が残されている。『馬德里集』第二八卷S「No. 1698」の部分(igs. 5, 6)には以下の通りの筆記がある⁴⁷⁾。

1698・ Vista de Madrid. (Tabla) 200 / Guillermo Vargas Ruiz 500 / Exposición / Salones Macarron.



fig. 3 ギリエルモ・バルガス・ルイス作品購入に係る領収書(封筒)



fig. 1 ギリエルモ・バルガス・ルイス展開幕式典招待状

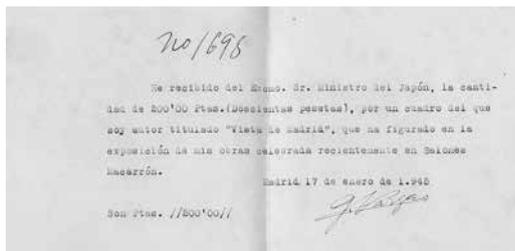


fig. 4 ギリエルモ・バルガス・ルイス作品購入に係る領収書



fig. 2 ギリエルモ・バルガス・ルイス展出品リスト

須磨は台帳作成にあたって本作に500ペセタの評価額を付けた。購入金額が200ペセタのため、ここに赤鉛筆で記されている数字(この場合は500)が評価額だと解される。作家名の下には「Exposicion」とあり、この購入が展示に際したものであることも示された。さらに①の箇所には当該の展示情報が記されたが、ここで一つ留意すべき事柄が生じている。すなわち、須磨は本作購入のタイミングを複数挙げているのである。上段では「一九四五年一月一日〜二月一日にマカロン画廊」で開かれた展示、下段には「同画廊で一月二日〜二三日」の間に開催された展示とある。実は「一九四三年一月一日〜二月一日にもマカロン画廊で同画家の個展が開かれており(リスト番号一一五)、本台帳作成時に両展示が混同されていた可能性が⁴⁵⁾ある。一九四三年の展覧会パンフレットの出品リスト中、タイトルから判断するにマドリードの眺望を描いた作品が一つも含まれていないことが裏付けとなる⁴⁶⁾。

このように複数の資料内容を横断的に吟味していくことで、作品収集の過程に関するより具体的な仮説を検討することが可能となる。そして、こうしたケーススタディを重ねることで、帰納法的に作品の購入過程を浮き彫りにしていくことができるのではなからうか。そこにコレクター・須磨彌吉郎の足取りを辿るための一つの道筋が残されているように思われる。実のところ、ここで話題にした絵画《マドリード眺望》は当館所蔵の須磨コレクション約五〇〇点のうちに含まれていない。しかし、須磨が残した図版付きのアルバム『ARTE』に掲載されているモノクロ写真を通して、我々はその画面に迫ることができる⁴⁶⁾。これまで見てきたように、須磨は美術作品の収集活動において自ら目録、台帳、アルバムを作成し、さらには展覧会資料の保管も行った。これらのうちどれか一つをとっても相当な仕事量だったことは容易に想像でき、なればこそ後世に残されたこれらの資料類は我々に須磨のコレクターとしての真摯さと矜持を伝えてくれるのである。

② 批評活動に即した作品収集

本稿リスト番号一一〇の資料『美術批評短期アカデミー…第一回サロン・デ・ロス・オンセ』は、須磨彌吉郎が創設会員の一人となった美術批評短期アカデミー(Academia Breve de Crítica de Arte)が主催したグループ展「サロン・デ・ロス・オンセ」の第一回展のパンフレットである。この資料は単なる出品リストではなく、各出展作家に関する批評文も掲載しており、そこには須磨の著したテキストも含まれている。同アカデミーの活動内容の一端を知ることができる資料として、かつ須磨の批評活動の一端を明かすドキュメントとして貴重なパンフレットといえる。

美術批評短期アカデミーはスペイン文学界・批評界の重鎮であったアウジェニ・ドルス(一八八一―一九五四)が主導して、当時保守的だったマドリードの芸術界に一石を投じるべく結成された。松田健児

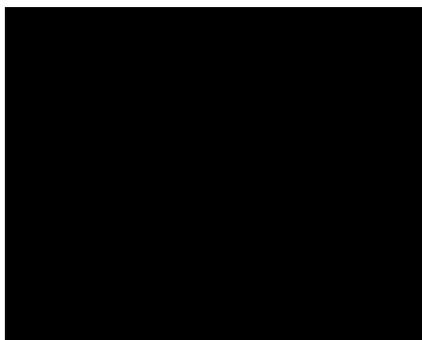


fig. 8 ギリエルモ・バルガス・ルイス《マドリード眺望》
1945年頃、油彩・板、所在不明

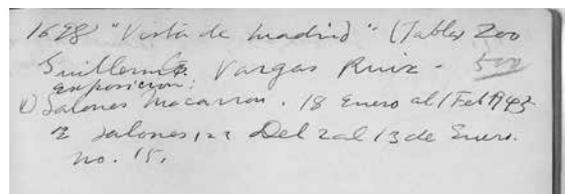


fig. 5 『馬德里集』第28巻「No. 1698」
ギリエルモ・バルガス・ルイス作品の購入記録



fig. 7 ギリエルモ・バルガス・ルイス展(マカロン画廊、会期: 1943年1月18日~2月1日)
パンフレット出品リスト頁



fig. 6 『馬德里集』第28巻表紙

氏は、須磨の同アカデミーとの関わりを論じた際、ドルスは同アカデミーを組織して保守的な枠組みにとられた当時のスペイン芸術界を刷新することを目指していたと述べている。またバレリアノ・ボサル氏によれば、このアカデミーの活動趣旨として、スペインにおけるモダンアートの牽引と普及、それに係る出版事業、展覧会や講演会の開催が明文化されていたようだ。新たな規範や価値観を創出することを志向していたために、スペインのみならず東洋の芸術にも造詣の深い須磨が創立メンバーに選ばれたのかもしれない。ドルスと須磨は終始良好な関係にあったようで、須磨は著書『夢』において次のように述べている。

「西班牙国随一の哲学者で、世界の斯界に高名を馳せてゐるエウヘニオ・ドールス先生に岡倉覚三の『茶の本』を西語訳したものを贈ると抹茶の始末を再読玩味した上、訪れて、東洋の心意気は実は茶を味ふといふ目的よりも、それに到る迄の清楚な道程を楽しむことが水解されて一層の敬意を表するといつてくれた。それには、流石世界第一流の思想家ドールス先生だと思はされた。同時に先生は私達と共に、芸術批評学会を創設してゐた矢先であつたから：〔以下略〕」

この引用中の「芸術批評学会」とつまり美術批評短期アカデミーは、須磨が足繁く通ったギャラリーの一つとして前記したビオスカ・ギャラリーを主たる活動場所としていた。同アカデミーが発足して最初に企画した展覧会は画家イジドラ・ヌネイ（一八七二—一九一一）の個展であり（リスト番号八四）、ビオスカ・ギャラリーがその会場となつた。展示パンフレットにおいてドルスは、「世界におけるポスト印象主義絵画の歴史はセザンヌと共に始まった。そしてスペインにおいてはヌネイと共に始まる」と記している。ヌネイは同時代にバルセロナに集つた芸術家、とりわけ若き頃のパブロ・ピカソから敬愛された画家であつた。ドルスは、同国における絵画芸術の近代性の源流としてヌネイを捉えていたのである。このギャラリーにおいて、須磨はドルスに加え、同アカデミー会員のホセ・カモン・アスナルやエンリケ・アスコアガといった美術史家及び批評家とも親交を深めていった。例えば、ドルスと須磨の温かな関係性を示す資料として、須磨宛に出された一九四三年のクリスマスカードがある。そこには次のようにびっしりと手書きでテキストが記されている。

HAIKAI / PARA EL CENICERO RECIBIDO / DE S. E EL PLENIPOTENCIARIO DEL JAPÓN

¡Dichoso cigarrillo, el que el fuego consume / Dulcemente tendido, allí donde está el nombre / De Yakichiro Sumal / Eugenio d'Ors / Navidad de 1943

「HAIKAI(俳諧)」と称されたこの文面はその題字通り、須磨がドルスに贈つた灰皿に捧げられている。既に一九二一年、ドルスは自作の「HAIKAI(俳諧)」を「La Libertad(自由)」紙に発表していた。予てより培われた俳句に係る知識を彼なりに咀嚼し反映したためか、各行とも大文字の「D」で始められ、「consuma」と「Suma」で韻が踏まれている。二人の間で交わされた粹なやり取りを示す資料といえるだろうか。

このカードが須磨に渡された一九四三年、美術批評短期アカデミーはその特異な試みとして「サロン・デ・ロス・オンセ」を始めた。このサロンはその名の通り、一人一人のアカデミー会員がそれぞれ一人ずつ

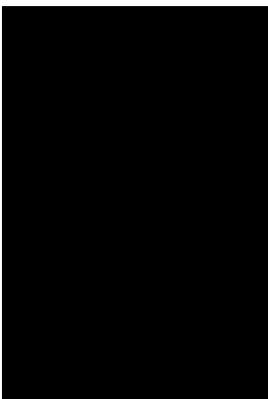


fig. 11 エドゥアルド・ビセンテ(サロン・デ・ロス・オンセ第2回展(1944年))1944年、油彩・カンヴァス、長崎県美術館

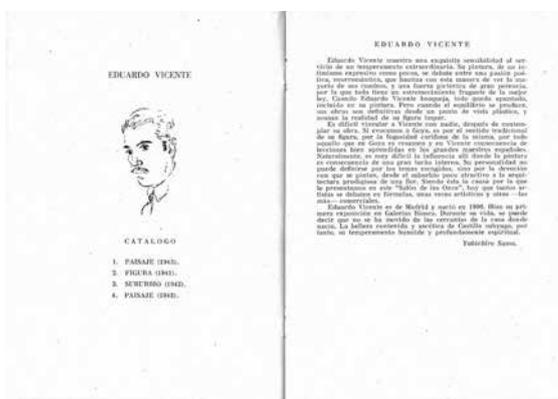


fig. 10 「美術批評短期アカデミー：第1回サロン・デ・ロス・オンセ」展パンフレット：須磨による批評文の掲載頁

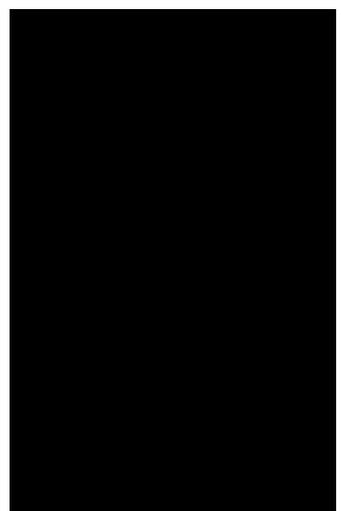


fig. 9 ドルスから須磨に送られたクリスマスカード(1943年)

現代作家を推薦して、一つのグループ展をなすというものであった。第一回目のサロンで須磨は画家エドゥアルド・ビセンテ(一九〇九—一九六八)を推挙、彼に関する批評文を当該のパンフレットに寄稿している(註10)。翌年、同サロンの第二回目(リスト番号二五九)でも須磨はビセンテを推薦した。同画家は以後もビオスカ・ギャラリーで個展の機会に恵まれるなど、マドリッド画壇でのキャリア形成に須磨が大きく貢献したことが窺える。当館所蔵の須磨コレクションにはビセンテの油彩画(註11)が一点含まれている。一九四四年の第二回「サロン・デ・ロス・オンセ」の開催に際して描かれた本作に関し、須磨は台帳で「一九四四年」の「展観御礼として作者寄贈」と記しており(註12)、作品内容に鑑みれば、須磨がビセンテをサロンへ推挙したことのお礼として本作が寄贈された可能性が指摘できる。寄贈であるため、台帳には2500ペセタという評価額のみが示されているわけだ。また、このサロンにて須磨がビセンテと話し合っているところを捉えた写真(註13)も存在する。本事例は須磨が批評家として活動するなかで特定の作家と懇意になり、その関係性の中で作品収集に至っているという意味で重要なケースに位置付けられよう。

結語

本研究では、須磨彌吉郎がスペイン・マドリッド駐在時に入手した膨大な資料のうち、展覧会パンフレット類一式に焦点を当てて一覧化した。上述の通り、現存する当該資料群を特定の観点から整理することで、個別に保管されていた資料の一つの体系を付与できたと思料する。ただし、今後調査を深めるなかで同種の新たな資料が発見される可能性が大いにあるため、本稿リストはあくまで向後の研究のための素地の一つに過ぎないということを言明しなければならぬ。都度の内容更新に加え、展覧会パンフレット以外の資料―書籍、新聞記事の切り抜きや写真資料など―に関しても同様に整理した上で体系立てていきたいと考えている。こうした資料を横断的に参照・活用することで須磨による美術作品収集の実相にさらに迫ることができるとは思われる。本稿では、限られた数ではあるが、そのためのケーススタディも試みた。一つ一つの資料を有機的に結びつけるなかで、須磨の収集活動や行動圏域がさまざまな人々とのネットワークのなかで築かれたものであることも見えてくるだろう。本稿が美術作品収集家としての須磨彌吉郎の実像を浮き彫りにするための一助となるのであれば幸いです。

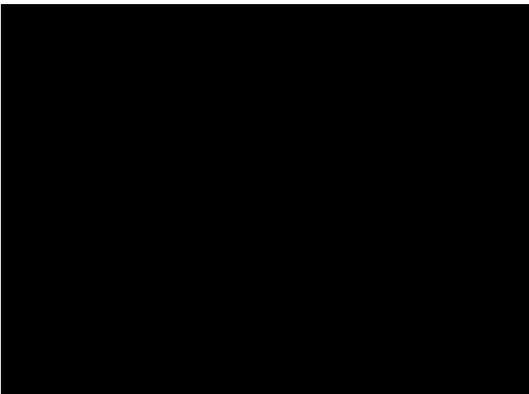


fig. 13 サロン・デ・ロス・オンセ第2回展の会場(ビオスカ・ギャラリー)にて話し合う須磨とビセンテ(須磨彌吉郎作成の写真アルバムより抜粋) 須磨家提供

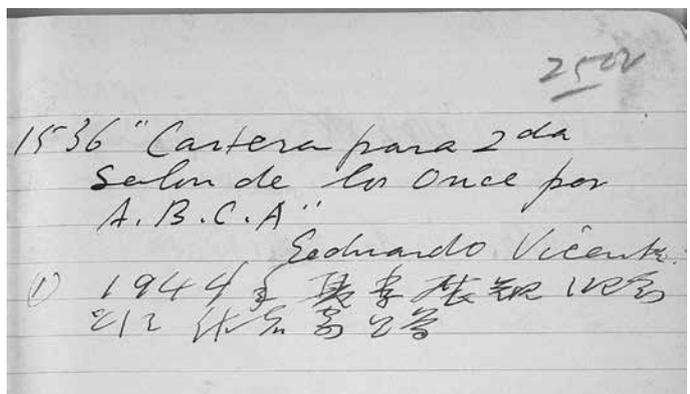


fig. 12 『馬徳里集』第22巻[No. 1536] エドゥアルド・ビセンテ作品の購入記録

* fig. 1-7, 9, 10, 12, 13の資料はいずれも須磨家提供

註

- (1) 須磨自作の目録によれば、現地で形成されたコレクションの総数は一七六〇点を数える：Yakichiro Suma, *Catálogo de Colección Suma* (作成年不詳であるが、内容に鑑み帰国後の一九四六年以降と考えられる)。ただし、一九四三年八月一日にマドリッドで刊行されたABC紙(日刊)にて、美術批評家セシリオ・バルベラン(Cecilio Barberán)は当時の日本公使館では二四〇〇点以上にも及ぶスペイン美術の作品群を見る)とがであると記述している。Cecilio Barberán, *Horas de domingo: Yakichiro Suma, ministro del Japon en España, embajador de nuestro arte en oriente*, ABC, 15/08/1943. 上記の点に鑑み、往時のコレクションの総体については引き続き以下の調査が必要であると思料する。
- (2) 二〇二三年三月時点。詳細は以下：長崎県美術館編『長崎県美術館所蔵 須磨コレクション総目録二〇〇五』長崎県美術館、二〇〇五年。
- (3) 長崎県(他)編『長崎開港四〇〇年記念スペイン美術巨匠展』(展覧会図録)、長崎県、長崎開港四〇〇年記念実行委員会、テレビ長崎、読売新聞社、一九七〇年。以下文献によれば、本展は東京、山口、新潟、岩手、熊本、長崎と全国六会場で開催された巡回展であった。徳山光『須磨コレクションについて』大高保二郎監修／福満葉子編『よみがえる須磨コレクション—スペイン美術の五〇〇年』(展覧会図録)、長崎県美術館、二〇〇五年、二七五頁。
- (4) 一九七〇年度の寄贈について詳細は以下参照：安永幸二『須磨コレクションについて』長崎国際文化協会編『長崎文化』二八号、長崎国際文化協会、一九七〇年一月。
- (5) この流れについては以下参照：徳山、前掲論文、二〇〇五年；Kenji Matsuda, "Yakichiro Suma. El ministro plenipotenciario y la crítica de arte español," Miguel Cabanas Bravo, Annela Lopez-Yarbo Elzalde, Wilfredo Rincón García (eds), *Arte, Poder y Sociedad en la España de los siglos XV a XX*, 2008, pp. 687-697. 各作品の修復作業や調査研究の進展に伴い以下のカタログが作成された。神吉敬三・越宏一監修『須磨コレクション—スペイン美術』長崎県立美術館、一九八〇年。また、一九九五年に須磨家から大規模な寄贈を受けたのに際して、次の展覧会が開催された。長崎県立美術館編『新須磨コレクション』(展覧会図録)、長崎県立美術館、一九九五年。
- (6) 前掲図録、長崎県美術館、二〇〇五年。本展に先駆けて、大高保二郎氏を中心にスペイン・ラテンアメリカ美術史研究会による大規模な作品調査が実施された。
- (7) 例えば以下：徳山、前掲論文、二〇〇五年；Matsuda, *op. cit.*, Madrid, 2008；森園敦『須磨コレクションについて』(坂東省次・川成洋編『日本・スペイン交流史—れんが書房新社、二〇一〇年、一九〇—二〇七頁；森園敦『第二次世界大戦における外交官・須磨彌吉郎による美術品収集—作品台帳『馬德里集』からみえる人間関係を中心に』美術フォーラム二二 特集 イスバニア世界と日本—マクロとミクロの往還『美術フォーラム二二、二〇二二年、八一—八八頁。森園氏は上記二〇一〇年発表の論考において、須磨が保管していた展覧会パンフレット類への参照が彼の収集実態を辿るために有益であることを示唆している。
- (8) 前掲した二〇〇五年の長崎県美術館での展覧会図録に加え以下など：メルセデス・アゲダ・ピリヤール著／小倉康之・楠根圭子訳『須磨コレクション調査報告書(一)』長崎県美術館研究紀要No. 9、二〇〇九年、四七—六四頁；メルセデス・アゲダ・ピリヤール著／久々湊直子・諸星妙訳『須磨コレクション調査報告書(二)』長崎県美術館研究紀要No. 3、二〇一〇年、三五—五四頁；ピクトリア・チコ・ピカサ著／豊田唯訳『須磨コレクション調査報告書(三)』長崎県美術館研究紀要No. 4、二〇一一年、七一—四頁；ヘスス・グティエレス・ブロン著／豊田唯訳『須磨コレクション調査報告書(四)』長崎県美術館研究紀要No. 5、二〇一二年、五一—

一五頁・楠根圭子「須磨コレクションNo. 六二二―六二五の主題に関する考察―十五世紀スペインにおける聖ニコラウスの画像について」前掲当館紀要、二〇一〇年、九―一八頁・川瀬佑介「須磨コレクションのスペイン近代絵画三作品に関する調査報告」前掲当館紀要、二〇一二年、一七―二四頁。

(9) 例えば以下・森園敦「現在所在の確認ができる旧須磨コレクション」前掲図録、長崎県美術館、二〇〇五年、二七九―二八三頁・森園敦「須磨コレクションの返還歴―スペイン時代の友人ルイス・ニエトからの書簡をもとに」鹿島美術研究「年報第三一号別冊、鹿島美術財団」二〇一四年・Alvaro Fernández Mercado, "A paso de cangrejo, el rastro documental de la colección de Yakichiro Suma en el museo cerralbo," *Estuco. Revista de estudios y comunicaciones del Museo Cerralbo*, No. 3, 2018, pp. 44-96.

(10) 例えば以下・須磨彌吉郎著『馬德里夜話』一九四五年一月―一九四六年一月。本随筆については残された原稿を一九九五年に須磨未千秋氏が判読の上、活字化に至っている。筆者は以下図録所収のものを参照した。前掲図録、長崎県美術館、二〇〇五年。また当時刊行された次のインタビュー記事で、須磨は蚤の市に頻繁に通っており、展覧会には「すべて」顔を出していると答えている。『*Qué hizo usted ayer? S. E. el ministro del Japon en España, Yakichiro Suma, Digame, Madrid, 18/01/1944.*』

(11) 須磨本人ないしはそのコレクションに関わりのある出品作家として、ダニエル・バスケス・ディアス、マリانو・ベンユレ、パレンティン・デ・スピアウレらが名を連ねている。

(12) サンティアゴ・ルシニョル、ラモン・カザス、ルイス・グラネル、エリゼウ・メイレン、ラモン・マルティ・アルシーナ、ジュアキム・ミールら、生前既にカタルーニャ内外での評価を確立していた作家による作品に丸印と売価を記入している。この機会に須磨が実際に購入したかどうかについては更なる調査が待たれる。

(13) マヌエル・ベネデイト、マリانو・ベンユレ、アウレリアノ・ベルエーテ、アンヘル・リスカーノ、アントニオ・ムニョス・デグライン、イグナシオ・ピナソ、エミリオ・サラ、ホアキン・ソローリヤ、ラモン・デ・スピアウレ、パレンティン・デ・スピアウレら須磨コレクションに関わりのある作家も多数出品した。

(14) 須磨がリスト部分でチェックマークを入れている作家は以下・ジャン＝フランソワ・ミレー、ピエール・ボナール、エドゥアール・ヴューイヤール、アンリ・マティス、ラウル・デュフィ、モーリス・ユトリロ、エドガー・ドガ、マルティ(Marty)

(15) パラモ宛ての書面が同封されていたこと、かつパラモの素描が一点出品されたこと、パンフレットに須磨本人のメモが残っていることに鑑み、以下のように推定できる。すなわち本資料は当初パラモの手であり、その後、知人であり懇意の取引相手の須磨に手渡した。本展にはリカルド・パローハやソラーナをはじめ須磨のコレクションに含まれる作家の作品が複数出ていることから、これを機に須磨に何らかの示唆を与えようとしたのではないか。またパラモについては次の文献を要参照・森園、前掲論文、美術フォーラム二一、二〇一二年。

(16) 須磨本人の書き込みに関して、パローハの油彩出品リストの横に須磨コレクションの番号「no. 1413」「no. 1420」が記されている。「no. 1413」の書き込みが当展出品作の『朝霧(Mañana de niebla)』に「no. 1420」が『レコレトス(Reculetos)』に対応。ただし、長崎県美術館が所蔵する「no. 1413」作品は一九四三年制作であることがわかっているため、一九四二年春季開催の本展への出品には疑義を呈さねばならない。一方、後者の『レコレトス』については同じく当館所蔵作品であり、一九二六―三〇年頃の制作と考えられるため、当展に出品されていた可能性は残る。

(17) 本展示では、マリア・フランチャール(Maria Blanchard)をカンポ・アランへ伯爵夫人(Condesa de Campo-Alange)が、ヘドロ・ブエノ(Pedro Bueno)をエンリケ・アスノアガ(Enrique Azcoaga)が、藤田嗣治をAサレガ・フォンボナ(A. Zarega Fombona)が、グ

ラウ・サラ(Lrau Sara)をアウジェニ・ドルス(Eugeni d'Ors)が、ペドロ・モソス(Pedro Mozos)をカルロス・フランコ・ソレル(Carlos Blanco Soler)が、ヘスス・オラサガステイ(Jesús Olasagasti)をホセ・マリア・アルファロ(José María Alfaro)が、ペドロ・ブルーナ(Pedro Pruna)をホセ・デ・バウエラ(Infante de Baviera)が、オルガ・サチャロフ(Olga Sacharoff)をホセ・カモン・アスナール(José Camón Aznar)が、エドゥアルド・ビセンテ(Eduardo Vicente)を須磨が、ラファエル・サバレタ(Rafael Zabaleta)をリス・フェリペ・ビバンコ(Luis Felipe Vivanco)が、マノロ・ウゲをエドゥアルド・リョセント(Eduardo Llorent)が推薦している。

(18) ここに寄せられた須磨の批評文は以下である。

「エドゥアルド・ビセンテは並外れた表現力の赴くままに洗練されて優雅な感性を見せてくれる。彼の絵画は、少なくとも内面描写を重視する表現で、詩的で新ロマン主義的な情熱と大きな可能性を秘めた絵画的な力強さの間で格闘している。その情熱は彼のほとんどの作品に対する見方に洗礼を与えるものである一方、前述の力強さゆえにすべての作品は最上級の芳しい震えを持っているのだ。エドゥアルド・ビセンテが描くとき、すべてが形にとどめられ、絵画に含まれる。ところが、画面に均衡性が生じる際、彼の作品は造形的な観点から決定的なものになり、そして比類なきイメージの現実性が示されるのである。

ビセンテの作品をじっくり見た後に、彼を他の作家と結び付けるのは難しい。もし私たちがゴヤを想起するとすれば、それはビセンテの描く姿形を持つ伝統的な感覚によって、それらイメージの温かな熱情によって、さらにはゴヤに要約されるもの、つまりスペインの偉大な巨匠たちからビセンテが良く学んだことの帰結によって、ということになる。当然、絵画が内なる格闘の結果であるところでは、影響関係というのは措定するのが難しい。彼の個性を既存のテーマから定義するのは不可能だが、取るに足らない郊外の風景や華々しい建築に至るまで、描かれたものに寄せられた愛着からそれを推し量ることはできる。この「サロン・デ・ロス・オンセ」で彼を紹介する理由がここにあり、今日ではそのような芸術家たちはある時には芸術的な枠組みのなかで、またある時一むしろそれより多くの場合―には商業的な方策の中でもがいているのだ。

エドゥアルド・ビセンテは一九〇〇年「正しくは一九〇九年」の「マドリッド」に生まれた。初めての展覧会をビオスカ・ギヤラリで開催。生涯においてずっと、生家の近郊地域から居を移していないという。カステイリヤの抑制された禁欲的な美しさ、それゆえ、彼の慎ましく、深く精神的な気質を支配しているのだ。」

(19) 出品作家のうち、特に須磨コレクションに関連する作家はルイス・デ・ラ・クルス・イ・リオスである。同コレクションの一九世紀美術における白眉の一つ《フェルナンド七世の肖像》(一八二八年、油彩・カンヴァス(須磨コレクションNo.85))を描いた。

(20) ソラーナ、バスケス・ディアス、バレンティン・デ・スピアウレラ須磨コレクションに含まれる作家も複数出品していた。

(21) 会場名と会期ともに本資料に記載は無いが、以下文献に須磨が開幕式典に出席している様子がうつる写真が掲載されている。そこでの情報に基づき、本リストに情報を追加：Arturo Colorado Castellar, *Arte, renuncia y propaganda, la instrumentalización franquista del patrimonio durante la Segunda Guerra Mundial*, Ediciones Cátedra, Madrid, 2018, p. 382.

(22) 本展にて須磨が傍線を引いて関心を示した作家としては以下：ラウル・デュフィ、マグダレナ・ルロー(Magdalena Leroux de Pérez Comendador)、アンドレ・ロート(Audre Lhote)、アンリ・マティス、モリス・ユトリロ、エドゥアル・ウエイヤール。

(23) 本資料については既に以下の論考で参照され、須磨と作家本人の直接的な関わりが指摘されている：森園、前掲論文、二〇一〇年、一九九頁。

(24) 展示会場のカシーノ・デ・マドリッドはマドリッドの高級社交クラブ。この場所について、およびベネディートと同クラブの関わりについては以下参照：川瀬、前掲論文、二〇二二年。

(25) 須磨は前回と同様、エドゥアルド・ビセンテを推薦した。

- (26) 前掲図録、長崎県美術館、二〇〇五年、二八四頁。
- (27) 須磨彌吉郎著『スペイン藝術精神史』みすず書房、一九四九年、三頁・須磨彌吉郎著『夢』寶雲舎、一九四九年、二〇二頁。
- (28) 森園、前掲論文、二〇二一年、註四。
- (29) 須磨彌吉郎著『外交秘録』商工財務研究会、一九五六年、二二四―二二五頁。
- (30) 着任後一年にも満たない時期である一九四一年一月に発行された雑誌にて須磨の絵画収集が「三〇〇点以上の絵画」という小見出しと共に紹介されている：Rafael Salazar Soto, *La colección pictórica del ministro del Japon en Madrid*, *Mujer*, Madrid, Nov. 1941. またその約四か月後には別の雑誌にて「一〇か月で四〇〇〇点の絵画を収集」たの見出しで須磨の絵画コレクションが紹介されている：Manuel Rodríguez de Ruíz, *S. E. el ministro del Japon en España, ha adquirido 400 cuadros en diez meses*, *Mision*, Madrid, 21/02/1942. これらの記事からその絵画収集の素早さが窺い知れる。
- (31) 第二次大戦期における日本・スペイン間の外交関係について以下参照：ゲルハルト・クレープス著／田島信雄・井出直樹訳「第二次世界大戦下の日本ロスベイン関係と諜報活動(二・完)」『成城法学』六四号、成城大学法学会、二〇〇一年、二二七―二六八頁。
- (32) クレープス、前掲論文、二〇〇一年。
- (33) 本事件並びにこれがもたらした両国間の関係変化については以下参照：荒沢千賀子「第二次世界大戦中立国スペインの戦争被害：国交回復交渉と「対日請求問題」―外交史料館公開資料から」『マテシス・ウニヴェルサリス』第二〇巻(第二号)、獨協大学国際教養学部、二〇一九年、九五―一二八頁。
- (34) *España rompe sus relaciones diplomáticas con el Japon*, *Semana*, Madrid, 17/04/1945.
- (35) 「馬德里夜話」の冒頭で須磨は「断交閑居」と述べており、これは断交以降の職務並びに行動を要約した言とみなせる。同随筆が掲載されている当館の二〇〇五年図録では「断交閑居」となっているが、文脈吟味と原文参照の上、「閑居」を正としたい。また、当時マドリード公使館で書記生として働いていた林屋永吉氏は一九四五年四月以降、籠るように公使館で生活した旨を話している：林屋永吉氏インタビュー(日時：二〇一〇年一月二四日、聞き手：大高保二郎氏、川瀬佑介氏)。筆者の内容把握は川瀬氏作成の書き起こしによる。
- (36) 前掲図録、長崎県美術館、二〇〇五年、二八六頁。鍵括弧内引用は原文ママ。
- (37) 前掲図録、長崎県美術館、二〇〇五年、二八七頁。
- (38) Valeriano Bozal, *Pintura y escultura españolas del siglo XX (1939-1990)*, *Summa Artis*, XXXVII, Madrid, 1992, p. 32.
- (39) 例えば以下：徳山、前掲論文、二〇〇五年、二七三―二七四頁；Matasuda, *op. cit.*, Madrid, 2008, p. 689；森園、前掲論文、二〇一〇年、一九六―二〇〇頁。
- (40) 作品台帳は「馬德里集」と題され、全二八巻を数える。作品のタイトルやサイズ、来歴や入手に至った経緯、表現内容の美術史的な

特徴など記述内容は多岐にわたる。一方のアルバムは「ARTE」と題され、作品の図版および基礎情報が示されているが、特に留意すべきは日本へ帰還した後の作品来歴が記されていることである。日本国内に存在する須磨コレクションの総体を知る上では欠かせない資料といえる。当館では須磨家の「厚意」により二〇一〇年以降、全台帳と「ARTE」の一部のオリジナル資料を預かっている。

(41) 当該文中には「un cuadro del que soy autor」私が作者であるところの絵画」との記述がある。ただし、マカロン画廊での展示の出品作であることや同画廊のレターヘッドが使用された封筒が用いられたことから、実際は画廊側も200ペセタのうち何割か取っている可能性があるだろう。

(42) 一方、領収書発行の日付が会期終了後の一七日になっていることには一考の余地が残された。須磨がいつ作品購入代金を支払ったかを知るためにはさらなる証拠が必要である。

(43) 前述した出品リストの手書き修正に用いられたペンはおそらく、この番号を書き留める際に用いられたものと同じである。須磨が目録作成のタイミングで記憶あるいは領収書の内容を頼りに修正を加えた可能性が残る。

(44) 須磨彌吉郎筆「馬德里集(一六六一―一七〇一)」第二六卷(No. 1698)(Fig. 6)。

(45) そのためリスト番号一一五の資料表紙にも「No. 1698」の記入がある。

(46) 須磨彌吉郎作「ARTE XXIII」(28)。この展覧会に際して購入した旨が記されている。また会期が「一九四五年一月一八日〜二月一日」となっており、開催年月日の表記には本文で示唆したのと同様の混同が生じているようである。正しくは「一九四五年一月二日〜二三日」で、それに符合するように出品リスト番号は一五番となっている(要図版参照 Fig. 2)。

(47) Matsuda, *op. cit.*, Madrid, 2008, p. 695.

(48) Bozal, *op. cit.*, Madrid, 1992, p. 51.

(49) 須磨彌吉郎、前掲書、一九四九年、八一―九頁。

(50) 詳細は以下参照：Francesc Fontbona, “La fama de Nonell,” *Isidre Nonell 1872-1911* (Exh. Cat.), Museu Nacional d’Art de Catalunya (Barcelona), Fundació Cultural MAPFRE VIDA (Madrid), 2000, pp. 36-37.

(51) アドゥアル・バジェス著／久保田有寿訳「ピカソの絵画形成におけるバルセロナとカタルーニャ美術」木下亮監修『奇蹟の芸術都市バルセロナ展』(展覧会図録)、長崎県美術館、姫路市立美術館、札幌芸術の森美術館、静岡市美術館、東京ステーションギャラリー、二〇一九―二〇二〇年、二六二―二七〇頁。また、ドルス自身もバルセロナ出身であり、若かりし頃より「四匹の猫(Els Quatre Gats)」などに出入りして、同地の芸術家サークルと深い交流を持った。

(52) 直訳すると以下のようになる。「日本の全権公使から貰い受けた灰皿に捧げる俳諧／幸せな紙巻きたばこよ、炎がそれを食べる。幸福に「灰が」横たわるその場所には須磨彌吉郎の名がある！／アウジエニ・ドルス／一九四三年のクリスマスに」(筆者試訳)

(53) Eugenio d’Ors, *HAJKALS, La Libertad*, Thu. 24/03/1921.

(54) 批評文の内容は本稿註一八を参照のこと。

(55) 以下参照されたい…前掲図録、長崎県美術館、二〇〇五年、二六八―二六九頁。

(56) そのためには今後、館外の須磨関係資料も精力的に調査していく必要がある。例えば、マドリードのソフィア王妃芸術センターにはビオスカ・ギャラリーに関する資料を集約した「Archivo Biosca」があり、そこには須磨関連の資料も多数含まれているはずだ…
<https://www.museorcinasofia.es/biblioteca-centro-documentacion/coleccion/archivos/archivo-biosca> (最終閲覧：二〇二二年一月一八日)。各ギャラリーや展示施設に係る資料を丹念に調べることで須磨の収集活動にさらなる光を当てることができる。外務省外交史料館に所在する須磨彌吉郎関連資料もその対象となるだろう…原口邦紘「外務省外交史料館所蔵「須磨彌吉郎関係文書」について」『外交史料館報』第三号、外務省外交史料館、二〇一一年、八七―九九頁…「須磨彌吉郎関係文書目録」外務省外交史料館、二〇一〇年。

〔謝辞〕

本論考執筆にあたり、故須磨彌吉郎氏に関する貴重な資料群を多数ご提供下さっている須磨家の皆様にもまずもって厚く御礼を申し上げます。そして、須磨コレクション並びにスペイン美術に関する当館の諸活動について、常日頃より多大なるご協力とご指導を賜っている大高保二郎氏、雪山行三氏、木下亮氏、松田健児氏におかれましてはここに記して深く感謝申し上げます。

長崎県美術館研究紀要 No.9

発行：長崎県美術館（長崎県長崎市出島町2-1）

発行日：令和5年3月25日

印刷：株式会社 インテックス

Bulletin of Nagasaki Prefectural Art Museum No. 9

Published by Nagasaki Prefectural Art Museum

Date of issue: March 25, 2023

Printed by IN-TEX Co., Ltd.

